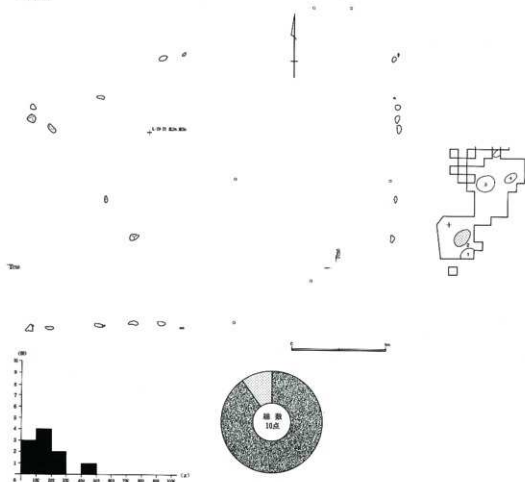


第2号磔群



第252図 第2号磔群

磔の接合状況は磔群内のみにして若干みられる。

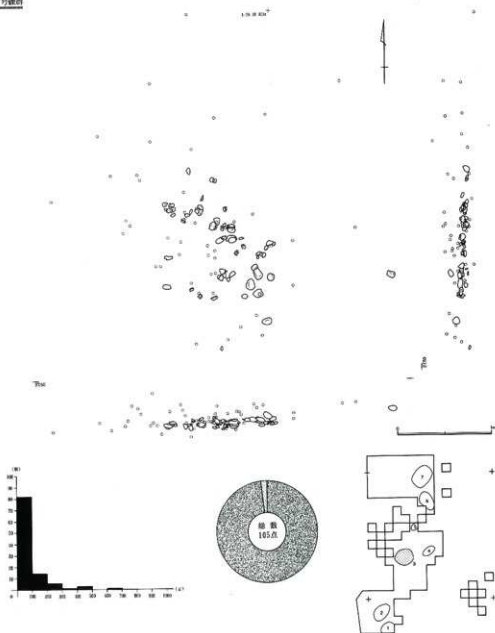
第3号磔群 (第253図)

L-28-19グリッド、発掘区のほぼ中央に位置する。磔の総数は105点と本遺跡最大規模である。しかし、出土状況は悪く、トレンチャーによって約50%が破壊されていた。もし残りが良好であったならば、磔の数は現状の2倍であったと思われる。磔の分布は長径約2m、短径約1.5mの範囲で大形の磔が密集し、軽量及び破砕磔の分布が広がる。

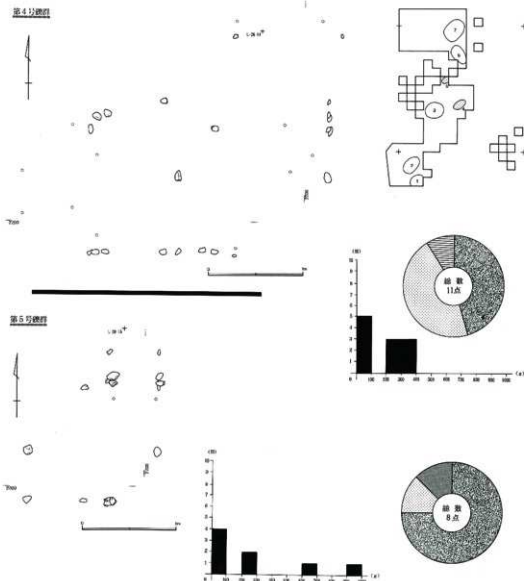
磔の大きさは300gを上回るもの5点、200g台が5点、100g台が13点、50～100gまでが13点、10～50gまでのもの36点、10g未満が33点である。石材は砂岩103点、チャート2点と砂岩が圧倒的に占めている。

磔群内では多数の接合がみられるが、磔群間の接合は無い。

第3号礫群



第253図 第3号礫群



第254図 第4・5号群

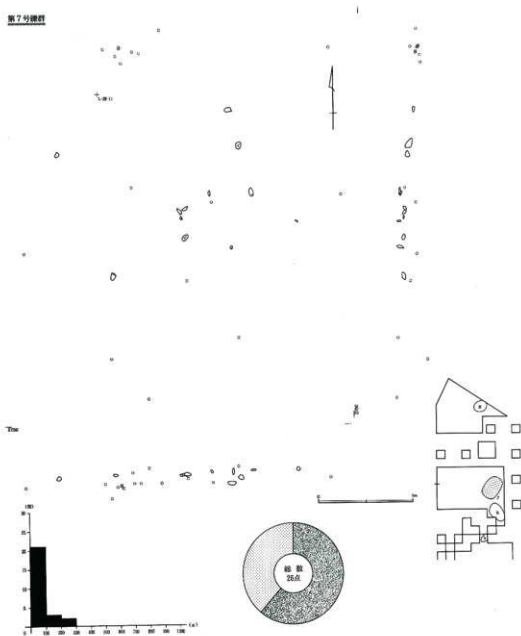
第4号群 (第254図)

L-28-14グリッドに位置し、第3号群と近接する。礫の総数は11点と少ない。南北約1m、東西約1.5mの範囲に礫が散漫に分布する。

礫の大きさは300g以上のもの3点、200g台が3点、10～50gまでのもの2点、10g未満のもの3点である。石材は砂岩5点、チャート5点、ホルンフェルス1点と砂岩とチャートの数が同じである。

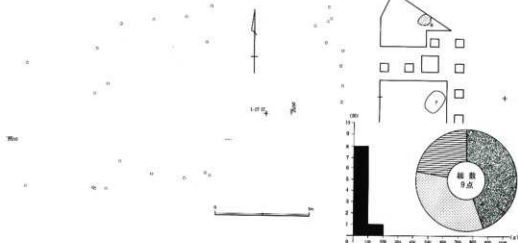
礫の接合は礫群内に幾例も見られるが、礫群間では皆無である。

第7号群



第255図 第7号群

第8号礫群



第256図 第8号礫群

第5号礫群 (第254図)

L-28-18グリッドに位置する。礫の総数は8点と少なく、径約1mの範囲に大形の礫が点在している。

礫の大きさは300g以上で1kg近いもの1点、700g近いもの1点が特に大きく、200g台2点、50～100gのもの1点、10～50gのもの3点である。石材は砂岩6点、チャート1点、頁岩1点である。

礫の接合は殆ど見られない。

第6号礫群 (第251図)

L-28-12グリッドに位置し、第7号礫群と近接する。礫の総数は12点と少なく、礫は径約3mの範囲に散漫に分布する。

礫の大きさは300g以上、200g、100g台が各1点、50～100gが2点、10～50gが3点、10g未満が4点である。石材は砂岩10点、チャート1点、ホルンフェルス1点である。

礫の接合は殆ど見られない。

第7号礫群 (第255図)

L-27-15・L-28-11グリッドに位置し、第6号礫群と近接する。礫の総数は26点と点数的には中規模であるが、南北約4m、東西約3.5mの広範囲に散漫に分布するため、視覚的にまとまりとしては悪い。

礫の大きさは200g台が2点、100g台が3点、50～100gが6点、10～50gが8点、10g未満が7点である。石材は砂岩16点、チャート10点である。

礫の接合は、礫群内で更に2つのグループに分かれ、それぞれの中で接合している。しかし、グループ間での接合関係は見られない。

第8号礫群 (第256図)

L-27-17グリッド、調査区の北端部に他礫群と離れて位置する。礫の総数は9点と少ない。分布は南北約1m、東西約2mの範囲に小形軽量礫が散漫に点在している。

礫の大きさは100g台1点、50g台1点で、他は50g未満の小形礫である。石材は砂岩4点、チャート3点、ホルンフェルス2点と第4号礫群と近似した傾向を示す。

礫の接合は礫群内で若干見られる。

礫群の分類と接合 (第257～261図)

柿ノ木坂遺跡西区から検出された礫群の総数は8基である。礫群の規模は小さく、礫群間の礫接合も見られない。

礫の点数と重量の頻度図 (第257図・258図)

礫群を50cm四方に区切って、その中の礫の数と重量を図化した。

第1号礫群：5点以下のグリッドが散漫に分布して中心は見られない。また、重量の分布状況は250g以下のグリッドのみで、点数の分布と同様に中心を持たない。

第2号礫群：第1号礫群と同様に散漫な分布で中心は見られない。重量の分布は西側のグリッドで若干重量が増す。

第3号礫群：礫の分布は広範囲である。礫群の中心は分布と中央部やや南に見られる。1m四方の範囲が11～15点のクラスで、西と南に6～10点のクラスがそれぞれ延びている。重量の分布は点数の状況以上に中心が明確になっている。中央部北側に5000g以上のグリッドが2か所並んでおり、周辺を500～1000gのグリッドが囲んでいる。また、南側部分には1500～2000gと1000～1500gのグリッドが見られる。

礫群は範囲、点数、重量とも大きく、中心のはっきりしたタイプである。また、点数の中心と重量の中心の位置は同じである。

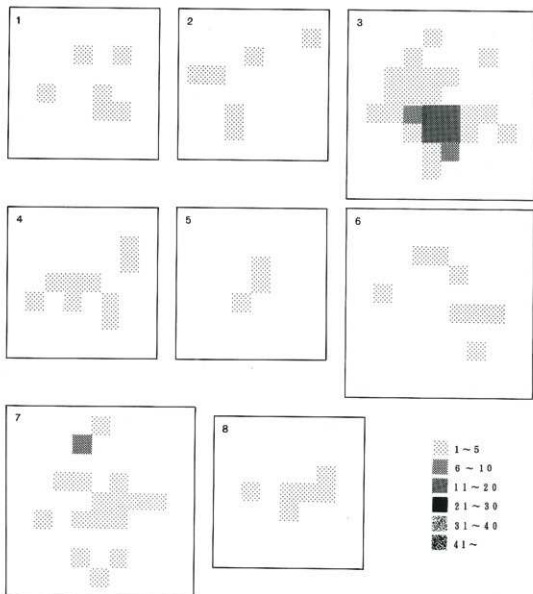
第4号礫群：礫の分布は東西方向に並ぶように広く、南北方向には広がっていない。点数の分布は5点以下のクラスのものだけである。重量は東西に延びる中央部に250～500gと500～1000gのグリッドがあり、南側に離れて250～500gのグリッドが1か所存在する。

第5号礫群：礫の分布範囲は狭く、グリッドは3つである。点数は3グリッドとも5点以下である。しかし、重量は1000～1500gのグリッドが1か所、500～1000gのグリッドが2か所と、狭い範囲で点数が少ない割に重量がある。

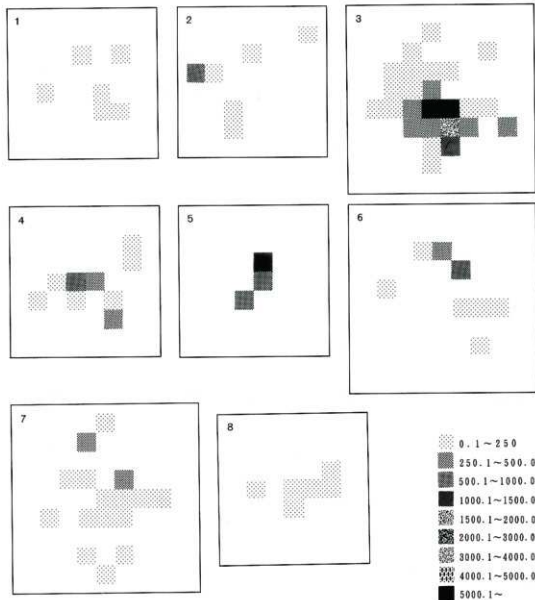
第6号礫群：礫の分布範囲は広いが、分布は散漫で中心は見られず、むしろ中央に空白部がある。点数は5点以下のグリッドのみである。重量は北東部に250～500gのグリッドが2か所見られるが、他は250g以下である。

第7号礫群：礫の分布範囲は広く、グリッドは南北に長い楕円形に分布している。点数はほとんどが5点以下で中心は見られない。重量も分布も250g以下のグリッドが多く、北側に僅かに250～500gのグリッドが2か所見られる。

第8号礫群：礫の分布は東西に細く延びている。点数は5点以下グリッドのみで、重量も全て250g



第257图 碑群点数频度图



第258図 群重量頻度図

以下である。

礫群の礫接合 (第259～261図)

礫の接合は全て礫群内で収束している。

第1号礫群の接合例は1点で接合距離は0.5mである。

第2号礫群は接合例は2点で接合距離の平均は1.1mである。

第3号礫群の接合例は17点と多く接合距離の平均は0.6mである。

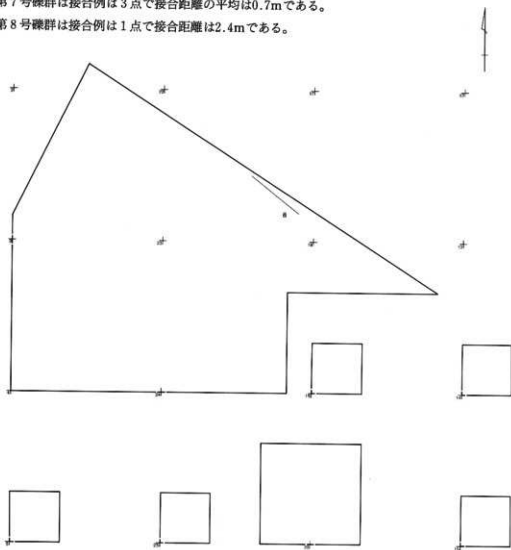
第4号礫群は接合例は3点で接合距離の平均は0.6mである。

第5号礫群は接合例は1点で接合距離は0.03mである。

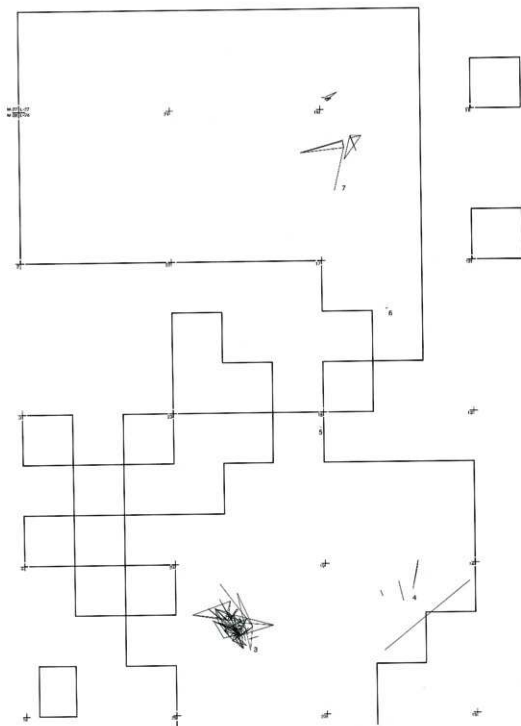
第6号礫群は接合例は1点で接合距離は0.05mである。

第7号礫群は接合例は3点で接合距離の平均は0.7mである。

第8号礫群は接合例は1点で接合距離は2.4mである。



第259図 礫群接合図(1)



第260図 櫓群接合図（2）

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
108	L-29-21	274	176	2560.0	231.18	砂岩	
109	L-29-21	285	176	2540.0	485.27	砂岩	
110	L-29-21	296	196	2540.0	245.76	砂岩	
111	L-29-21	371	254	2570.0	110.75	砂岩	
112	L-29-21	412	284	2600.0	166.35	砂岩	

第3号露群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
21	L-28-19	140	173	2736.0	15.81	砂岩	
22	L-28-19	175	158	2720.0	4.71	砂岩	
23	L-28-19	180	161	2714.0	19.31	砂岩	
24	L-28-19	227	151	2723.0	6.12	砂岩	
25	L-28-19	240	191	2717.0	4.80	砂岩	
26	L-28-19	244	205	2718.0	8.09	砂岩	
27	L-28-19	257	203	2724.0	4.72	砂岩	
28	L-28-19	192	208	2712.0	18.73	砂岩	
29	L-28-19	114	241	2722.0	15.18	砂岩	
31	L-28-19	215	281	2724.0	10.86	砂岩	
34	L-28-19	230	241	2709.0	5.41	砂岩	
36	L-28-19	256	262	2716.0	9.34	砂岩	
37	L-28-19	254	265	2716.0	13.26	砂岩	
40	L-28-19	230	389	2725.0	39.81	チャート	
42	L-28-19	290	323	2714.0	18.20	砂岩	
44	L-28-19	322	284	2720.0	8.92	砂岩	
45	L-28-19	343	290	2723.0	1.98	砂岩	
46	L-28-19	334	267	2713.0	20.96	砂岩	
47	L-28-19	347	253	2714.0	25.46	砂岩	
50	L-28-19	77	375	2724.0	24.55	チャート	
52	L-28-19	213	209	2704.0	1.31	砂岩	
53	L-28-19	224	220	2702.0	20.83	砂岩	
55	L-28-19	228	242	2703.0	4.29	砂岩	
57	L-28-19	248	270	2704.0	1.21	砂岩	
60	L-28-19	298	223	2707.0	2.81	砂岩	
61	L-28-19	278	236	2706.0	7.68	砂岩	
62	L-28-19	277	241	2710.0	9.68	砂岩	
63	L-28-19	249	300	2704.0	1.19	砂岩	
65	L-28-19	298	238	2707.0	11.43	砂岩	
68	L-28-19	243	323	2708.0	5.85	砂岩	
70	L-28-19	248	233	2710.0	56.42	砂岩	
72	L-28-19	258	233	2706.0	3.26	砂岩	
72	L-28-19	258	233	2706.0	2.28	砂岩	
73	L-28-19	253	240	2710.0	9.86	砂岩	
74	L-28-19	261	240	2714.0	38.75	砂岩	
77	L-28-19	111	296	2704.0	2.10	砂岩	
80	L-28-19	209	221	2703.0	101.00	砂岩	
81	L-28-19	351	220	2707.0	2.77	砂岩	
82	L-28-19	270	178	2702.0	0.85	砂岩	
84	L-28-19	230	171	2702.0	3.39	砂岩	
85	L-28-19	222	147	2707.0	2.34	砂岩	
86	L-28-19	79	174	2705.0	0.67	砂岩	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
88	L-28-19	133	117	2705.0	2.39	砂岩	
93	L-28-19	287	215	2703.0	8.49	砂岩	
95	L-28-19	235	144	2701.0	2.07	砂岩	
96	L-28-19	211	195	2703.0	0.38	砂岩	
97	L-28-19	280	429	2716.0	423.50	砂岩	
98	L-28-19	248	304	2703.0	36.74	砂岩	
99	L-28-19	247	300	2702.0	82.75	砂岩	
101	L-28-19	259	291	2703.0	116.18	砂岩	
102	L-28-19	253	288	2701.0	196.12	砂岩	
103	L-28-19	283	301	2706.0	276.64	砂岩	
104	L-28-19	278	287	2704.0	191.97	砂岩	
105	L-28-19	290	279	2705.0	603.53	砂岩	
106	L-28-19	300	287	2705.0	396.21	砂岩	
107	L-28-19	303	273	2706.0	72.52	砂岩	
108	L-28-19	330	297	2709.0	413.18	砂岩	
109	L-28-19	241	270	2707.0	13.99	砂岩	
110	L-28-19	250	272	2706.0	77.80	砂岩	
111	L-28-19	256	265	2703.0	14.61	砂岩	
112	L-28-19	228	260	2699.0	215.76	砂岩	
113	L-28-19	233	260	2701.0	167.10	砂岩	
114	L-28-19	227	252	2700.0	32.23	砂岩	
115	L-28-19	231	249	2699.0	63.99	砂岩	
116	L-28-19	241	260	2702.0	473.56	砂岩	
117	L-28-19	240	252	2703.0	34.20	砂岩	
118	L-28-19	244	246	2704.0	140.42	砂岩	
119	L-28-19	210	253	2702.0	15.71	砂岩	
120	L-28-19	223	244	2702.0	210.39	砂岩	
121	L-28-19	228	240	2703.0	216.29	砂岩	
122	L-28-19	279	260	2706.0	57.70	砂岩	
123	L-28-19	285	255	2707.0	32.57	砂岩	
124	L-28-19	276	249	2704.0	131.98	砂岩	
125	L-28-19	276	253	2699.0	13.17	砂岩	
126	L-28-19	280	251	2699.0	31.28	砂岩	
127	L-28-19	283	248	2705.0	78.60	砂岩	
128	L-28-19	282	245	2703.0	151.52	砂岩	
129	L-28-19	304	241	2703.0	21.56	砂岩	
130	L-28-19	303	225	2707.0	62.29	砂岩	
131	L-28-19	295	217	2707.0	23.93	砂岩	
132	L-28-19	181	243	2700.0	31.93	砂岩	
133	L-28-19	180	239	2698.0	51.24	砂岩	
134	L-28-19	199	229	2704.0	68.80	砂岩	
135	L-28-19	170	214	2697.0	156.85	砂岩	
136	L-28-19	208	227	2700.0	37.53	砂岩	
137	L-28-19	213	225	2700.0	122.37	砂岩	
138	L-28-19	213	217	2705.0	26.71	砂岩	
139	L-28-19	217	213	2707.0	38.65	砂岩	
140	L-28-19	222	208	2698.0	109.82	砂岩	
140	L-28-19	222	208	2698.0	86.72	砂岩	
141	L-28-19	206	196	2702.0	43.20	砂岩	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
142	L-28-19	211	195	2702.0	171.27	砂岩	
143	L-28-19	205	189	2698.0	55.25	砂岩	
144	L-28-19	211	190	2700.0	42.54	砂岩	
145	L-28-19	217	197	2701.0	38.58	砂岩	
146	L-28-19	261	192	2702.0	40.23	砂岩	
147	L-28-19	292	190	2700.0	183.78	砂岩	
148	L-28-19	358	247	2697.0	27.81	砂岩	
150	L-28-19	270	183	2693.0	28.28	砂岩	
151	L-28-19	175	130	2697.0	8.74	砂岩	
153	L-28-19	147	217	2699.0	78.60	砂岩	
155	L-28-19	223	261	2697.0	4.22	砂岩	
156	L-28-19	230	251	2698.0	14.01	砂岩	
158	L-28-19	5	214	2690.0	235.58	砂岩	
159	L-28-19	201	68	2695.0	0.80	砂岩	

第4号線群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
14	L-28-13	590	373	2681.0	20.29	チャート	
19	L-28-14	100	199	2721.0	0.08	チャート	
23	L-28-14	149	146	2715.0	6.94	砂岩	
66	L-28-14	132	225	2692.0	5.35	砂岩	
70	L-28-14	108	217	2670.0	242.33	砂岩	
71	L-28-14	93	224	2671.0	384.54	チャート	
72	L-28-14	89	236	2672.0	311.53	ホルンフェルス	
73	L-28-14	74	294	2672.0	274.88	砂岩	
74	L-28-14	153	312	2671.0	395.28	砂岩	
75	L-28-14	105	350	2672.0	203.90	チャート	
76	L-28-14	8	370	2669.0	69.90	チャート	

第5号線群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
5	L-28-18	74	590	2737.0	28.90	頁岩	
11	L-28-18	25	586	2735.0	66.89	砂岩	
12	L-28-18	50	590	2733.0	948.94	砂岩	
13	L-28-18	58	590	2733.0	282.99	砂岩	
14	L-28-18	55	584	2736.0	15.28	砂岩	
15	L-28-18	63	560	2735.0	285.96	砂岩	
16	L-28-18	130	502	2736.0	691.71	チャート	
17	L-28-18	58	587	2729.0	13.29	砂岩	

第6号線群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
6	L-28-12	258	343	2716.0	23.42	砂岩	
9	L-28-12	174	355	2719.0	4.30	砂岩	
11	L-28-12	163	341	2719.0	47.58	砂岩	
12	L-28-12	196	320	2713.0	6.12	砂岩	
13	L-28-12	188	305	2712.0	11.50	砂岩	
14	L-28-12	189	259	2723.0	3.99	砂岩	
15	L-28-12	191	253	2715.0	83.42	砂岩	
18	L-28-12	90	270	2722.0	490.26	チャート	
19	L-28-12	82	275	2720.0	146.36	砂岩	
21	L-28-12	12	224	2718.0	294.56	ホルンフェルス	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
22	L-28-12	8	185	2719.0	8.52	砂岩	
23	L-28-12	125	88	2722.0	68.03	砂岩	

第7号碑群

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
31	L-27-15	533	66	2688.0	11.15	チャート	
32	L-27-15	556	37	2688.0	21.78	チャート	
33	L-27-15	558	44	2688.0	198.76	チャート	
45	L-27-15	552	23	2686.0	2.41	チャート	
46	L-27-15	553	6	2687.0	114.36	チャート	
47	L-27-15	560	19	2684.0	2.51	チャート	
48	L-27-15	568	25	2683.0	4.66	チャート	
53	L-27-15	551	23	2685.0	1.59	チャート	
16	L-28-11	100	35	2698.0	5.76	砂岩	
41	L-28-11	258	148	2703.0	0.62	砂岩	
61	L-28-11	321	53	2703.0	3.78	砂岩	
85	L-28-11	280	13	2671.0	63.97	チャート	
95	L-28-11	115	120	2686.0	42.23	砂岩	
142	L-28-11	55	149	2697.0	280.10	砂岩	
143	L-28-11	105	163	2698.0	224.50	砂岩	
144	L-28-11	106	118	2702.0	28.77	砂岩	
145	L-28-11	164	141	2703.0	56.94	砂岩	
146	L-28-11	153	93	2698.0	80.24	砂岩	
147	L-28-11	132	88	2696.0	28.24	砂岩	
148	L-28-11	125	87	2695.0	96.81	砂岩	
149	L-28-11	122	92	2696.0	74.14	砂岩	
150	L-28-11	194	15	2696.0	116.47	砂岩	
151	L-28-11	136	210	2701.0	11.84	砂岩	
155	L-28-11	198	94	2691.0	11.58	砂岩	
9	L-28-16	169	521	2684.0	15.28	チャート	
16	L-28-16	65	557	2669.0	80.43	砂岩	

第8号碑群

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
17	L-27-17	508	444	2525.0	27.52	チャート	
20	L-27-17	526	535	2514.0	23.30	チャート	
21	L-27-17	488	540	2511.0	4.03	砂岩	
23	L-27-17	500	513	2508.0	45.06	ホルンフェルス	
26	L-27-17	503	478	2512.0	20.41	砂岩	
33	L-27-17	534	418	2496.0	122.14	砂岩	
34	L-27-17	571	430	2496.0	37.80	チャート	
35	L-27-17	581	416	2497.0	21.73	砂岩	
39	L-27-17	550	344	2498.0	52.73	ホルンフェルス	

先土器時代 東区

柿ノ木坂遺跡東区の調査は1989年(平成元年)と1990年(平成2年)の2回に分けて行った。1989年の調査ではJ-30-16~19グリッドから良好な状態の礫群と石器集中が検出された。1990年の調査は、1989年に検出された礫群の続きと、遺跡の北東への拡がりに主眼を置き、J-30-12・13グリッドを第V層まで面的に調査を行い、他の部分は小グリッドの南西辺を1辺2m四方で第X層まで掘り下げ、遺物の出土したグリッドを拡張し遺跡の拡がり及び土層の堆積状況を観察した。

調査の結果、遺跡は西区と平行して延びる樹枝状の台地の付け根で、標高が最も高い部分の東側にまとまり、遺物の集中はJ-30グリッドの北西側に偏り、北及び東側への拡がりは散漫であることが明らかになった。今回の発掘で遺跡の殆どが調査されていると思われる。

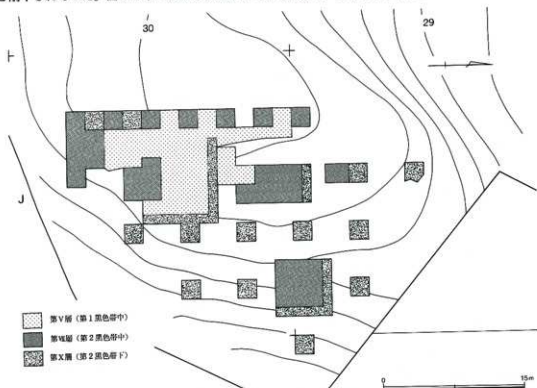
柿ノ木坂遺跡東区の2枚の文化層から、石器集中15か所と礫群10か所が検出された。

層位(第264図)

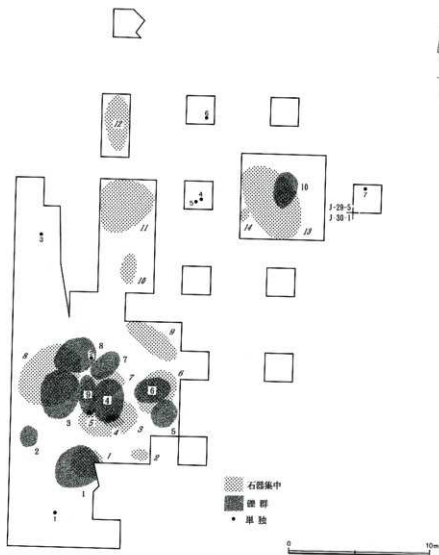
A-A'ラインは南北方向、標高の最も高い部分の断面図である。第III層(ソフトローム層)の殆ど、第V層(第1黒色帯)の一部までが削平されていた。第VII・IX層はフラットな堆積である。

B-B'ラインはAラインと平行する面である。層位は中央部のグリッドで第III層を残している。北から南に向かい緩やかに傾斜し、層厚が増している。

C-C'ラインは東西方向の断面で、AラインとBラインを直行するように結んでいる。第III層は殆ど削平されていた。西から東に緩やかに傾斜しており、第VII・IX層も同じ傾向である。



第262図 東区先土器時代発掘区と調査深度



第263図 石器集中・礫群分布図

D-D'ラインとE-E'ラインは、北東に少しはなれたJ-29-5・10グリッドの断面図である。Dラインは第III層が厚く、殆どフラット堆積である。一方Eラインは西から東にかなり傾斜している。

以上各断面図を観察すると、標高の高い部分で削平が多く、第VII・IX層の堆積状況が北側と東側に緩やかに傾斜している点は、現地表面の傾斜と同様である。

文化層

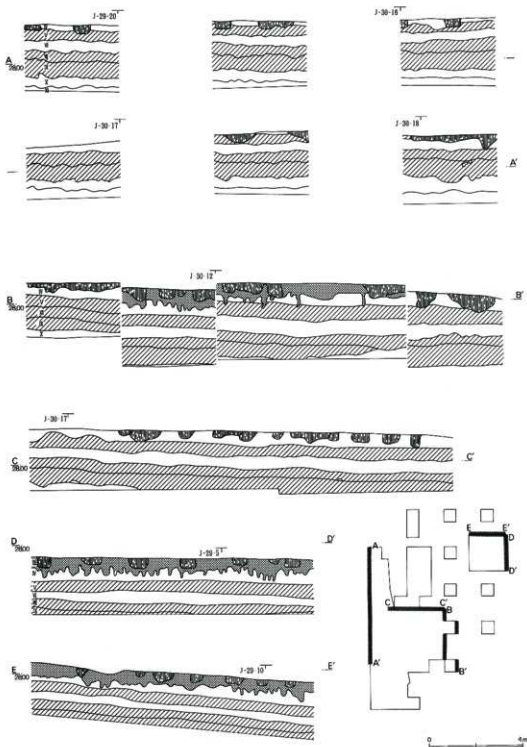
第1文化層は第IV層下部から第V層にかけて出土している。

第2文化層は第V層から第VI層にかけて出土し、第VI層中に中心が見られる。

礫群の殆どは第1文化層に伴うものと考えられる。

凡例

石器は図示していないものも極力ノギスによる計測を行った。しかし、碎片のうち微細なものは



第264図 土層断面図

石器集中別器種組成表

	ナイフ	槌・削器	石核	剥片	砕片	磨石	原石	計
第1文化層								
石器集中1	1	2	0	1	0	0	0	4
石器集中2	0	0	0	1	0	0	0	2
石器集中3	0	0	0	3	10	1	0	14
石器集中6	0	0	0	2	11	0	0	13
石器集中7	0	0	0	4	6	0	0	10
石器集中8	1	3	1	17	23	0	0	45
石器集中14	0	1	0	2	1	0	0	4
第2文化層								
石器集中4	0	0	0	2	3	0	0	5
石器集中5	0	0	0	1	1	0	0	2
石器集中9	1	0	0	1	1	0	0	3
石器集中10	0	0	0	2	2	0	1	5
石器集中11	0	0	0	8	27	0	0	35
石器集中12	0	0	0	4	0	0	0	4
石器集中13	0	0	0	6	9	0	0	15

石器集中別石質組成表

	黒曜石	チャート	頁岩	シルト岩	粘板岩	砂岩	安山岩	ホルンフェルス	合計
第1文化層									
石器集中1	1	3	0	0	0	0	0	0	4
石器集中2	1	0	0	0	0	0	1	0	2
石器集中3	1	1	0	0	0	0	12	0	14
石器集中6	8	1	0	0	0	0	4	0	13
石器集中7	2	1	0	0	1	0	6	0	10
石器集中8	0	35	0	0	0	2	8	0	45
石器集中14	2	0	0	0	0	0	1	1	4
第2文化層									
石器集中4	3	0	0	2	0	0	0	0	5
石器集中5	1	0	0	1	0	0	0	0	2
石器集中9	2	0	0	0	0	0	1	0	3
石器集中10	5	0	0	0	0	0	0	0	5
石器集中11	35	0	0	0	0	0	0	0	35
石器集中12	4	0	0	0	0	0	0	0	4
石器集中13	4	2	4	0	0	0	3	2	15

第64表 石器集中別器種・石質組成

ノギスによる計測が困難であり、方眼紙上に描いた正方形によって下記のようなグループに分類し、長さの項目に掲載した。

器 種	石 質	器 種
ナイフ形石器	黒曜石	▲ ナイフ形石器
槌・削器	チャート	◆ 槌・削器
石核	メノウ	■ 石核
剥片	頁岩	● 剥片
砕片	シルト岩	○ 砕片
磨石	粘板岩	◐ 磨石
原石	砂岩	□ 原石
	安山岩	
	ホルンフェルス	

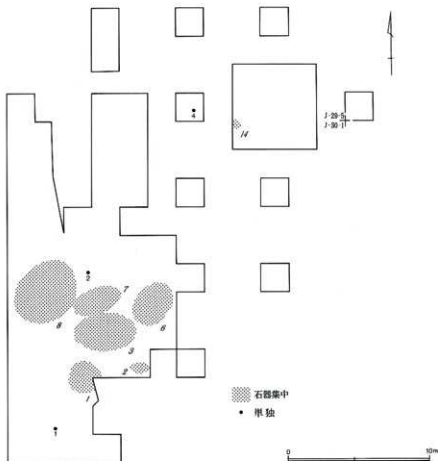
・ A = 2 × 2 mm

・ B = 5 × 5 mm

・ C = 10 × 10 mm

・ D = 10mm ~

石器分布図に使用した記号及びスクリーン・トーンは下記の表に示した。



第265図 第1文化層石器集中

第1文化層

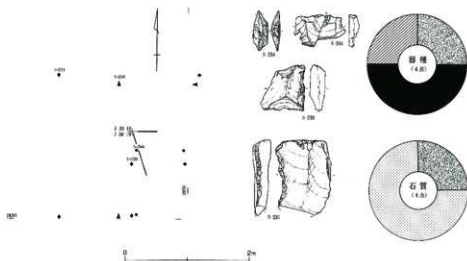
本文化層に帰属する石器集中の総数は7か所、単独出土は3点である。

石器集中はJ-30-12・13とJ-30-17～19の5グリッド、一辺12m四方の範囲にまとまり、礫群の密集区と重複する。この区画から外れるのは石器集中14と単独4だけである。層位及び分布の状況から礫群の殆どが当該期に帰属すると考えられる。

遺物の出土層位は第IV層の幅に収まり、石器の型式からみて矛盾するものではない。

石器の総数は95点で、製品はナイフ形石器2点と削器が見られた。剥片はチャート製のものが目に付いた。

石材はチャートが45%、安山岩が32%を占める。黒耀石の割合は16%で第2文化層の78%と比較しかなり低い。石器の接合は、石器集中1のナイフ形石器と石器集中8の剥片類、石器集中1の先244と石器集中8の先217の接合例がみられ、両集中は緊密である。他の集中ではあまり関連性は見られない。



第266図 石器集中1

石器集中1 (第266図)

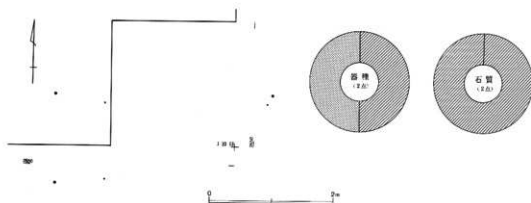
J-30-18グリッド杭を中心に、径約2mの範囲に分布する。本石器集中と第1号礫群の分布が重複し、石器集中2・3と近接した。

石器の総数は4点と少ないが、ナイフ形石器1点(先234)、削器2点(先231・239)と、その内容は充実している。剥片(先244)は石器集中8の剥片(先217)と接合する。石材は先239の削器が黒曜石である以外はチャートを用いている。

石器の出土層位は第IV層中である。

第65表 石器集中1出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
先244	J-30-14	30	8	2856.6	剥片	2.55	4.15	0.85	2.53	チャート	実測
先231	J-30-18	510	482	2851.6	掻・削器	6.05	4.55	1.55	39.28	チャート	実測
先234	J-30-18	525	580	2857.1	ナイフ形石器	3.20	1.20	1.05	2.23	チャート	実測
先239	J-30-19	52	600	2855.1	掻・削器	3.65	3.60	1.35	14.36	黒曜石	実測



第267図 石器集中2

石器集中2 (第267図)

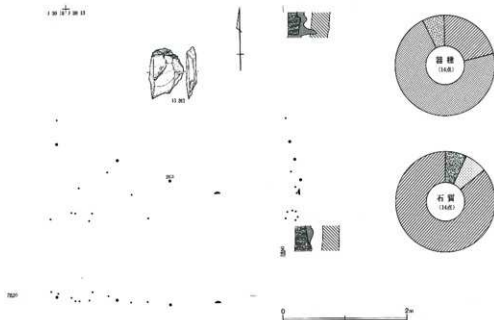
J-30-13グリッドに位置し、石器集中1・3と近接する。

石器の総数は2点と少なく、内容も剥片・碎片がそれぞれ1点と貧弱である。石材はともに安山岩を用いている。

石器の出土層位は第IV層中に含まれる。

第66表 石器集中2 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
42	J-30-13	532	390	2828.0	碎片	1.00	2.15	0.70	1.30	安山岩	
159	J-30-13	518	310	2820.0	剥片	4.00	2.15	1.45	10.50	安山岩	



第268図 石器集中3

第67表 石器集中3 出土石器一覧

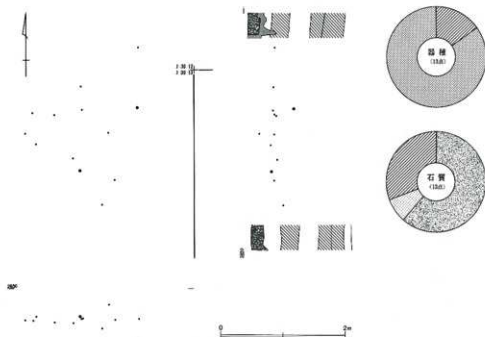
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
18	J-30-13	264	61	2841.0	碎片	(2.1)	1.80	0.75	2.00	安山岩	
27	J-30-13	329	37	2848.0	碎片	1.10	2.00	0.70	1.17	安山岩	
50	J-30-13	342	32	2835.0	碎片	0.90	1.25	0.35	0.33	安山岩	
52	J-30-13	327	3	2840.0	碎片	1.90	2.10	0.75	2.57	安山岩	
94	J-30-13	289	16	2834.0	碎片	B			0.14	安山岩	
97	J-30-13	244	77	2835.0	剥片	2.10	3.00	0.80	4.69	チャート	
127	J-30-13	297	238	2829.0	磨石	5.00	3.50	2.50	35.68	安山岩	
131	J-30-13	337	125	2831.0	碎片	1.25	2.50	0.70	1.54	安山岩	
144	J-30-13	328	10	2834.0	碎片	1.90	2.40	1.00	3.52	安山岩	
263	J-30-13	278	162	2826.0	剥片	4.10	2.80	0.85	8.52	黒曜石	実測
306	J-30-13	298	99	2831.0	剥片	1.60	0.80	0.25	0.33	安山岩	
61	J-30-18	180	583	2847.0	碎片	B			0.12	安山岩	
75	J-30-18	339	571	2850.0	碎片	C			0.37	安山岩	
95	J-30-18	217	580	2841.0	剥片	(2.2)	2.35	0.90	4.08	安山岩	

石器集中3 (第268図)

J-30-13グリッドとJ-30-18グリッドの境に位置する。本石器集中と第2文化層の石器集中4・5が平面的に重複し、第4・9号礫群ともまた一部重複する。石器は南北約2m、東西約3mの範囲に散漫に分布している。

石器の総数は14点である。その内容は剥片3点、碎片10点、磨石の破損品1点と貧弱である。石材は黒曜石1点、チャート1点、安山岩12点である。

遺物の出土層位は、図面では第III層中に見えるが、集中と投影した断面の間に若干距離が在り地形が傾斜しているため、第IV層中と考えられる。



第269図 石器集中6

石器集中6 (第269図)

J-30-12グリッドとJ-30-13グリッドの境に位置し、第6号礫群と一部重複する。石器は南北約2.5m、東西約2mの範囲に散漫に分布している。

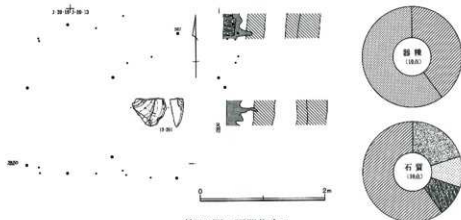
石器の総数は13点で、内訳は剥片2点、碎片11点と貧弱な内容である。石材は黒曜石8点、チャート1点、安山岩4点である。

遺物の出土層位は、第IV層中に含まれる。

第68表 石器集中6 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
41	J-30-12	565	510	2802.0	碎片	2.00	0.70	0.60	0.74	安山岩	
171	J-30-13	101	463	2825.0	碎片	B			0.16	黒曜石	
262	J-30-13	61	509	2770.0	剥片	3.95	1.65	0.80	3.54	チャート	
348	J-30-13	119	346	2806.0	碎片	B			0.10	黒曜石	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
356	J-30-13	161	416	2806.0	剥片	(1.7)	2.60	1.30	4.46	黒耀石	
361	J-30-13	64	420	2803.0	碎片	1.20	1.20	0.60	0.69	安山岩	
363	J-30-13	27	418	2802.0	碎片	1.51	0.85	0.28	0.35	黒耀石	
376	J-30-13	70	341	2800.0	碎片	1.25	0.70	0.15	0.13	安山岩	
377	J-30-13	102	329	2801.0	碎片	1.66	1.40	0.34	0.38	黒耀石	
382	J-30-13	176	473	2801.0	碎片	A			0.04	黒耀石	
386	J-30-13	73	375	2797.0	碎片	B			0.12	黒耀石	
390	J-30-13	142	405	2796.0	碎片	B			0.10	黒耀石	
392	J-30-13	215	452	2787.0	碎片	A			0.07	安山岩	



第270図 石器集中7

第69表 石器集中7出土石器一覧

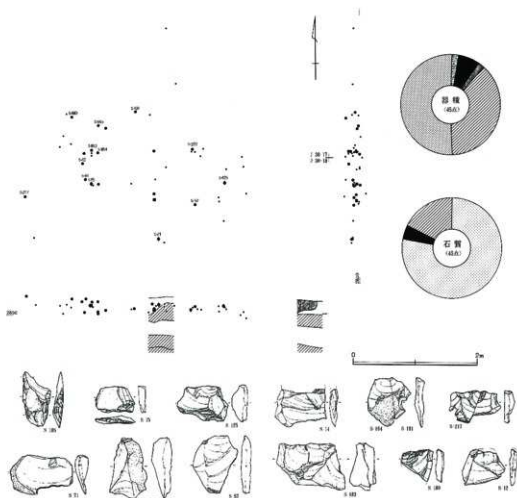
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
7	J-30-13	110	67	2861.0	剥片	2.50	4.75	1.30	11.49	安山岩	
74	J-30-13	87	90	2833.0	碎片	B			0.18	安山岩	
101	J-30-13	12	84	2840.0	碎片	1.95	2.50	1.00	4.03	安山岩	
113	J-30-13	31	41	2835.0	碎片	B			0.13	安山岩	
186	J-30-13	77	129	2828.0	碎片	0.95	1.70	0.65	0.82	粘板岩	
261	J-30-13	40	171	2828.0	剥片	2.30	2.75	1.05	4.82	黒耀石	実測
43	J-30-18	127	531	2850.0	剥片	2.65	4.25	1.30	11.08	安山岩	
78	J-30-18	50	547	2846.0	碎片	1.80	1.90	0.55	1.09	チャート	
99	J-30-18	51	552	2834.0	碎片	2.06	1.10	0.50	0.73	黒耀石	
107	J-30-18	26	596	2836.0	剥片	2.10	3.65	0.95	4.94	安山岩	

石器集中7 (第270図)

J-30-13グリッドとJ-30-18グリッドの境に位置する。本石器集中の周りには、石器集中8・3・6が近接し、第7・4・9号群と分布が一部重複する。石器は南北に約1m、東西に約2mの範囲に分布する。

石器の総数は10点である。その内訳は剥片4点、碎片6点、石材は黒耀石2点、チャート1点、粘板岩1点、安山岩6点と貧弱な内容である。

遺物の出土層位は、出土地点を投影した断面図と若干距離が在るため、第III層ソフトローム層中に見えるが、発掘時の所見で第IV層ハードローム中に含まれると考えられる。



第271図 石器集中8

石器集中8（第271図）

J-30-17グリッドとJ-30-18グリッドに跨り、調査区の東側部に位置する。石器集中7・3と近接し、第3・8号礫群と一部重複する。石器の分布は南北約2.5m、東西約3mの範囲に製品と剥片がまとまっており、碎片がその周辺に若干拡がる傾向がみられる。

石器の総数は45点と本文化層では最大規模となる。内訳はナイフ形石器1点（先185）、削器3点（先15・先125・先71）、石核1点、剥片17点、碎片23点と内容は豊かである。石材はチャート35点、砂岩2点、安山岩8点とチャートが圧倒的に占めている。これを器種との関係で見ると、ナイフ形石器が安山岩、削器がチャート、石核はチャート、剥片・碎片はチャートと安山岩ということが言える。

遺物の出土層位は第IV層の下底面から第V層の上面である。

接合資料は先184と先191が石器集中内の接合例である。剥片が長軸方向から2つに割れたもので、剥片剥離の際の欠損と思われる。接合距離は0.9mである。

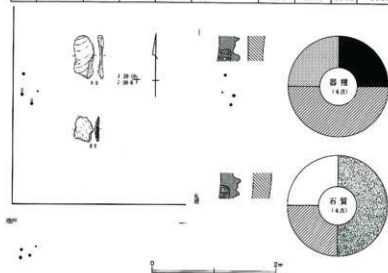
先217は剥片が長軸上で2点に割れたもので、石器集中1の先244と接合している。接合距離は7mである

先198と先191の接合は剥片が長軸上で2点に欠損したもので、石器集中8内で0.75mの距離で接合している。

第70表 石器集中8出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
先179	J-30-17	532	180	2863.6	剥片	1.30	1.15	0.25	0.35	チャート	
先180	J-30-17	537	188	2873.6	剥片	3.15	2.60	0.55	4.08	チャート	実測
先182	J-30-17	594	208	2851.6	剥片	(2.6)	1.60	0.60	1.78	チャート	
先183	J-30-17	590	220	2869.1	剥片	3.75	5.50	2.15	33.46	チャート	実測
先184	J-30-17	593	230	2868.6	剥片	3.80	3.50	0.80	2.11	チャート	実測
先185	J-30-17	550	230	2853.1	ナイフ形石器	4.40	2.30	0.90	6.79	安山岩	実測
先186	J-30-17	554	242	2855.1	剥片	2.00	2.20	0.55	2.34	チャート	
先191	J-30-17	528	289	2858.1	剥片	3.80	3.50	0.80	5.60	チャート	実測
先196	J-30-17	590	318	2865.1	剥片	(2.7)	2.60	1.35	9.74	チャート	
先199	J-30-17	483	353	2862.6	剥片	1.05	1.05	0.30	0.51	チャート	
先201	J-30-17	588	380	2856.6	剥片	4.80	3.05	1.65	16.33	チャート	実測
先203	J-30-17	591	392	2858.6	剥片	2.30	1.80	0.70	2.51	チャート	
先204	J-30-17	587	397	2856.6	剥片	3.00	3.10	1.80	10.52	安山岩	実測 分析
先212	J-30-17	600	460	2847.6	剥片	1.35	1.15	0.35	0.52	チャート	
先213	J-30-17	395	337	2861.6	剥片	3.70	2.70	1.00	10.71	安山岩	実測 分析
先245	J-30-17	580	187	2859.1	剥片	0.85	0.90	0.20	0.16	チャート	
先246	J-30-17	567	174	2849.1	剥片	1.65	2.20	0.65	2.23	チャート	
先247	J-30-17	584	169	2861.6	剥片	2.00	1.85	0.75	2.19	チャート	
先248	J-30-17	593	220	2863.6	剥片	1.20	3.00	0.45	1.32	チャート	
先250	J-30-17	533	312	2853.1	剥片	2.10	1.30	0.40	1.19	チャート	
先253	J-30-17	591	383	2860.1	剥片	1.35	0.90	0.40	0.43	チャート	
先291	J-30-17	597	220	2862.1	剥片	1.75	2.60	0.70	1.44	チャート	
先292	J-30-17	590	380	2855.6	剥片	1.35	0.90	0.20	0.25	チャート	
先12	J-30-18	10	205	2868.1	剥片	2.90	3.45	0.65	5.39	チャート	実測
先14	J-30-18	35	210	2873.1	剥片	3.05	4.15	0.65	8.79	砂岩	実測
先15	J-30-18	42	219	2861.1	播・削器	2.15	3.25	0.65	4.27	チャート	実測
先16	J-30-18	44	221	2859.1	剥片	(1.25)	3.10	0.45	1.68	チャート	
先17	J-30-18	43	230	2849.6	剥片	(2.1)	3.80	0.80	5.06	安山岩	
先26	J-30-18	35	322	2861.1	剥片	2.60	2.10	0.65	2.67	チャート	
先30	J-30-18	58	320	2856.6	剥片	3.20	2.35	1.20	5.75	チャート	
先31	J-30-18	67	320	2855.1	石核	4.00	4.15	2.10	31.18	チャート	
先57	J-30-18	75	385	2860.1	剥片	4.60	3.90	0.80	12.78	砂岩	実測
先69	J-30-18	135	336	2863.6	剥片	1.45	3.35	0.70	1.87	安山岩	
先71	J-30-18	129	327	2863.1	播・削器	3.15	5.00	0.95	10.26	チャート	実測
先111	J-30-18	15	463	2851.1	剥片	(2.45)	2.00	0.70	2.57	安山岩	
先125	J-30-18	40	432	2859.6	播・削器	2.90	4.10	0.30	12.69	チャート	実測
先146	J-30-18	63	423	2860.1	剥片	2.90	3.00	0.75	4.96	安山岩	
先161	J-30-18	100	431	2861.1	剥片	2.15	3.10	0.80	4.60	安山岩	
先217	J-30-18	62	115	2876.1	剥片	2.55	4.15	0.85	4.53	チャート	実測
先219	J-30-18	127	130	2862.6	剥片	1.10	2.35	0.50	1.07	チャート	
先279	J-30-18	57	467	2841.1	剥片	2.30	2.00	1.10	4.87	チャート	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
先293	J-30-18	42	283	2855.6	碎片	B			0.05	チャート	
先294	J-30-18	16	339	2851.1	碎片	1.50	0.75	0.20	0.19	チャート	
先297	J-30-18	19	435	2855.6	碎片	1.40	0.85	0.70	0.71	チャート	
先301	J-30-18	70	424	2852.1	碎片	1.90	1.00	0.40	0.58	チャート	



第272図 石器集中14

石器集中14 (第272図)

J-29-10グリッドとJ-30-6グリッドの境に位置する。本集中は第1文化層の石器集中が密集する区域から離れ、第2文化層のまとまる区域とも離れて点在している。石器の分布は径0.5mの範囲にまとまっている。

石器の総数は4点と

少ない。内訳は削器1点、刮片2点、碎片1点である。石材は黒耀石が2点、安山岩、ホルンフェルスがそれぞれ1点となっている。

遺物の出土層位は第III層から第IV層にかけてである。

第71表 石器集中14出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
6	J-29-10	592	417	2757.0	刮片	2.55	3.10	0.70	4.66	ホルンフェルス	
1	J-30-6	20	440	2762.0	碎片	1.45	1.85	0.60	1.14	安山岩	
2	J-30-6	25	415	2744.0	掻・削器	2.00	1.40	0.30	0.86	黒耀石	実測
3	J-30-6	40	430	2748.0	刮片	3.40	1.65	0.75	1.45	黒耀石	実測

単独1 (第273図)

J-30-19グリッド、調査区の南端部に位置する。石器集中及び礫群の密集区から少し離れて1点存在する。出土層位は第IV層中である。

遺物は黒耀石を素材とした刮片である。

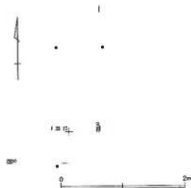
単独2 (第274図)

J-30-17グリッド、第8号礫群と第7号礫群の中間に位置する。礫群の密集区内の単独出土は本例だけである。

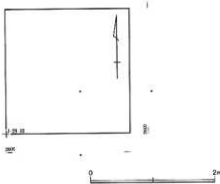
出土層位は第IV層中である。

遺物はチャートを素材とした刮片である。

第273図 単独1



第274図 単独2



第275図 単独4

第72表 単独出土石器一覧

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器 種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石 質	備 考
先3	J-30-19	341	353	2846.6	剥片	3.8	1.15	0.45	1.39	黒曜石	
41	J-30-17	465	579	2846.0	剥片	7	3.8	1.7	40.98	チャート	
3	J-29-10	533	120	2795.0	碎片	1.7	2.55	0.5	1.39	安山岩	

単独4（第275図）

J-29-10グリッドに位置する。本文化層の中心からは外れ、第2文化層の中心的な地点である。近くには本文化層の石器集中14が見られる。単独5が近接するが出土層位で明らかに分けられた。

出土層位は第IV層中である。

遺物は安山岩の碎片である。

第1文化層出土の石器（第276～279図）

本文化層出土の主な石器はナイフ形石器と削器である。特に削器の形態はバラエティーに富んでいる。

ナイフ形石器（第276図1・2）

ナイフ形石器は2点出土している。

1は縦長剥片を上位に用い、調整加工は両側縁に施している。外形は先端及び基端が尖り、左右対称形である。刃部は右刃で刃部幅は狭い。調整加工は両側縁に粗い剥離が施されている。先端角は51°である。石材は削器4と8～11の剥片と同一母岩のチャートを用いている。

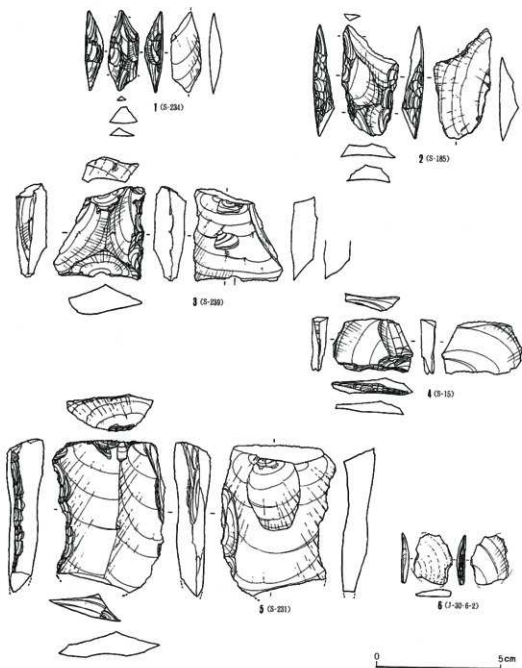
2は横長剥片を左位に用いている。打面は側縁の調整剥離によって除去している。外形は幅広で刃部が長軸に対し直角に近い左右非対称形を呈している。刃部は右刃である。調整加工は両側縁に比較的整った鋸歯状剥離が施されている。横断面は薄手の台形状で、縦断面は基端部付近に最大厚がある。先端角は53°、側刃角は119°である。石材は安山岩を用いている。

削器（第276・277図）

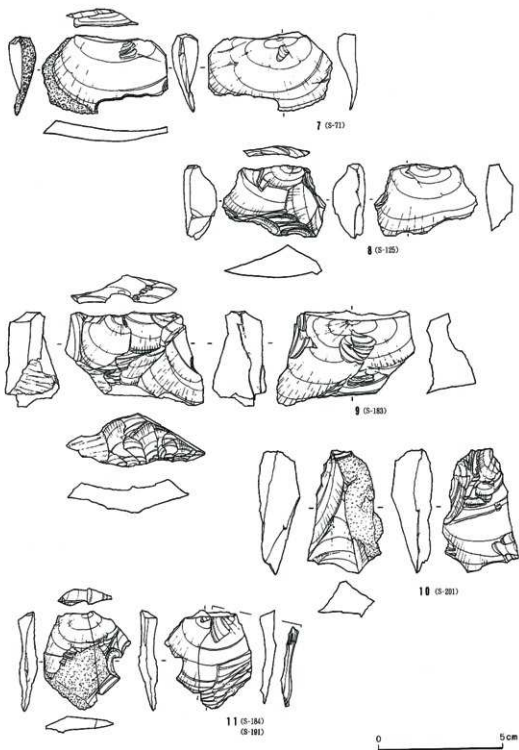
削器は5点出土している。

3は縦長剥片の右側縁に刃部加工が施されている。正面は両側縁及び下面からの剥離によって屋

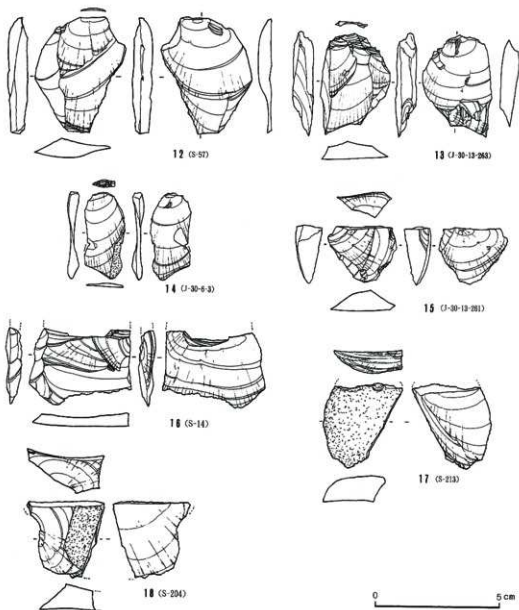
根状に作られている。打面は単剝離を大きく残している。石材は不純物の多い黒曜石を用いている。



第276図 第1文化層出土石器 (1)



第277図 第1文化層出土石器(2)

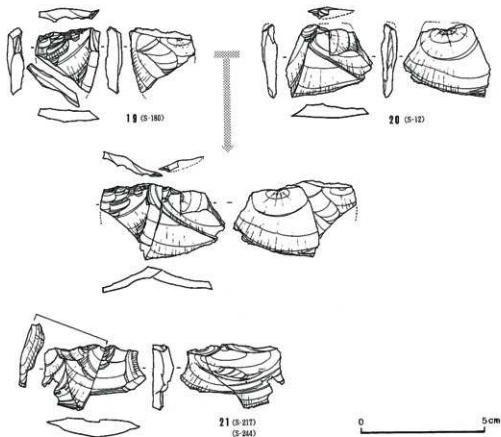


第278図 第1文化層出土石器(3)

4は上半部を若干欠損する。横長剥片を素材とし打面の部分に刃部加工を施し、打面を除去している。横断面は薄手の台形状となる。石材はナイフ形石器1と8～11の剥片と同一母岩のチャートを用いている。

5は下半部を若干欠損する。縦長剥片の左側縁に刃部加工が施されている。正面の剥離面と主要剥離面の剥離方向は共通しており、連続的に縦長剥片を剥離していた事が窺える。打面は正面方向からの単剥離面である。石材はチャートを用いている。

6は鱗状の小形剥片の一端に刃部加工が施される。正面は自然面である。石材は黒曜石を用いている。



第279図 第1文化層出土石器(4)

7は横長剥片の下縁辺に細かい剥離の刃部加工が施される。正面の剥離面と主要剥離面の剥離方向は共通するが、打面は正面の剥離面を切っている。石材はチャートである。

剥片(第277～279図)

剥片は8～11が同一母岩のチャートである。同一母岩としてはナイフ形石器1と削器4がみられる。17・18は黒色緻密安山岩で産地分析を行っている。19～21は同一母岩のチャートで石器集を越えて接合している。

碎片

碎片の占める割合は50%前後でそれほど高くない。

接合(第279図)

接合資料は剥片剥離に伴うものと、剥片が2点に折れたものがある。前者は19と20の接合で、共に石器集中8から出土している。距離は0.75mである。後者は21の接合が石器集中1と石器集中8の間で行われ接合距離は7mである。11の接合は石器集中8で0.9mの距離であった。

第2文化層

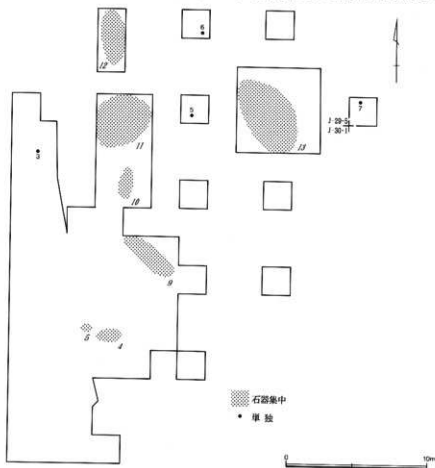
本文化層に帰属する石器集中の総数は7か所、単独出土は4点である。

石器集中はJ-29・5・10・15とJ-30・11・12グリッドに位置する。分布の中心は第1文化層と比べ北東に移る。文化層間の重複は少なく、集中4・5が集中3と重なるだけである。礫群との関係で少なく、集中13と第10号礫群の分布が重なる程度である。

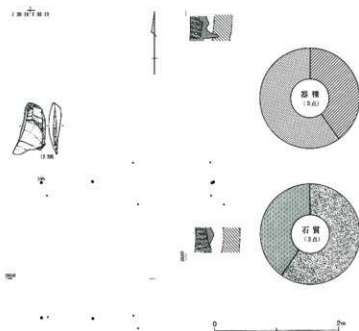
遺物は第V層中位から第VI層にかけて出土しているが、本来的には第VI層中に帰属するものと考えられる。

石器の総数は73点である。製品は全体でナイフ形石器1点と貧弱であるが、黒曜石の縦長剥片、メノウの大形縦長剥片は目を引くものがある。

石材は全体の78%を黒曜石が占め、他の石材はいずれも一桁台である。黒曜石は透明度の高い良質なもので、正面に原石面を残すものが多い。また、石器集中10からは原石が出土している。



第280図 第2文化層石器集中



第281図 石器集中4

石器集中4 (第281図)

J-30-13グリッドに位置する。第1文化層の石器集中3と重複し、同一文化層の石器集中5と近接する。石器は南北約1m、東西約2mの範囲から出土している。

石器の総数は5点と少なく、内訳は刮片2点と碎片3点。石材は黒曜石3点、シルト岩2点である。

遺物の出土層位は、第V層中である。

第73表 石器集中4出土石器一覧

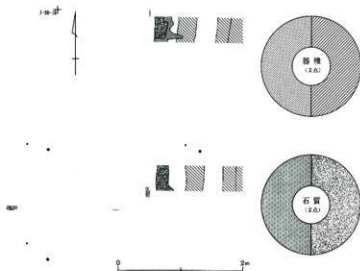
番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	器種	長さ[m]	幅[m]	厚さ[m]	重量[g]	石質	備考
329	J-30-13	307	22	2790.0	碎片	2.35	2.55	1.10	5.66	シルト岩	
330	J-30-13	285	94	2787.0	刮片	(2.8)	1.20	0.40	1.23	シルト岩	
332	J-30-13	256	160	2792.0	碎片	1.81	1.20	0.20	0.36	黒曜石	
333	J-30-13	323	167	2771.0	碎片	2.34	1.20	0.21	0.52	黒曜石	
395	J-30-13	286	13	2789.0	刮片	4.15	2.70	1.00	7.28	黒曜石	実測

石器集中5 (第282図)

J-30-18グリッドに位置する。第1文化層の石器集中3と重複し、同一文化層の石器集中4と近接する。

石器の総数は2点と少なく、内訳は刮片と碎片である。石材は黒曜石とシルト岩を用いている。

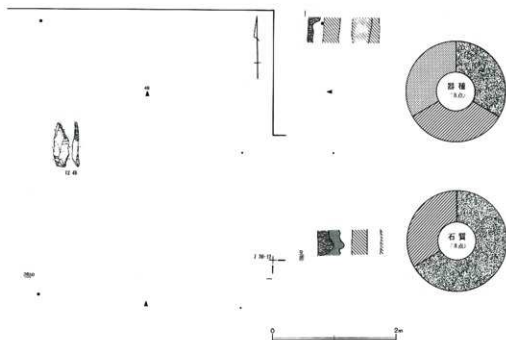
遺物の出土層位は、遺物分布は石器集中4と同じく第V層中である。



第282図 石器集中5

第74表 石器集中5 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
114	J-30-18	217	550	2793.0	砕片	1.50	1.20	0.75	1.03	黒曜石	
115	J-30-18	226	584	2769.0	剥片	3.65	2.65	1.60	9.76	シルト岩	



第283図 石器集中9

石器集中9 (第283図)

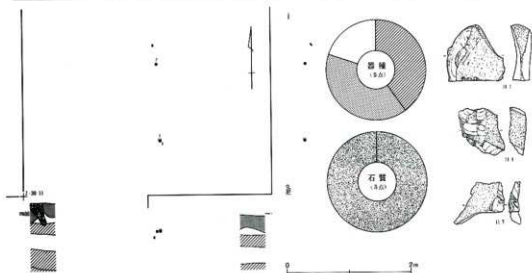
J-30-12グリッドに位置する。第1文化層の石器集中6と近接する。石器はナイフ形石器を中心に3点が4mのライン上に並ぶ様に出土している。

石器の総数は3点と少ないが、黒曜石を用いたナイフ形石器1点(12-48)を含む。他には剥片1点、碎片1点。石材は黒曜石2点、安山岩1点である。

遺物の出土層位は、第V層の中位である。

第75表 石器集中9 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
39	J-30-12	220	228	2821.0	剥片	2.00	2.40	0.70	2.84	黒曜石	
43	J-30-12	428	550	2803.0	碎片	10.90	3.20	1.25	3.97	安山岩	
48	J-30-12	331	398	2808.0	ナイフ形石器	3.60	1.55	0.55	1.88	黒曜石	実測



第284図 石器集中10

石器集中10 (第284図)

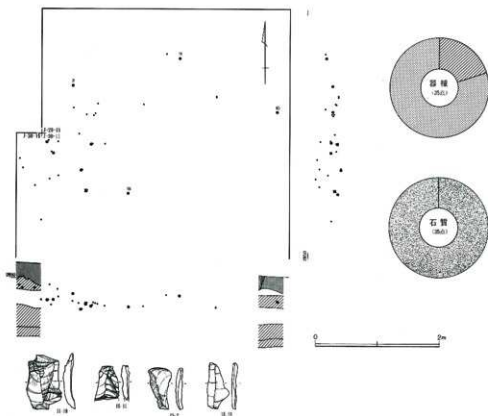
J-30-11グリッド、同一文化層の石器集中9と11の中間に位置する。石器は南北方向の約1.5mのライン上に並ぶ様に出土している。

石器の総数は5点である。内訳は剥片2点、碎片2点、原石1点。石材は全て黒曜石を用いている。

遺物の出土層位は、第V層の中位である。

第76表 石器集中10 出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	J-30-11	512	220	2824.0	原石	4.50	4.65	1.75	29.47	黒曜石	実測
1	J-30-11	512	220	2824.0	剥片	3.80	3.75	1.40	15.14	黒曜石	実測
7	J-30-11	391	215	2823.0	剥片	3.40	4.15	1.00	6.67	黒曜石	実測
19	J-30-11	360	210	2814.0	碎片	A			0.06	黒曜石	
20	J-30-11	362	210	2811.0	碎片	2.15	0.85	0.25	0.36	黒曜石	



第285図 石器集中11

石器集中11（第285図）

J-29-15・J-30-11・J-30-16グリッドにかけて分布し、同一文化層の石器集中10と12の中間に位置する。石器は南北約3m、東西約4mの範囲に拡がり、西側部に径約1.5mで集中する。

石器の総数は35点と本文化層では最もまとまった点数となる。石器の内訳は剝片8点、碎片27点と単純で、石材は全て黒曜石で占められる。

遺物の出土層位は、第V層下部から第VI層にかけて検出されている。

第77表 石器集中11出土石器一覧

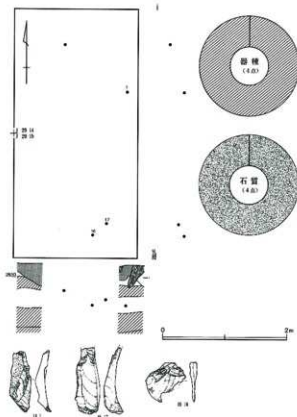
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
2	J-29-15	523	50	2811.0	剥片	3.35	1.90	0.60	2.08	黒耀石	実測
3	J-29-15	552	90	2807.0	碎片	B			0.05	黒耀石	
4	J-29-15	568	86	2808.0	碎片	B			0.13	黒耀石	
5	J-29-15	570	72	2809.0	碎片	C			0.13	黒耀石	
6	J-29-15	571	83	2809.0	碎片	A			0.02	黒耀石	
7	J-29-15	553	164	2804.0	碎片	B			0.03	黒耀石	
8	J-29-15	472	201	2821.0	碎片	1.76	1.28	0.27	0.41	黒耀石	
9	J-29-15	600	60	2808.0	碎片	<B			0.43	黒耀石	
10	J-29-15	564	380	2810.0	剥片	3.70	1.80	0.45	1.70	黒耀石	
11	J-29-15	479	222	2820.0	剥片	2.75	2.00	0.65	2.52	黒耀石	
13	J-29-15	559	51	2823.0	碎片	B			0.06	黒耀石	実測
15	J-29-15	540	281	2802.0	碎片	1.60	1.85	0.30	0.56	黒耀石	
15	J-29-15	540	281	2802.0	碎片	1.45	0.95	0.20	0.22	黒耀石	
2	J-30-11	17	80	2804.0	剥片	2.35	2.50	0.50	1.41	黒耀石	
3	J-30-11	16	82	2806.0	碎片	B			0.09	黒耀石	
4	J-30-11	16	102	2805.0	碎片	2.05	0.85	0.15	0.26	黒耀石	
5	J-30-11	91	72	2808.0	碎片	C			0.19	黒耀石	
5	J-30-11	91	72	2808.0	碎片	A			0.05	黒耀石	
5	J-30-11	91	72	2808.0	碎片	A			0.03	黒耀石	
5	J-30-11	91	72	2808.0	碎片	A			0.01	黒耀石	
5	J-30-11	91	72	2808.0	碎片	A			0.01	黒耀石	実測
8	J-30-11	72	13	2838.0	碎片	B			0.12	黒耀石	
10	J-30-11	67	27	2819.0	碎片	B			0.06	黒耀石	
11	J-30-11	13	26	2831.0	碎片	2.05	0.82	0.43	0.56	黒耀石	
12	J-30-11	11	11	2814.0	碎片	B			0.15	黒耀石	
13	J-30-11	14	9	2814.0	剥片	2.30	2.80	0.70	3.66	黒耀石	
14	J-30-11	31	19	2814.0	剥片	2.80	2.40	0.40	1.38	黒耀石	
15	J-30-11	138	0	2814.0	碎片	C			0.32	黒耀石	
16	J-30-11	29	16	2806.0	碎片	B			0.23	黒耀石	
17	J-30-11	58	64	2799.0	碎片	A			0.04	黒耀石	
17	J-30-11	58	64	2799.0	碎片	B				黒耀石	実測
18	J-30-11	95	140	2803.0	剥片	4.45	2.80	0.80	7.82	黒耀石	
1	J-30-16	40	566	2837.0	碎片	1.10	1.70	0.30	1.28	黒耀石	
2	J-30-16	55	571	2833.0	碎片	B			0.16	黒耀石	
3	J-30-16	83	590	2833.0	碎片	B			0.05	黒耀石	

石器集中12 (第286図)

J-29-14グリッドとJ-29-15グリッドに分布する。調査区の北端部に位置し、石器集中11と近接する。石器は北側と南側に2点ずつに分けられる。

石器の総数は4点と少く、全て黒耀石製の剥片である。

遺物の出土層位は、第V層下底面から第VI層にかけて検出されている。



第286図 石器集中12

第78表 石器集中12出土石器一覧

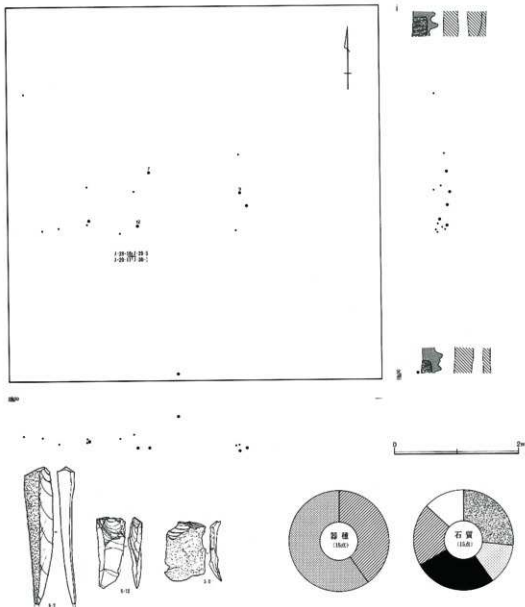
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	J-29-14	534	182	2804.0	剥片	4.85	1.75	1.25	5.41	黒耀石	実測
2	J-29-14	458	82	2828.0	剥片	2.50	1.65	0.55	1.65	黒耀石	
16	J-29-15	162	128	2805.0	剥片	3.15	3.25	0.65	3.05	黒耀石	実測
17	J-29-15	144	150	2814.0	剥片	5.30	1.95	1.55	9.80	黒耀石	実測

石器集中13 (第287図)

J-29-10・J-29-5・J-30-1の3グリッドにかけて分布する。本集中は調査区の東側に少し離れて位置する。第1文化層の石器集中14と第10号礫群と一部重複する。石器の分布は南北約1.5m、東西約3mの範囲でまとまり、径約5mの範囲に散漫に広がる。

石器の総数は15点である。内訳は剥片6点、碎片9点と単純な組成を示す。石材は黒耀石4点、チャート2点、頁岩4点、安山岩3点、ホルンフェルス2点とバラエティーに富んでいる。

遺物の出土層位は、集中と投影した断面の間に若干距離が在り、地形が傾斜しているため、第IV層中位に見えるが、発掘時の所見では第V層からVI層にかけて検出されている。

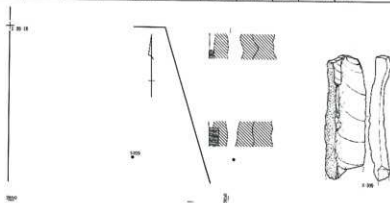


第287図 石器集中13

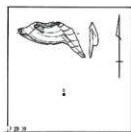
第79表 石器集中13出土石器一覧

番号	グリッド	北-南	西-東	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
6	J-29-5	497	3	2745.0	砕片	1.40	1.35	0.25	0.37	安山岩	
7	J-29-5	467	28	2724.0	剥片	10.95	2.30	1.45	23.96	ホルンフェルス	実測
8	J-29-5	439	172	2728.0	砕片	1.78	1.22	0.50	0.75	黒曜石	
9	J-29-5	500	174	2719.0	剥片	4.75	3.40	1.25	9.78	黒曜石	実測
10	J-29-5	521	185	2723.0	剥片	3.90	1.45	0.55	1.72	頁岩	
11	J-29-5	560	167	2727.0	砕片	1.50	2.00	0.20	0.80	安山岩	
12	J-29-5	552	9	2724.0	剥片	5.70	2.35	1.20	12.22	ホルンフェルス	実測

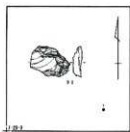
番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
7	J-29-10	342	426	2744.0	砕片	1.70	1.20	0.25	0.55	頁岩	
9	J-29-10	564	580	2739.0	砕片	1.20	1.70	0.55	0.45	黒耀石	
10	J-29-10	490	527	2733.0	砕片	B			0.10	黒耀石	
11	J-29-10	560	456	2741.0	砕片	A			0.01	安山岩	
12	J-29-10	556	482	2731.0	砕片	1.20	1.20	0.20	0.25	チャート	
13	J-29-10	550	527	2738.0	砕片	(1.8)	0.80	0.35	0.47	チャート	
14	J-29-10	544	530	2735.0	剥片	2.20	2.60	0.80	2.69	頁岩	
1	J-30-1	188	72	2773.0	剥片	3.60	1.65	0.35	1.55	頁岩	



第288図 単独3



第289図 単独5



第290図 単独6

単独3 (第288図)

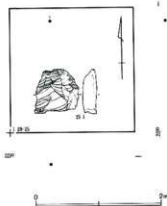
J-30-16グリッド調査区の北東に位置する。

出土層位は第Ⅵ層下部から第Ⅶ層上面にかけてである。

遺物はメノウの大形縦長剥片である。正面左側に原石面を残している。正面の剥離面と主要剥離面は同一方向からの剥離で本石器と同様の大形縦長剥片を連続的に剥離していたことが窺える。打面は大きく複剥離面で構成される。

単独5 (第289図)

J-29-10グリッド、本文化層に分布の中央部に位置する。



第291図 単独7

出土層位は第VI層中からである。

遺物は横長剥片で黒耀石を用いている。

単独6 (第290図)

J-29-9グリッド調査区の北端に位置する。

出土層位は第VI層中からである。

遺物は剥片で黒耀石を用いている。

単独7 (第291図)

I-29-25グリッド調査区の東端に位置する。

出土層位は第VI層中からである。

遺物は剥片で黒耀石を用いている。

第80表 単独出土石器一覧

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	器 種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重量(g)	石 質	備 考
先 309	J-30-16	208	200	2841.0	剥片	9.95	3.3	1.7	45.94	メノウ	実測
5	J-29-10	541	90	2759.0	剥片	2.8	5.45	0.65	5.22	黒耀石	実測
1	J-29-9	566	156	2781.0	剥片	2.45	3.25	0.7	4.36	黒耀石	実測
1	I-29-25	422	65	2689.0	剥片	3.55	3.5	1.15	12.92	黒耀石	実測

第2文化層出土の石器 (第292～294図)

本文化層から出土した石器はほとんどが良質の黒耀石を用いている。組成はナイフ形石器1点を除くと、他は縦長剥片のみと貧弱であった。

ナイフ形石器 (第292図1)

1は縦長剥片を下位に用いている。外形は先端が尖り基端部がコ字状になる。打面は基端部の剝離によって除去されている。調整加工は基端部の周辺と右側縁上半部に通用の Blunting が施されている。先端角は31°、側刃角は169°である。石材は透明度の高い良質の黒耀石を用いている。

剥片 (第292～294図)

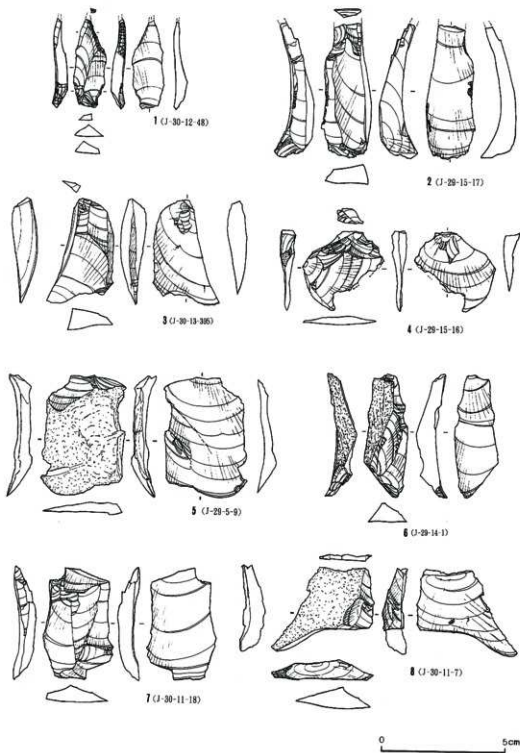
剥片のほとんどは黒耀石製である。正面に原石面を残すものが目に付き、石刃状の縦長剥片が少ない。製品が少ない点と合わせて遺跡の性格を示しているのかもしれない。

メノウを石材とする剥片は、単独3から出土している。大形縦長剥片で、正面左側に原石面を残している。正面の剝離面と主要剝離面は同一方向で本剥片同様の大形縦長剥片を連続的に剝離していたことが窺える。打面は大きく複剝離面で構成される。横断面は厚手で三角形状をしている。

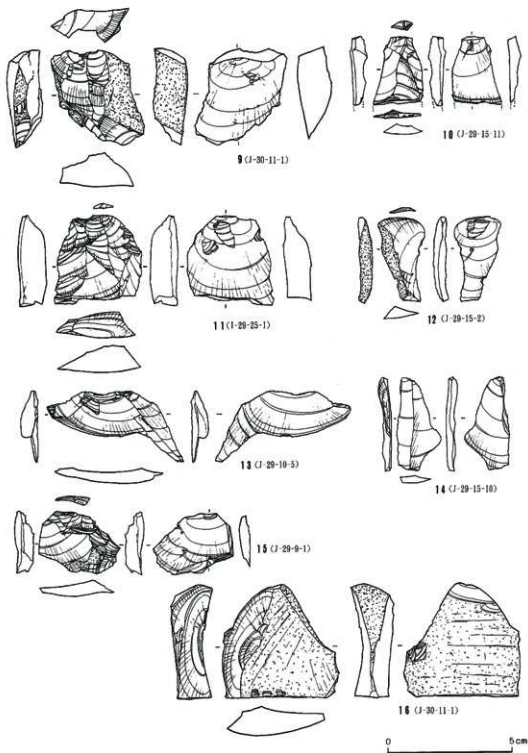
黒耀石以外の石材の剥片は18・19共に大形で整った縦長剥片である。

原石 (第293図16)

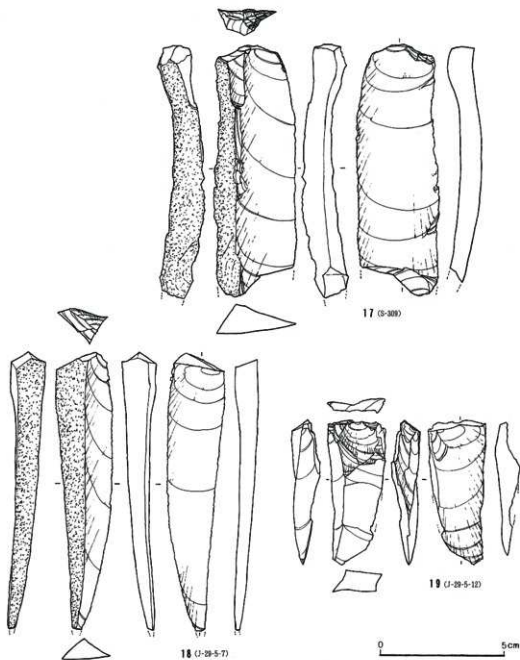
16は盤状の原石で左側面に石材の質を確認したかのような剝離が1枚見られる。



第292図 第2文化層出土石器(1)



第293図 第2文化層出土石器(2)



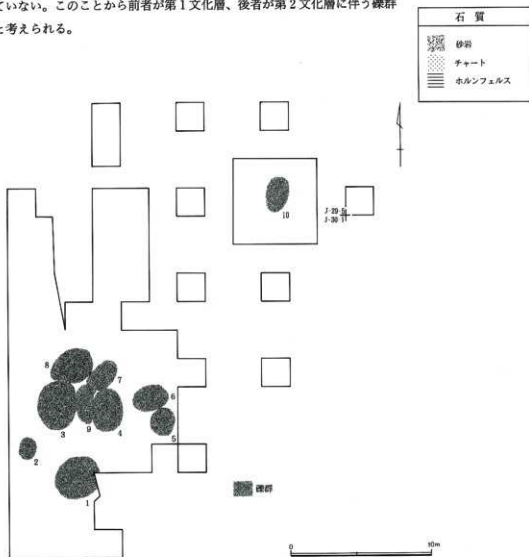
第294図 第2文化層出土石器 (3)

礫 群

礫群は小さな範囲に密集して9基が検出され、総数10基となる。柿ノ木坂遺跡西区の礫群が非常に散漫であったのとは対照的である。礫群の分布は幾つかのグループに分けられる。

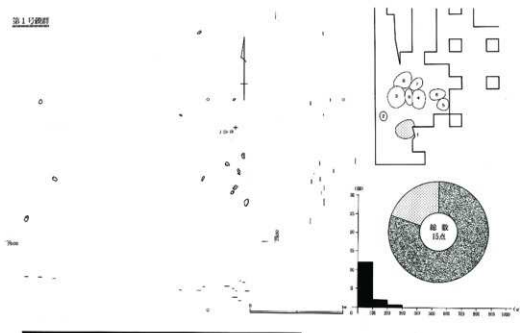
- 最も密集する第3・4・7～9号礫群は5基で形成される。
- 第1号礫群と第2号礫群は上記密集区の南側に位置するが、グループは形成することはない。
- 第5・6号礫群は密集区の東側に若干離れ、2基が近接する。
- 第10号礫群は調査区の北東に1基離れてある。

第1～9号礫群は第1文化層の石器集中の分布範囲と重なり、礫群間で緊密な接合関係を有する。これに対し、第10号礫群は第2文化層の石器集中の分布と重なり、他礫群との間に接合関係を有していない。このことから前者が第1文化層、後者が第2文化層に伴う礫群と考えられる。

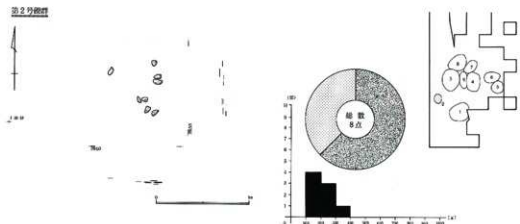


第295図 礫群分布図

第1号礫群



第2号礫群



第296図 第1・2号礫群

第1号礫群 (第296図)

J-30-19グリッドに位置する。本礫群は発掘調査範囲の南部で第3・4・7～9号礫群が密集する区画の少し距離を置いて存在する。礫の総数は15点と少なく、径約2.5mの範囲に散漫に分布している。

礫の大きさは石材は200g台が1点、100g台が2点を除くと軽量が多く残存率も低い。石材は砂岩12点、チャート3点である。

接合は礫群内及び第3礫群との間に見られる。

第2号礫群 (第296図)

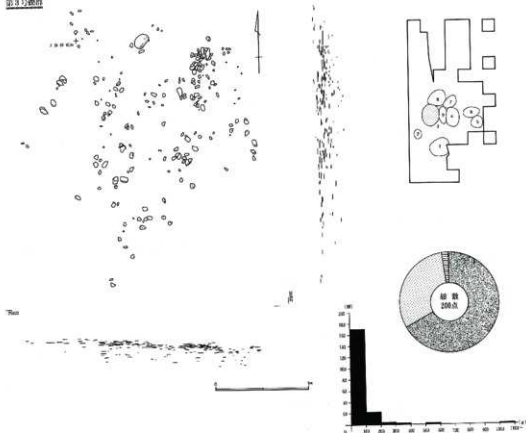
J-30-18グリッドに位置する。第3号礫群の西側に近接する。礫の総数は8点と少ないが、径1

m弱の範囲に良くまとまっている。

礫の大きさは400gに近いもの1点、200g台のもの3点、100g台のもの4点で、残存率は殆ど100%に近い。石質は砂岩5点、チャート3点である。

接合関係は見られず、完形礫のまとまりとして完結している。

第3号礫群



第297図 第3号礫群

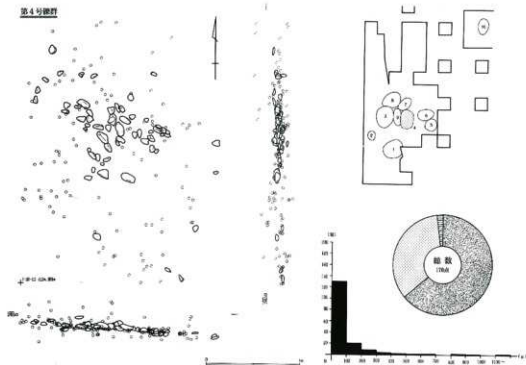
第3号礫群 (第297図)

J-30-18グリッドに位置する。第3・4・7～9号礫群が密集する区画に属する。礫の総数は200点と本遺跡最大規模となる。南北に約3m、東西に約2.5mの範囲に拡がり、その中を幾つかのまとまりに分けることができる。約3kg近い大形の礫が北端部中央に位置し、その東側の南北方向に長方形の密集部分が見られる。

礫の大きさは3kgに近いもの1点、300gを越えるもの5点、200g台のもの2点、100g台のもの22点、50～100gのもの30点である。大きさとしては平均的に小さいものが多く、半数以上が残存率10～20%の破砕礫で、規模の近い第4号礫群とは対照的な出土状況である。石材は砂岩134点、チャート62点、ホルンフェルス4点である。

礫の接合は礫群内及び第1・7・9号礫群との間に見られる。

第4号礫群



第298図 第4号礫群

第4号礫群 (第298図)

J-30-13グリッドに位置する。第3・4・7～9号礫群が密集する区画に属する。礫の総数は170点と第3号礫群に続く規模である。分布は径約1.5mの円形に大形の礫が密集し、その周辺に一回り小形の礫及び破碎礫が拡がる。

礫の大きさは1kgを上回るもの1点、1kgに近いもの3点、300gを上回るもの8点、50～300gまでのもの45点で、残存率が10～20%程度のものが100点以上である。石材は砂岩109点、チャート58点、ホルンフェルス3点である。

礫の接合は礫群内及び第6号礫群との間に密接な関係が見られる。

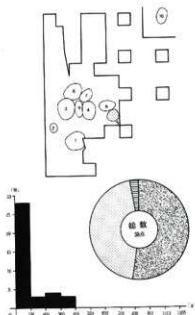
第5号礫群 (第299図)

J-30-13グリッドに位置し、密集部の東側に第6号礫群と近接する。礫の総数は38点と中規模で、分布は径約1mの円形に大形の礫がまとまり、軽量及び破碎礫が若干拡がる傾向が見られる。

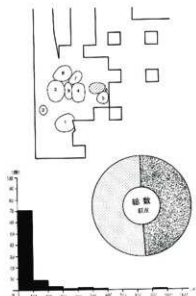
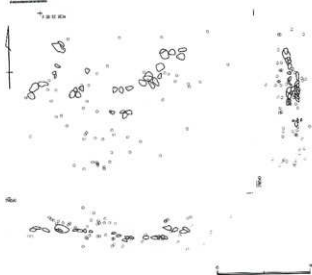
礫の大きさは300g台3点、200g台4点、100g台3点、50g以上が3点と特別大きいものは無いが、100g以上のものが徐々に少なくなるのではなく、平均して3～4点が見られる。10g前後の残存率の低いものは10点程度である。石材は砂岩20点、チャート17点、ホルンフェルス1点と数量は拮抗している。

接合関係は、礫群内と第6・4号と密接な関係にあり、第9号礫群との間にも接合関係がある。

第5号磔群



第6号磔群



第299図 第5・6号磔群

第6号磔群 (第299図)

J-30-13グリッドに位置し、密集部の東側に第5号磔群と近接する。磔の総数は87点と第5号の2倍の規模である。分布は南北約1m、東西約2mとなり、東西方向に1対2の比で拡がる。磔のまとまりは、数点を単位とした小さなものが東西に連結するように並び、周辺に軽量又は破砕磔が拡がっている。

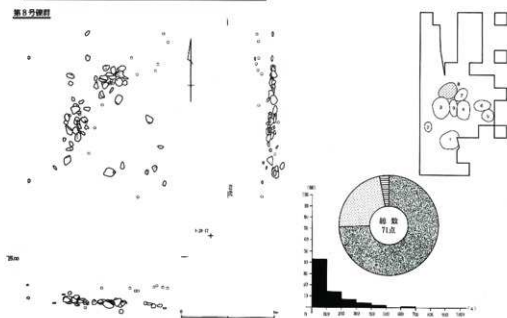
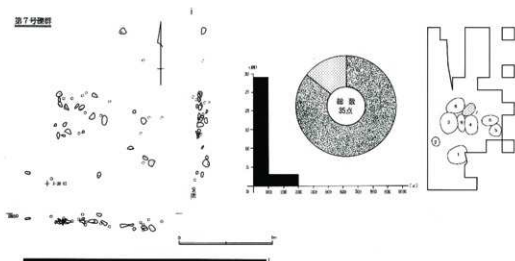
磔の大きさは、1kgに近いもの1点、300g以上のもの4点、200g台が4点、100g台が8点、50g以上のもの11点、10~50gのもの20点、10g未満のもの40点である。傾向としては10g未満の破砕

礫が目立ち、多数が接合している。石材は砂岩43点、チャート44点と拮抗し第5号礫群同様傾向を示している。

接合関係は活発で第4・5号礫群と密接な関係が見られ、第7・9号礫群との接合も見られる。

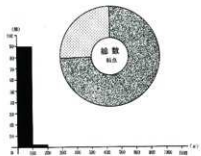
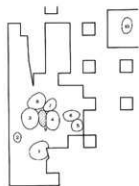
第7号礫群 (第300図)

J-30-12グリッドに位置し、第3・4・7～9号礫群が密集する区画に属する。礫の総数は35点と中規模である。分布は径約1mの範囲で北西に密、南東に粗の状態である。軽量及び破碎礫もその範囲を出て拡がるものではない。

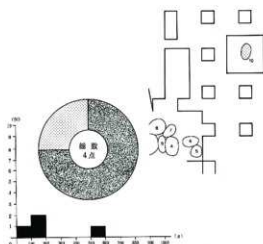


第300図 第7・8号礫群

第9号縄文



第10号縄文



第301図 第9・10号縄群

礫の大きさは、200 g 台 3 点、100 g 台 3 点、50 g 以上のもの 8 点、10～50 g のものが 9 点、10 g 未満が 12 点となり、各グループの数が平均している。石材は砂岩 30 点、チャート 5 点である。

接合は第 8・6・4・3 号礫群との間で見られる。

第 8 号礫群 (第 300 図)

J-30-17 グリッドに位置する。第 3・4・7～9 号礫群が密集する区画に属する。礫の総数は 71 点と規模的に第 6 号礫群と拮抗する、第 2 グループである。径約 1.5 m の範囲に 2 か所の集中部が見られ、南東部に散漫な拡がりがある。

礫の大きさは、300 g を上回るものが 7 点、200 g 台が 7 点、100 g 台が 14 点、50～100 g のものが 10 点、10～50 g が 21 点、10 g 未満のもの 12 点である。各重量のものが均等に見受けられ、ヒストグラムのラインが他の礫群と比べ緩やかである。石材は砂岩 53 点、チャート 16 点、ホルンフェルス 2 点である。

接合は礫群内と第 7 号礫群との間に見られる。

第 9 号礫群 (第 301 図)

J-30-18 グリッドに位置し、第 3・4・7～9 号礫群が密集する区画に属する。規模の大きい第 3・4 号礫群の間に挟まれるよう、またはその間を埋めるように存在する。礫の総数は 91 点と多いが、図示出来るものは無かった。分布は南北に約 2.5 m、東西に約 1 m の範囲であり、まさに第 3 号礫群から第 4 号礫群の分布の狭間で粗になる部分に当たる。これを独立した礫群として捉えるか、大形の礫群の狭間と捉えるか疑問もあったが、此処では一応、独立したものとしておく。

礫の大きさは、100 g 以上が 2 点、50～100 g が 9 点、50 g 未満 10 g 以上が 30 点、10 g 未満が 50 点とまさに 9 割が残存率 10% 前後の破砕礫である。石材は砂岩 68 点、チャート 23 点である。

接合は礫群内と両側の第 3・4 号礫群との間で若干例見られるが、全体に接合例は少ない。

第 10 号礫群 (第 301 図)

J-29-5 グリッドに位置する。他の礫群との間に距離があり、北東に 1 か所点在するように存在する。礫の総数は 4 点と少なく、約 1.5 m の直線上に分布する。礫の重量は 500 g 台が 1 点、100 g 台が 2 点、10 g 台が 1 点、石材は砂岩 3 点、チャート 1 点である。

接合は礫群内では見られるが、他の礫群との関係は無い。

礫群の分類と接合 (第 302～304 図)

柿ノ木坂遺跡東区から検出された礫群の総数は 10 基である。

礫の点数と重量の頻度図 (第 257 図)

礫群を 50 cm 四方に区切って、その中の礫の数と重量を図化した。

第 1 号礫群：礫の分布は南東側にまとまり西部は散漫に分布する。点数では 5 点以上のクラスはなく中心は見られない。重量は点数同様に 250 g 以下のクラスのみである。

第2号礫群：礫の分布範囲は非常に狭く、1m四方に収まる。点数は5点以下のクラスのみである。重量は南西コーナーが500～1000gのクラスで残りの3グリッドが250～500gのクラスである。

第3号礫群：礫の分布範囲は広く、ほぼ8m四方の範囲からまとまって出土している。点数の中心は東側に偏っており、11～20点のグリッドが下に開いたコ字状に並び、6～10点のグリッドがそれから延びている。また、北東に41点以上のグリッドが見られる。重量の分布は点数以上に中心がより中央にくる傾向が見られる。2000～3000gのグリッドが北東に2か所並び、点数がコの字の部分に1000～1500gと500～1000gと250～500gの各クラスのグリッドとなっている。

第4号礫群：礫の分布は南北に長い長方形に分布している。分布の中心は西側に偏る傾向が見られる。点数の分布はほぼ中央部にある21～30点のグリッドを囲むように、11～20点のグリッドが位置し、それを更に囲むように6～10点のグリッドが見られ、同心円状の分布を示している。重量の分布は中心がより明確である。点数の21～30点のグリッドが5000g以上のグリッドで、その西側に1000～1500gのクラス、南東部に1500～2000gと2000～3000gのクラスのグリッドが位置し、その南北に250～500gのグリッドが位置する螺旋状の分布を示している。

第5号礫群：礫の分布はコンパクトにまとまっている。点数の中心は中央北側で11～20点のクラスと6～10点のクラスが南北に並び周辺を5点以下のグリッドが囲んでいる。重量は点数の分布状況をより鮮明にしている。点数で6～10点・11～20点のグリッドが1000～1500gのクラスでその西側に500～1000gのグリッドが接続している。

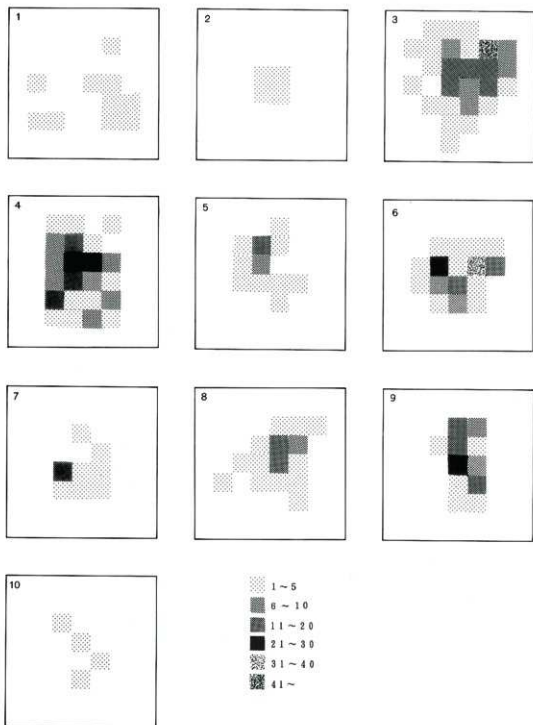
第6号礫群：礫の分布は東西方向に延び横長の長方形である。点数の中心はほぼ中央にあり東西に11～20点のクラスのグリッドが並び、それに6～10点のグリッドが連結している。更に周辺を5点以下のグリッドが囲んでいる。重量の分布は点数の状況以上に東西により重いクラスのグリッドが並ぶ傾向が見られる。1000～1500gのグリッドと1500～2000gのグリッドが2つの中心を作り、その周辺に250～500gと500～1000gのグリッドが位置し、さらに250g以下のグリッドが囲んでいる。

第7号礫群：礫の分布は1.5m四方にほとんど収まる範囲である。点数は西側に11～20点のグリッドが1か所見られる他は、全て5点以下のグリッドである。重量の分布は南側部分中心が見られ、点数の11～20点のグリッドが500～1000gのクラスで、その東側に250～500gのグリッドが繋がっている。

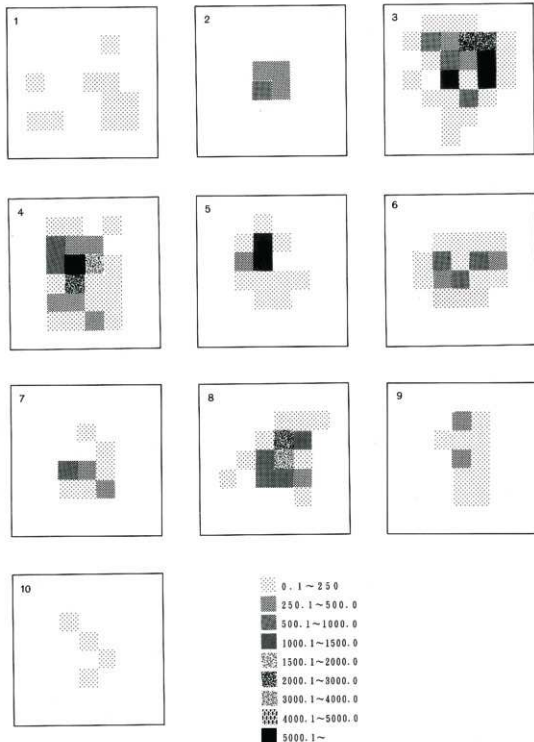
第8号礫群：礫の分布の範囲は1.5m四方を中心に円形に広がっている。点数はほぼ中央に11～20点のグリッドが南北に並び、6～10点のグリッドがそれに接続する。重量は中央1.5mの範囲を中心とし、2000～3000g、1500～2000g、1000～1500gのグリッドが南北に並び、その東西に250～500g、500～1000gのクラスのグリッドが囲んでいる。

第9号礫群：礫の分布は南北に長い長方形である。点数の分布は中央から北側に中心が見られる。21～30点のグリッドを中心に6～10点と11～20点のグリッドが南北に並んでいる。一方重量の分布は点数ほど明確でなく250～500gのグリッドが北側に2か所見られる程度で、他は250g以下のクラスである。点数の多い割に重量の軽い礫群である。

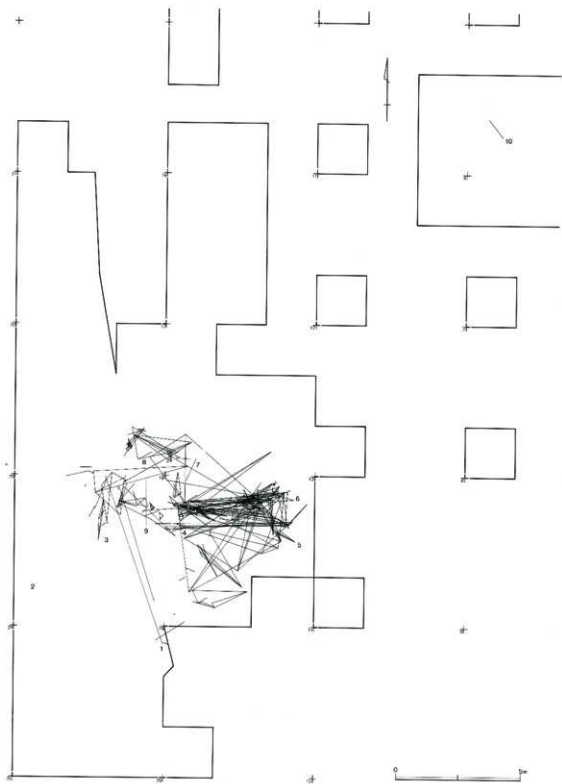
第10号礫群：礫の分布は南北方向で散漫に斜めに分布している。点数は5点以下のクラス、重量は250g以下のクラスのみで中心は見られない。



第302図 礫群点数頻度図



第303図 礫群重量頻度図



第304图 碑群接合图

礫群の礫接合 (第304図)

礫群内接合

- 第3号礫群の接合は25点あり、接合距離の平均は0.4mである。
- 第4号礫群の接合は11点あり、接合距離の平均は0.4mである。
- 第5号礫群の接合は1点で、接合距離は0.4mである。
- 第6号礫群の接合は2点あり、接合距離の平均は0.8mである。
- 第7号礫群の接合は3点あり、接合距離の平均は0.3mである。
- 第8号礫群の接合は8点あり、接合距離の平均は0.3mである。
- 第9号礫群の接合は5点あり、接合距離の平均は0.6mである。
- 第10号礫群の接合は1点で、接合距離は0.9mである。

礫群間接合

- 第1号礫群1点と礫群外1点、接合距離0.3mである。
- 第1号礫群1点と礫群外1点、接合距離1.4mである。
- 第1号礫群1点と第9号礫群1点、接合距離0.7mである。
- 第3号礫群4点と礫群外1点、接合距離の平均は0.1mである。
- 第3号礫群1点と礫群外1点、接合距離0.1mである。
- 第3号礫群1点と礫群外1点、接合距離0.5mである。
- 第4号礫群5点と礫群外1点、接合距離の平均は1.5mである。
- 第4号礫群2点と礫群外1点、接合距離の平均は0.9mである。
- 第4号礫群3点と礫群外2点、接合距離の平均は1.9mである。
- 第4号礫群1点と礫群外1点、接合距離0.8mである。
- 第6号礫群9点と礫群外3点、接合距離の平均は0.9mである。
- 第9号礫群1点と礫群外2点、接合距離の平均は0.4mである。
- 第1号礫群1点と第3号礫群1点、接合距離4.8mである。
- 第3号礫群4点と第7号礫群1点、接合距離の平均は2.2mである。
- 第3号礫群1点と第7号礫群1点、接合距離2.5mである。
- 第3号礫群3点と第9号礫群2点、接合距離の平均は0.7mである。
- 第4号礫群2点と第5号礫群1点、接合距離の平均は2.9mである。
- 第4号礫群1点と第6号礫群2点、接合距離の平均は2.6mである。
- 第4号礫群1点と第6号礫群1点、接合距離3.4mである。
- 第4号礫群1点と第6号礫群2点、接合距離の平均は3.3mである。
- 第4号礫群3点と第6号礫群4点、接合距離の平均は2.0mである。
- 第4号礫群3点と第6号礫群4点、接合距離の平均は1.6mである。
- 第4号礫群1点と第6号礫群3点、接合距離の平均は1.8mである。
- 第4号礫群3点と第7号礫群1点、接合距離の平均は0.6mである。

第4号礫群2点と第9号礫群2点、接合距離の平均は1.5mである。

第4号礫群1点と第9号礫群1点、接合距離2.3mである。

第5号礫群1点と第6号礫群4点、接合距離の平均は1.0mである。

第5号礫群1点と第6号礫群1点と礫群外1点、接合距離の平均は2.1mである。

第5号礫群1点と第6号礫群4点と礫群外1点、接合距離の平均は1.3mである。

第7号礫群1点と第8号礫群2点、接合距離の平均は1.5mである。

第7号礫群1点と第8号礫群1点、接合距離1.0mである。

第4号礫群1点と第5号礫群1点と第8号礫群1点、接合距離の平均は5.4mである。

第4号礫群4点と第5号礫群1点と第9号礫群1点、接合距離の平均は2.2mである。

第4号礫群1点と第6号礫群1点と第7号礫群1点と第8号礫群1点、接合距離の平均は2.8mである。

第4号礫群3点と第5号礫群1点と第6号礫群3点と礫群外1点、接合距離の平均は2.5mである。

第4号礫群3点と第5号礫群3点と第6号礫群1点と礫群外1点、接合距離の平均は2.2mである。

第4号礫群1点と第5号礫群1点と第6号礫群9点と礫群外1点、接合距離の平均は1.6mである。

第4号礫群1点と第5号礫群4点と第6号礫群3点と礫群外1点、接合距離の平均は1.5mである。

第81表 礫出土一覽

第1号群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
先240	J-30-14	50	4	2857.6	1.37	砂岩	
先243	J-30-14	80	12	2847.1	222.92	砂岩	
先244	J-30-14	30	8	2856.6	95.71	砂岩	
先290	J-30-14	47	4	2836.6	21.99	砂岩	
117	J-30-18	571	571	2826.0	4.55	チャート	
先230	J-30-18	575	390	2861.6	50.55	砂岩	
先232	J-30-18	500	560	2847.6	19.81	砂岩	
先233	J-30-18	587	540	2848.1	3.83	砂岩	
先305	J-30-18	571	598	2840.6	6.94	チャート	
先235	J-30-19	100	375	2862.1	141.76	砂岩	
先236	J-30-19	58	405	2860.6	38.14	砂岩	
先237	J-30-19	39	590	2852.1	25.40	砂岩	
先238	J-30-19	55	565	2851.6	25.31	砂岩	
先241	J-30-19	65	600	2847.1	153.23	チャート	
先242	J-30-19	70	596	2849.6	36.22	砂岩	

第2号群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
先310	J-30-18	395	110	2815.6	398.87	砂岩	
先311	J-30-18	385	155	2812.6	111.12	砂岩	
先312	J-30-18	400	160	2811.1	260.92	チャート	
先313	J-30-18	406	160	2811.6	175.71	チャート	
先314	J-30-18	425	140	2812.1	158.55	砂岩	
先315	J-30-18	425	147	2811.6	248.22	砂岩	
先316	J-30-18	435	149	2811.6	137.59	砂岩	
先317	J-30-18	438	158	2809.1	282.34	チャート	

第3号群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
先192	J-30-17	570	295	2866.6	22.06	砂岩	
先193	J-30-17	568	305	2867.6	8.83	砂岩	
先194	J-30-17	582	295	2868.6	15.78	砂岩	
先195	J-30-17	588	310	2866.6	8.93	チャート	
先197	J-30-17	593	313	2867.1	22.69	砂岩	
先202	J-30-17	589	387	2860.1	9.39	チャート	
先203	J-30-17	591	392	2858.6	2.51	砂岩	
先251	J-30-17	590	300	2860.1	23.90	砂岩	
先252	J-30-17	600	323	2847.6	4.46	チャート	
先254	J-30-17	585	383	2856.1	11.02	砂岩	
169	J-30-18	123	405	2857.6	130.39	砂岩	
先18	J-30-18	107	240	2867.1	5.69	砂岩	
先19	J-30-18	111	245	2865.1	11.35	砂岩	
先20	J-30-18	73	263	2865.1	87.92	砂岩	
先21	J-30-18	65	273	2865.6	156.25	チャート	
先22	J-30-18	50	279	2868.1	4.35	チャート	
先23	J-30-18	46	281	2868.6	3.65	砂岩	
先24	J-30-18	40	285	2864.1	535.46	砂岩	
先25	J-30-18	6	203	2868.1	15.84	砂岩	
先27	J-30-18	41	321	2863.6	151.13	砂岩	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
先28	J-30-18	45	319	2850.6	21.34	砂岩	
先29	J-30-18	41	329	2857.1	6.50	チャート	
先32	J-30-18	75	320	2852.1	202.08	チャート	
先33	J-30-18	82	327	2861.1	51.65	砂岩	
先34	J-30-18	83	328	2864.1	8.29	砂岩	
先35	J-30-18	78	330	2861.1	30.46	チャート	
先36	J-30-18	79	334	2865.1	8.38	チャート	
先37	J-30-18	77	335	2862.6	86.72	チャート	
先38	J-30-18	68	334	2861.6	84.69	砂岩	
先39	J-30-18	70	340	2864.1	74.56	チャート	
先40	J-30-18	59	342	2865.1	5.96	砂岩	
先41	J-30-18	56	341	2864.6	5.38	チャート	
先42	J-30-18	51	342	2862.6	28.53	砂岩	
先43	J-30-18	53	348	2862.6	82.00	砂岩	
先44	J-30-18	46	344	2865.1	60.00	砂岩	
先45	J-30-18	35	347	2858.6	17.83	チャート	
先46	J-30-18	5	360	2861.1	35.22	砂岩	
先47	J-30-18	0	357	2858.1	2838.02	砂岩	
先47	J-30-18	0	357	2858.1	5.30	砂岩	
先48	J-30-18	13	370	2859.6	23.12	砂岩	
先49	J-30-18	44	395	2857.6	13.01	砂岩	
先50	J-30-18	48	338	2858.1	2.85	チャート	
先51	J-30-18	58	382	2860.6	116.67	砂岩	
先52	J-30-18	58	372	2858.1	10.64	チャート	
先53	J-30-18	65	374	2858.1	18.47	チャート	
先54	J-30-18	67	382	2859.1	6.19	砂岩	
先55	J-30-18	60	394	2859.1	116.67	砂岩	
先56	J-30-18	70	391	2857.1	25.87	チャート	
先58	J-30-18	78	365	2863.1	14.27	チャート	
先59	J-30-18	90	392	2856.1	21.53	砂岩	
先60	J-30-18	93	358	2860.6	65.50	砂岩	
先61	J-30-18	93	354	2861.1	82.37	砂岩	
先62	J-30-18	100	335	2858.1	3.44	チャート	
先63	J-30-18	113	327	2860.6	4.33	チャート	
先64	J-30-18	115	348	2863.6	149.07	チャート	
先65	J-30-18	112	355	2862.6	6.10	チャート	
先66	J-30-18	124	357	2865.6	65.18	砂岩	
先67	J-30-18	137	357	2861.6	46.72	チャート	
先68	J-30-18	140	353	2861.6	14.37	チャート	
先70	J-30-18	132	330	2862.6	199.30	砂岩	
先72	J-30-18	128	324	2862.1	10.63	砂岩	
先73	J-30-18	124	320	2863.1	28.62	チャート	
先74	J-30-18	133	320	2861.6	166.71	砂岩	
先75	J-30-18	140	323	2864.6	32.41	チャート	
先76	J-30-18	157	322	2864.1	16.79	砂岩	
先77	J-30-18	167	298	2864.1	158.27	チャート	
先78	J-30-18	150	350	2864.1	163.69	砂岩	
先79	J-30-18	150	340	2862.1	316.98	チャート	
先80	J-30-18	155	340	2863.6	31.50	チャート	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
先81	J-30-18	175	335	2861.6	97.62	砂岩	
先82	J-30-18	174	342	2861.6	5.41	ホルンフェルス	
先83	J-30-18	195	348	2863.6	13.59	砂岩	
先85	J-30-18	180	370	2862.1	114.68	チャート	
先86	J-30-18	190	364	2862.1	25.77	砂岩	
先87	J-30-18	194	367	2862.6	4.89	チャート	
先88	J-30-18	200	367	2860.6	20.92	チャート	
先89	J-30-18	190	370	2862.1	51.96	砂岩	
先90	J-30-18	190	375	2860.6	161.20	砂岩	
先91	J-30-18	190	390	2850.6	67.75	チャート	
先92	J-30-18	195	397	2841.6	75.63	砂岩	
先93	J-30-18	170	390	2850.1	88.14	砂岩	
先94	J-30-18	140	397	2855.1	4.89	チャート	
先95	J-30-18	127	393	2856.1	20.76	チャート	
先96	J-30-18	72	376		5.59	チャート	
先97	J-30-18	0	443	2851.6	59.14	砂岩	
先98	J-30-18	13	440	2862.1	49.67	砂岩	
先99	J-30-18	14	435	2861.6	126.68	チャート	
先100	J-30-18	12	431	2859.1	18.75	砂岩	
先101	J-30-18	17	425	2860.1	107.37	砂岩	
先102	J-30-18	18	430	2859.1	98.73	砂岩	
先103	J-30-18	20	431	2858.1	170.22	砂岩	
先104	J-30-18	19	434	2859.6	28.49	砂岩	
先105	J-30-18	17	440	2857.6	308.08	砂岩	
先106	J-30-18	18	445	2855.1	47.81	チャート	
先107	J-30-18	11	457	2855.1	11.39	砂岩	
先108	J-30-18	17	458	2852.1	64.82	ホルンフェルス	
先109	J-30-18	12	461	2854.1	19.61	砂岩	
先110	J-30-18	12	464	2852.6	8.82	砂岩	
先112	J-30-18	26	448	2854.1	92.81	砂岩	
先113	J-30-18	21	443	2858.1	66.78	チャート	
先114	J-30-18	24	434	2857.6	25.45	砂岩	
先115	J-30-18	23	434	2857.6	60.66	砂岩	
先116	J-30-18	28	427	2859.1	37.04	砂岩	
先117	J-30-18	30	425	2856.6	147.00	砂岩	
先118	J-30-18	30	428	2859.1	28.55	砂岩	
先119	J-30-18	35	426	2857.6	161.29	砂岩	
先120	J-30-18	30	430	2856.6	72.11	砂岩	
先121	J-30-18	30	435	2857.1	257.36	砂岩	
先122	J-30-18	27	440	2856.6	7.93	砂岩	
先123	J-30-18	34	447	2854.6	12.74	砂岩	
先124	J-30-18	40	440	2856.1	17.01	砂岩	
先126	J-30-18	45	425	2856.6	67.51	砂岩	
先127	J-30-18	43	415	2859.6	12.70	砂岩	
先128	J-30-18	42	410	2852.1	15.36	砂岩	
先129	J-30-18	45	410	2855.6	35.22	砂岩	
先130	J-30-18	47	426	2859.6	14.02	砂岩	
先131	J-30-18	45	431	2858.1	3.55	砂岩	
先132	J-30-18	50	430	2859.1	29.26	砂岩	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
先133	J-30-18	47	445	2856.6	0.66	チャート	
先134	J-30-18	49	449	2852.1	17.20	砂岩	
先135	J-30-18	52	442	2856.6	3.77	砂岩	
先136	J-30-18	60	450	2846.6	28.62	砂岩	
先137	J-30-18	66	438	2855.1	10.57	チャート	
先138	J-30-18	60	430	2858.1	44.22	砂岩	
先139	J-30-18	63	433	2858.6	19.32	チャート	
先140	J-30-18	60	427	2857.1	43.00	チャート	
先141	J-30-18	63	423	2857.6	82.18	砂岩	
先142	J-30-18	60	415	2857.6	40.72	砂岩	
先143	J-30-18	62	415	2859.1	23.15	砂岩	
先144	J-30-18	55	410	2860.1	563.55	砂岩	
先145	J-30-18	63	412	2858.1	94.17	砂岩	
先147	J-30-18	72	430	2860.1	30.88	砂岩	
先148	J-30-18	67	429	2858.1	8.10	砂岩	
先149	J-30-18	70	427	2859.1	37.37	砂岩	
先150	J-30-18	75	435	2858.1	280.00	ホルンフェルス	
先151	J-30-18	87	470	2854.6	34.63	砂岩	
先152	J-30-18	90	480	2855.6	31.98	砂岩	
先153	J-30-18	92	464	2850.6	33.14	砂岩	
先154	J-30-18	100	465	2852.1	32.24	砂岩	
先155	J-30-18	100	480	2857.6	16.46	砂岩	
先156	J-30-18	112	488	2853.6	163.93	砂岩	
先157	J-30-18	120	487	2857.1	31.05	砂岩	
先158	J-30-18	128	487	2852.6	19.03	砂岩	
先159	J-30-18	140	457	2851.1	6.49	砂岩	
先160	J-30-18	105	443	2854.6	19.89	チャート	
先162	J-30-18	100	425	2857.1	14.92	チャート	
先163	J-30-18	104	430	2854.6	29.13	砂岩	
先164	J-30-18	105	418	2858.6	95.60	砂岩	
先165	J-30-18	100	414	2855.1	23.40	砂岩	
先166	J-30-18	117	425	2851.6	160.44	砂岩	
先167	J-30-18	123	417	2860.1	22.21	ホルンフェルス	
先168	J-30-18	125	408	2859.1	32.67	チャート	
先169	J-30-18	123	406	2857.6	130.96	チャート	
先170	J-30-18	117	405	2859.1	45.94	砂岩	
先171	J-30-18	127	403	2858.1	55.98	砂岩	
先172	J-30-18	126	414	2861.6	24.86	砂岩	
先173	J-30-18	130	420	2859.1	23.55	砂岩	
先174	J-30-18	130	413	2858.6	28.12	砂岩	
先175	J-30-18	130	417	2857.6	129.41	砂岩	
先176	J-30-18	140	408	2856.6	30.72	砂岩	
先177	J-30-18	150	410	2859.1	24.23	砂岩	
先178	J-30-18	158	420	2846.6	58.38	チャート	
先224	J-30-18	203	347	2861.6	2.75	砂岩	
先225	J-30-18	212	342	2862.1	37.57	砂岩	
先226	J-30-18	220	348	2848.6	18.92	砂岩	
先227	J-30-18	230	355	2862.6	45.44	砂岩	
先228	J-30-18	255	332	2863.6	18.10	砂岩	

番号	グリッド	北一南[m]	西一東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
先229	J-30-18	260	335	2864.6	32.62	砂岩	
先258	J-30-18	15	433	2858.6	113.11	砂岩	
先259	J-30-18	15	431	2856.1	56.97	砂岩	
先262	J-30-18	25	460	2848.6	2.06	チャート	
先263	J-30-18	27	432	2857.6	13.94	砂岩	
先265	J-30-18	35	432	2854.6	4.22	砂岩	
先266	J-30-18	35	433	2856.1	3.50	砂岩	
先267	J-30-18	39	436	2854.6	9.77	砂岩	
先268	J-30-18	75	431	2856.1	4.38	砂岩	
先269	J-30-18	55	469	2842.6	8.57	砂岩	
先270	J-30-18	64	473	2837.6	9.10	砂岩	
先271	J-30-18	69	468	2839.1	1.95	砂岩	
先272	J-30-18	86	480	2855.1	52.24	砂岩	
先273	J-30-18	102	462	2843.6	2.80	チャート	
先274	J-30-18	100	445	2837.1	9.82	チャート	
先275	J-30-18	103	416	2852.6	23.33	チャート	
先276	J-30-18	45	279	2855.1	6.44	砂岩	
先277	J-30-18	22	324	2843.6	4.93	チャート	
先278	J-30-18	18	338	2851.1	4.44	砂岩	
先280	J-30-18	141	346	2851.6	1.39	チャート	
先281	J-30-18	53	335	2851.1	1.73	砂岩	
先282	J-30-18	63	326	2855.1	2.09	チャート	
先283	J-30-18	91	325	2848.1	1.88	砂岩	
先284	J-30-18	112	346	2850.6	3.50	チャート	
先285	J-30-18	127	371	2845.1	3.05	チャート	
先286	J-30-18	118	386	2848.6	4.72	砂岩	
先287	J-30-18	117	388	2849.1	2.39	チャート	
先288	J-30-18	190	357	2853.1	3.38	チャート	
先299	J-30-18	44	447	2853.6	0.29	砂岩	
先300	J-30-18	50	449	2842.1	1.52	チャート	
先302	J-30-18	74	423	2842.6	0.08	チャート	
先307	J-30-18	30	472	2846.1	9.74	砂岩	
先308	J-30-18	33	476	2851.1	9.54	チャート	

第4号線群

番号	グリッド	北一南[m]	西一東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
2	J-30-13	32	32	2861.0	35.63	チャート	
3	J-30-13	77	98	2862.0	31.44	砂岩	
4	J-30-13	22	100	2861.0	8.34	砂岩	
5	J-30-13	86	77	2842.0	2.10	チャート	
6	J-30-13	100	95	2845.0	24.99	砂岩	
8	J-30-13	107	10	2845.0	13.63	砂岩	
9	J-30-13	124	10	2858.0	2.90	砂岩	
10	J-30-13	147	55	2841.0	12.50	砂岩	
11	J-30-13	114	68	2856.0	3.82	チャート	
12	J-30-13	138	69	2839.0	9.43	砂岩	
13	J-30-13	192	45	2843.0	1.43	砂岩	
14	J-30-13	207	53	2844.0	1.83	チャート	
15	J-30-13	212	3	2841.0	37.78	砂岩	
16	J-30-13	225	34	2852.0	9.09	砂岩	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
17	J-30-13	272	40	2837.0	66.06	砂岩	
19	J-30-13	271	99	2850.0	9.14	砂岩	
21	J-30-13	155	108	2835.0	1.97	チャート	
22	J-30-13	237	134	2846.0	41.74	砂岩	
23	J-30-13	234	184	2847.0	47.21	砂岩	
24	J-30-13	234	183	2845.0	11.60	砂岩	
57	J-30-13	262	88	2836.0	3.56	チャート	
58	J-30-13	226	95	2832.0	57.98	砂岩	
59	J-30-13	210	1	2838.0	19.48	砂岩	
60	J-30-13	201	4	2839.0	3.28	砂岩	
62	J-30-13	210	21	2845.0	0.42	チャート	
61	J-30-13	202	19	2839.0	3.84	チャート	
63	J-30-13	202	32	2841.0	15.95	チャート	
64	J-30-13	219	31	2843.0	110.66	砂岩	
65	J-30-13	208	38	2840.0	16.42	砂岩	
66	J-30-13	203	48	2838.0	5.91	砂岩	
66	J-30-13	203	48	2838.0	39.75	砂岩	
67	J-30-13	191	50	2836.0	16.66	砂岩	
68	J-30-13	171	35	2839.0	7.49	チャート	
69	J-30-13	161	40	2838.0	59.54	砂岩	
70	J-30-13	124	40	2837.0	24.46	チャート	
71	J-30-13	118	49	2835.0	15.76	砂岩	
72	J-30-13	88	7	2840.0	16.27	チャート	
75	J-30-13	99	89	2841.0	1.97	砂岩	
76	J-30-13	60	85	2834.0	13.66	砂岩	
77	J-30-13	108	80	2832.0	43.76	チャート	
78	J-30-13	116	61	2835.0	10.49	砂岩	
79	J-30-13	136	113	2831.0	21.10	チャート	
80	J-30-13	127	140	2833.0	0.83	チャート	
82	J-30-13	219	181	2838.0	0.52	砂岩	
84	J-30-13	245	151	2832.0	22.49	チャート	
85	J-30-13	237	140	2831.0	48.62	砂岩	
90	J-30-13	174	14	2834.0	0.14	チャート	
91	J-30-13	173	21	2833.0	0.24	砂岩	
92	J-30-13	164	40	2836.0	0.64	砂岩	
93	J-30-13	160	37	2838.0	1.07	砂岩	
98	J-30-13	172	47	2833.0	14.70	砂岩	
99	J-30-13	134	154	2834.0	6.20	チャート	
100	J-30-13	122	139	2830.0	15.09	チャート	
102	J-30-13	51	56	2836.0	1.92	砂岩	
103	J-30-13	63	55	2838.0	4.72	チャート	
104	J-30-13	68	73	2836.0	2.56	チャート	
105	J-30-13	244	103	2833.0	0.63	砂岩	
106	J-30-13	231	151	2831.0	1.01	チャート	
107	J-30-13	197	172	2830.0	20.25	チャート	
108	J-30-13	168	129	2831.0	0.92	砂岩	
109	J-30-13	128	131	2830.0	0.46	チャート	
110	J-30-13	97	117	2831.0	11.38	砂岩	
111	J-30-13	54	139	2835.0	2.56	砂岩	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
112	J-30-13	84	54	2835.0	0.49	チャート	
115	J-30-13	154	58	2832.0	8.04	砂岩	
116	J-30-13	37	160	2835.0	25.24	砂岩	
117	J-30-13	175	176	2831.0	8.69	砂岩	
133	J-30-13	285	132	2830.0	0.60	砂岩	
134	J-30-13	269	129	2833.0	1.64	砂岩	
136	J-30-13	280	90	2833.0	0.92	砂岩	
137	J-30-13	291	116	2831.0	32.68	砂岩	
138	J-30-13	299	129	2831.0	10.33	チャート	
141	J-30-13	298	150	2829.0	34.46	砂岩	
142	J-30-13	282	135	2830.0	40.95	チャート	
143	J-30-13	281	140	2829.0	32.24	砂岩	
174	J-30-13	131	179	2829.0	8.26	砂岩	
175	J-30-13	94	138	2831.0	2.55	チャート	
177	J-30-13	52	25	2840.0	199.06	砂岩	
178	J-30-13	83	17	2837.0	61.88	チャート	
179	J-30-13	96	11	2838.0	114.61	ホルンフェルス	
180	J-30-13	89	35	2834.0	24.52	砂岩	
181	J-30-13	85	40	2836.0	13.62	砂岩	
182	J-30-13	84	33	2837.0	84.73	砂岩	
183	J-30-13	77	54	2834.0	128.54	砂岩	
184	J-30-13	77	64	2833.0	205.44	砂岩	
185	J-30-13	72	65	2834.0	10.60	砂岩	
186	J-30-13	77	129	2828.0	2.04	チャート	
186	J-30-13	77	129	2828.0	237.90	砂岩	
187	J-30-13	107	4	2838.0	101.95	チャート	
188	J-30-13	117	34	2835.0	109.54	砂岩	
189	J-30-13	112	38	2834.0	199.59	砂岩	
190	J-30-13	113	49	2833.0	62.23	チャート	
191	J-30-13	109	55	2834.0	465.01	砂岩	
192	J-30-13	125	52	2835.0	162.11	砂岩	
193	J-30-13	123	61	2834.0	195.00	チャート	
194	J-30-13	118	61	2833.0	216.23	チャート	
194	J-30-13	118	61	2833.0	465.01	砂岩	
195	J-30-13	133	55	2833.0	40.39	チャート	
196	J-30-13	181	72	2832.0	1295.47	砂岩	
197	J-30-13	186	100	2830.0	899.78	砂岩	
198	J-30-13	209	83	2831.0	14.02	砂岩	
199	J-30-13	250	74	2834.0	290.82	チャート	
200	J-30-13	287	149	2829.0	57.74	砂岩	
201	J-30-13	293	163	2826.0	66.08	砂岩	
202	J-30-13	240	177	2828.0	99.63	砂岩	
203	J-30-13	145	75	2832.0	867.95	砂岩	
204	J-30-13	132	66	2835.0	337.21	砂岩	
205	J-30-13	188	53	2837.0	119.47	チャート	
206	J-30-13	178	61	2835.0	76.59	チャート	
207	J-30-13	157	57	2836.0	43.50	チャート	
208	J-30-13	163	60	2834.0	103.50	砂岩	
209	J-30-13	164	65	2833.0	60.03	砂岩	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
210	J-30-13	165	72	2833.0	34.46	チャート	
211	J-30-13	160	73	2833.0	133.20	砂岩	
212	J-30-13	155	80	2832.0	169.65	チャート	
213	J-30-13	134	80	2834.0	187.14	砂岩	
214	J-30-13	120	85	2833.0	671.07	砂岩	
215	J-30-13	135	90	2830.0	917.62	砂岩	
216	J-30-13	150	92	2833.0	63.08	砂岩	
217	J-30-13	145	95	2834.0	357.11	砂岩	
218	J-30-13	125	100	2829.0	503.57	砂岩	
219	J-30-13	115	85	2831.0	380.86	チャート	
220	J-30-13	114	92	2832.0	233.96	砂岩	
221	J-30-13	105	91	2833.0	14.92	砂岩	
222	J-30-13	108	97	2832.0	186.60	砂岩	
223	J-30-13	101	105	2830.0	201.77	砂岩	
224	J-30-13	122	107	2832.0	87.23	砂岩	
225	J-30-13	125	123	2831.0	38.04	砂岩	
226	J-30-13	137	128	2829.0	75.94	砂岩	
227	J-30-13	145	122	2829.0	266.88	ホルンフェルス	
228	J-30-13	141	110	2831.0	134.00	チャート	
229	J-30-13	138	115	2828.0	278.06	チャート	
230	J-30-13	135	116	2832.0	6.04	チャート	
231	J-30-13	146	130	2828.0	77.06	砂岩	
232	J-30-13	143	127	2830.0	102.60	砂岩	
233	J-30-13	155	130	2829.0	113.42	ホルンフェルス	
234	J-30-13	158	133	2829.0	49.38	チャート	
235	J-30-13	135	135	2827.0	396.70	砂岩	
236	J-30-13	136	142	2828.0	143.45	砂岩	
237	J-30-13	142	145	2831.0	47.98	砂岩	
238	J-30-13	148	153	2831.0	9.83	砂岩	
239	J-30-13	130	55	2835.0	25.52	チャート	
239	J-30-13	130	55	2835.0	3.78	砂岩	
240	J-30-13	131	60	2834.0	140.50	チャート	
253	J-30-13	133	133	2825.0	45.21	砂岩	
254	J-30-13	140	140	2826.0	35.01	砂岩	
255	J-30-13	138	145	2825.0	3.16	砂岩	
257	J-30-13	134	177	2828.0	3.10	砂岩	
258	J-30-13	129	190	2825.0	12.97	砂岩	
259	J-30-13	131	140	2826.0	14.00	砂岩	
260	J-30-13	109	151	2827.0	4.38	砂岩	
264	J-30-13	269	152	2822.0	45.87	チャート	
265	J-30-13	275	131	2825.0	7.48	砂岩	
266	J-30-13	270	101	2825.0	33.92	砂岩	
267	J-30-13	267	83	2827.0	4.56	チャート	
268	J-30-13	229	46	2830.0	0.73	砂岩	
270	J-30-13	185	144	2828.0	0.72	チャート	
271	J-30-13	162	120	2825.0	6.49	砂岩	
272	J-30-13	130	172	2828.0	2.58	砂岩	
273	J-30-13	94	85	2827.0	2.14	チャート	
274	J-30-13	78	45	2833.0	3.02	チャート	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
275	J-30-13	22	84	2827.0	18.72	チャート	
276	J-30-13	25	79	2826.0	2.41	チャート	
277	J-30-13	181	198	2826.0	51.85	砂岩	
278	J-30-13	150	198	2824.0	96.05	砂岩	
302	J-30-13	208	21	2819.0	1.84	砂岩	
303	J-30-13	209	180	2824.0	2.24	チャート	
304	J-30-13	210	184	2823.0	30.89	砂岩	
307	J-30-13	245	79	2830.0	19.24	チャート	
443	J-30-13	120	47	2826.0	15.32	チャート	

第5号露群

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
45	J-30-13	263	556	2839.0	4.91	砂岩	
123	J-30-13	160	463	2835.0	3.12	砂岩	
124	J-30-13	214	440	2831.0	21.62	砂岩	
125	J-30-13	223	470	2829.0	9.64	砂岩	
170	J-30-13	311	550	2827.0	2.63	砂岩	
246	J-30-13	180	509	2789.0	39.15	砂岩	
247	J-30-13	196	508	2793.0	47.65	砂岩	
248	J-30-13	260	520	2785.0	16.35	チャート	
249	J-30-13	280	536	2788.0	0.67	ホルンフェルス	
250	J-30-13	336	520	2773.0	0.58	砂岩	
252	J-30-13	282	538	2786.0	20.91	砂岩	
337	J-30-13	295	417	2814.0	1.83	チャート	
338	J-30-13	330	466	2809.0	0.44	チャート	
339	J-30-13	258	465	2813.0	6.52	砂岩	
381	J-30-13	150	467	2796.0	2.94	チャート	
383	J-30-13	190	428	2799.0	1.12	チャート	
384	J-30-13	196	488	2797.0	34.83	チャート	
394	J-30-13	264	492	2791.0	0.78	チャート	
425	J-30-13	168	456	2803.0	236.22	砂岩	
426	J-30-13	187	485	2798.0	260.53	チャート	
427	J-30-13	197	489	2790.0	7.13	チャート	
427	J-30-13	197	489	2790.0	4.93	砂岩	
428	J-30-13	193	492	2799.0	133.47	砂岩	
428	J-30-13	193	492	2799.0	5.83	砂岩	
429	J-30-13	192	489	2800.0	160.00	砂岩	
430	J-30-13	194	492	2790.0	43.58	チャート	
431	J-30-13	197	475	2798.0	327.49	チャート	
432	J-30-13	205	480	2795.0	375.80	チャート	
433	J-30-13	205	496	2788.0	29.36	チャート	
434	J-30-13	210	490	2787.0	357.16	砂岩	
435	J-30-13	214	457	2790.0	40.80	チャート	
436	J-30-13	220	447	2790.0	145.08	チャート	
437	J-30-13	227	456	2787.0	59.56	チャート	
438	J-30-13	230	432	2794.0	203.58	砂岩	
439	J-30-13	232	498	2795.0	256.85	砂岩	
440	J-30-13	284	453	2794.0	69.49	砂岩	
441	J-30-13	192	489	2789.0	5.28	砂岩	
442	J-30-13	227	459	2786.0	52.90	チャート	

第6号群

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
89	J-30-13	81	341	2838.0	4.52	チャート	
120	J-30-13	160	353	2832.0	8.70	チャート	
121	J-30-13	78	457	2825.0	7.98	チャート	
122	J-30-13	58	500	2825.0	8.59	砂岩	
251	J-30-13	81	458	2816.0	12.41	砂岩	
279	J-30-13	111	315	2824.0	16.52	砂岩	
280	J-30-13	163	333	2817.0	40.58	チャート	
281	J-30-13	161	357	2820.0	4.22	砂岩	
282	J-30-13	136	364	2821.0	8.76	チャート	
283	J-30-13	106	358	2823.0	8.82	砂岩	
284	J-30-13	110	320	2822.0	3.80	砂岩	
290	J-30-13	121	326	2820.0	12.32	砂岩	
291	J-30-13	94	310	2825.0	1.54	チャート	
292	J-30-13	82	306	2828.0	5.71	チャート	
293	J-30-13	72	308	2826.0	3.81	砂岩	
294	J-30-13	78	350	2824.0	35.25	砂岩	
296	J-30-13	167	365	2825.0	1.33	チャート	
297	J-30-13	131	376	2820.0	3.79	チャート	
298	J-30-13	66	432	2823.0	1.43	砂岩	
299	J-30-13	44	454	2824.0	9.00	砂岩	
300	J-30-13	28	329	2823.0	0.24	チャート	
309	J-30-13	163	358	2822.0	1.93	砂岩	
310	J-30-13	128	347	2820.0	0.62	チャート	
311	J-30-13	82	315	2822.0	0.49	チャート	
312	J-30-13	28	430	2822.0	2.68	砂岩	
313	J-30-13	58	370	2821.0	13.91	砂岩	
314	J-30-13	108	287	2814.0	167.68	砂岩	
315	J-30-13	100	289	2812.0	515.86	砂岩	
316	J-30-13	94	300	2812.0	318.24	チャート	
317	J-30-13	88	313	2814.0	14.01	砂岩	
318	J-30-13	84	312	2814.0	27.62	チャート	
319	J-30-13	78	316	2813.0	13.56	砂岩	
320	J-30-13	57	314	2812.0	938.46	砂岩	
321	J-30-13	54	311	2814.0	66.80	砂岩	
322	J-30-13	108	332	2813.0	77.65	砂岩	
323	J-30-13	108	335	2812.0	121.96	チャート	
324	J-30-13	103	332	2811.0	54.30	チャート	
325	J-30-13	100	340	2811.0	49.14	チャート	
326	J-30-13	93	348	2812.0	30.56	チャート	
327	J-30-13	130	374	2810.0	29.94	チャート	
343	J-30-13	131	287	2810.0	2.07	チャート	
344	J-30-13	90	283	2811.0	1.24	チャート	
345	J-30-13	66	359	2821.0	29.67	チャート	
346	J-30-13	95	348	2808.0	3.33	チャート	
347	J-30-13	102	344	2806.0	36.58	砂岩	
349	J-30-13	135	344	2806.0	4.54	砂岩	
350	J-30-13	167	343	2808.0	0.88	チャート	
351	J-30-13	162	358	2807.0	10.04	チャート	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
352	J-30-13	166	365	2809.0	2.15	チャート	
354	J-30-13	134	391	2807.0	0.98	チャート	
357	J-30-13	154	426	2803.0	7.53	砂岩	
358	J-30-13	95	430	2821.0	26.78	砂岩	
359	J-30-13	69	445	2806.0	26.32	砂岩	
360	J-30-13	67	436	2810.0	6.89	砂岩	
362	J-30-13	65	410	2808.0	0.74	チャート	
364	J-30-13	23	479	2809.0	0.62	チャート	
369	J-30-13	130	345	2805.0	7.06	チャート	
370	J-30-13	134	356	2807.0	37.80	砂岩	
371	J-30-13	126	374	2804.0	51.30	砂岩	
372	J-30-13	150	393	2803.0	67.94	砂岩	
373	J-30-13	106	373	2804.0	5.21	チャート	
374	J-30-13	75	443	2799.0	17.36	砂岩	
375	J-30-13	28	384	2796.0	1.70	チャート	
379	J-30-13	76	470	2795.0	3.10	砂岩	
380	J-30-13	139	405	2800.0	3.34	砂岩	
385	J-30-13	77	343	2798.0	0.33	チャート	
387	J-30-13	150	374	2798.0	1.35	チャート	
388	J-30-13	160	371	2797.0	1.74	チャート	
391	J-30-13	126	455	2792.0	0.71	砂岩	
408	J-30-13	62	453	2812.0	117.74	チャート	
409	J-30-13	67	450	2809.0	273.69	チャート	
410	J-30-13	64	490	2810.0	144.33	チャート	
411	J-30-13	64	479	2812.0	443.69	砂岩	
412	J-30-13	78	424	2802.0	400.56	砂岩	
413	J-30-13	90	424	2802.0	84.71	砂岩	
414	J-30-13	86	412	2802.0	271.03	砂岩	
415	J-30-13	90	420	2803.0	65.31	砂岩	
415	J-30-13	90	420	2803.0	174.45	チャート	
416	J-30-13	94	420	2802.0	72.66	チャート	
417	J-30-13	94	416	2802.0	147.86	砂岩	
418	J-30-13	96	409	2803.0	181.94	チャート	
419	J-30-13	102	392	2804.0	209.34	チャート	
420	J-30-13	105	385	2804.0	98.97	チャート	
421	J-30-13	104	377	2806.0	74.96	砂岩	
422	J-30-13	126	394	2804.0	42.13	砂岩	
423	J-30-13	130	390	2803.0	110.36	砂岩	
424	J-30-13	126	386	2800.0	53.38	チャート	

第7号線群

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	J-30-12	530	123	2841.0	12.94	チャート	
2	J-30-12	530	109	2843.0	1.61	砂岩	
3	J-30-12	547	100	2840.0	7.06	砂岩	
4	J-30-12	595	5	2847.0	6.97	砂岩	
5	J-30-12	550	10	2843.0	54.24	砂岩	
6	J-30-12	540	6	2838.0	10.20	砂岩	
7	J-30-12	550	16	2842.0	12.82	砂岩	
8	J-30-12	536	16	2842.0	61.97	砂岩	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
9	J-30-12	545	21	2841.0	79.41	砂岩	
10	J-30-12	547	34	2844.0	7.52	砂岩	
11	J-30-12	505	13	2841.0	143.22	砂岩	
12	J-30-12	511	10	2842.0	30.12	砂岩	
13	J-30-12	516	12	2841.0	44.46	砂岩	
14	J-30-12	510	18	2845.0	7.22	砂岩	
15	J-30-12	519	18	2840.0	52.93	砂岩	
16	J-30-12	510	27	2842.0	8.45	砂岩	
17	J-30-12	517	30	2843.0	41.19	砂岩	
18	J-30-12	507	38	2849.0	13.86	砂岩	
19	J-30-12	507	49	2840.0	64.42	砂岩	
20	J-30-12	520	36	2839.0	99.62	砂岩	
21	J-30-12	530	45	2841.0	87.60	砂岩	
22	J-30-12	532	57	2838.0	285.84	砂岩	
23	J-30-12	504	42	2841.0	4.07	砂岩	
26	J-30-12	525	41	2838.0	6.78	砂岩	
27	J-30-12	528	58	2839.0	28.51	砂岩	
28	J-30-12	513	67	2836.0	8.49	砂岩	
29	J-30-12	578	103	2832.0	19.30	チャート	
30	J-30-12	469	103	2838.0	4.59	砂岩	
31	J-30-12	590	56	2834.0	106.43	砂岩	
32	J-30-12	563	90	2838.0	48.86	チャート	
33	J-30-12	573	105	2832.0	135.87	砂岩	
34	J-30-12	578	112	2831.0	282.34	チャート	
35	J-30-12	523	93	2832.0	1.46	砂岩	
36	J-30-12	533	103	2832.0	61.23	砂岩	
37	J-30-12	437	82	2835.0	214.55	チャート	

第8号線詳

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	J-30-17	559	521	2863.0	74.77	砂岩	
4	J-30-17	462	483	2866.0	32.44	砂岩	
5	J-30-17	412	513	2866.0	17.28	砂岩	
6	J-30-17	429	519	2863.0	13.64	砂岩	
7	J-30-17	425	539	2867.0	6.56	砂岩	
8	J-30-17	418	541	2869.0	310.37	砂岩	
9	J-30-17	394	553	2866.0	72.32	砂岩	
10	J-30-17	385	548	2867.0	23.38	砂岩	
11	J-30-17	535	489	2848.0	493.98	砂岩	
12	J-30-17	528	506	2841.0	110.68	チャート	
13	J-30-17	533	530	2849.0	49.46	ホルンフェルス	
14	J-30-17	528	538	2846.0	103.59	チャート	
15	J-30-17	507	545	2846.0	12.84	砂岩	
16	J-30-17	545	550	2843.0	40.54	砂岩	
17	J-30-17	514	468	2849.0	7.83	砂岩	
18	J-30-17	533	496	2850.0	16.86	チャート	
18	J-30-17	533	496	2850.0	6.28	砂岩	
19	J-30-17	496	455	2854.0	215.87	砂岩	
20	J-30-17	490	453	2852.0	290.33	チャート	
21	J-30-17	492	461	2854.0	26.44	砂岩	

番号	グリッド	北-南[m]	西-東[m]	標高[m]	重量[g]	石 質	備 考
22	J-30-17	488	457	2854.0	26.22	砂岩	
23	J-30-17	485	456	2854.0	56.01	チャート	
24	J-30-17	473	448	2850.0	6.24	砂岩	
25	J-30-17	486	474	2852.0	6.31	砂岩	
26	J-30-17	439	493	2852.0	2.83	砂岩	
27	J-30-17	439	491	2852.0	1.55	チャート	
28	J-30-17	436	492	2852.0	2.00	砂岩	
29	J-30-17	438	490	2852.0	1.07	チャート	
31	J-30-17	485	466	2849.0	31.31	チャート	
32	J-30-17	478	453	2851.0	202.68	砂岩	
33	J-30-17	478	461	2851.0	185.13	チャート	
34	J-30-17	467	454	2852.0	324.53	砂岩	
35	J-30-17	471	457	2853.0	26.18	砂岩	
36	J-30-17	457	451	2854.0	30.42	チャート	
37	J-30-17	438	448	2850.0	43.11	砂岩	
38	J-30-17	431	447	2851.0	169.15	チャート	
39	J-30-17	410	466	2851.0	95.46	砂岩	
40	J-30-17	384	465	2852.0	13.51	砂岩	
42	J-30-17	450	479	2850.0	266.37	砂岩	
43	J-30-17	442	474	2849.0	98.93	砂岩	
44	J-30-17	432	475	2850.0	111.09	チャート	
45	J-30-17	454	497	2848.0	376.33	チャート	
46	J-30-17	445	489	2850.0	60.73	砂岩	
47	J-30-17	439	485	2848.0	296.57	砂岩	
48	J-30-17	433	483	2850.0	105.99	砂岩	
49	J-30-17	432	484	2850.0	188.99	砂岩	
50	J-30-17	435	496	2849.0	447.17	砂岩	
51	J-30-17	421	485	2850.0	138.40	砂岩	
52	J-30-17	428	488	2850.0	190.14	ホルンフェルス	
53	J-30-17	432	493	2851.0	98.28	砂岩	
54	J-30-17	424	494	2837.0	182.59	砂岩	
55	J-30-17	423	504	2849.0	180.55	砂岩	
56	J-30-17	430	503	2849.0	320.01	砂岩	
57	J-30-17	433	505	2851.0	18.01	砂岩	
58	J-30-17	437	506	2849.0	112.69	砂岩	
59	J-30-17	475	533	2847.0	223.23	砂岩	
60	J-30-17	482	455	2848.0	52.29	砂岩	
63	J-30-17	480	465	2845.0	27.92	砂岩	
64	J-30-17	472	458	2848.0	5.96	砂岩	
先190	J-30-17	523	323	2860.6	5.73	砂岩	
先200	J-30-17	470	370	2854.1	8.00	砂岩	
先205	J-30-17	412	404	2869.6	11.69	チャート	
先206	J-30-17	475	445	2853.1	214.67	チャート	
先207	J-30-17	490	448	2854.6	158.08	砂岩	
先208	J-30-17	503	449	2855.1	97.01	砂岩	
先209	J-30-17	522	445	2851.6	608.98	砂岩	
先210	J-30-17	528	432	2851.1	13.41	砂岩	
先211	J-30-17	543	405	2862.1	14.29	チャート	
先255	J-30-17	480	443	2853.6	164.18	砂岩	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
先256	J-30-17	497	442	2854.6	41.48	砂岩	
先257	J-30-17	509	449	2853.1	95.00	砂岩	

第9号礫群

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
3	J-30-18	58	500	2853.0	28.39	砂岩	
4	J-30-18	84	498	2847.0	10.00	砂岩	
5	J-30-18	42	503	2852.0	31.59	砂岩	
6	J-30-18	90	502	2846.0	9.63	チャート	
7	J-30-18	39	509	2853.0	14.72	砂岩	
8	J-30-18	49	513	2854.0	13.63	砂岩	
9	J-30-18	54	512	2852.0	28.56	砂岩	
10	J-30-18	18	523	2850.0	34.04	砂岩	
11	J-30-18	48	522	2854.0	4.13	砂岩	
12	J-30-18	91	522	2850.0	55.82	砂岩	
13	J-30-18	2	543	2863.0	15.49	チャート	
14	J-30-18	20	542	2860.0	15.32	砂岩	
15	J-30-18	22	550	2863.0	4.45	チャート	
16	J-30-18	11	555	2858.0	9.40	チャート	
17	J-30-18	33	544	2849.0	63.97	砂岩	
18	J-30-18	46	535	2858.0	128.45	砂岩	
20	J-30-18	60	531	2856.0	5.65	砂岩	
21	J-30-18	68	540	2852.0	1.69	砂岩	
22	J-30-18	83	538	2852.0	7.18	砂岩	
23	J-30-18	89	531	2850.0	15.12	砂岩	
24	J-30-18	89	541	2853.0	2.42	チャート	
25	J-30-18	96	536	2852.0	1.15	チャート	
27	J-30-18	46	571	2854.0	18.83	チャート	
28	J-30-18	82	560	2857.0	0.25	砂岩	
30	J-30-18	91	584	2856.0	8.90	砂岩	
31	J-30-18	9	594	2862.0	105.00	チャート	
31	J-30-18	9	594	2862.0	46.30	砂岩	
31	J-30-18	9	594	2862.0	46.05	砂岩	
32	J-30-18	104	521	2851.0	16.55	砂岩	
33	J-30-18	107	517	2850.0	8.17	砂岩	
34	J-30-18	112	515	2849.0	54.11	砂岩	
35	J-30-18	120	510	2851.0	21.35	チャート	
36	J-30-18	126	511	2851.0	0.98	砂岩	
37	J-30-18	145	507	2854.0	98.59	砂岩	
38	J-30-18	145	512	2854.0	10.73	砂岩	
39	J-30-18	163	515	2853.0	60.11	砂岩	
41	J-30-18	118	525	2851.0	66.70	砂岩	
42	J-30-18	106	529	2850.0	1.99	チャート	
44	J-30-18	127	534	2852.0	10.68	砂岩	
45	J-30-18	108	544	2849.0	67.30	砂岩	
46	J-30-18	103	551	2849.0	41.02	砂岩	
47	J-30-18	106	549	2853.0	5.20	砂岩	
49	J-30-18	111	547	2847.0	27.64	砂岩	
50	J-30-18	128	549	2846.0	20.63	砂岩	
51	J-30-18	112	552	2845.0	0.71	チャート	

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
52	J-30-18	129	552	2846.0	84.22	砂岩	
53	J-30-18	126	558	2847.0	10.69	砂岩	
55	J-30-18	124	566	2839.0	10.46	砂岩	
56	J-30-18	138	533	2858.0	4.84	チャート	
57	J-30-18	184	563	2844.0	1.26	砂岩	
59	J-30-18	142	575	2845.0	24.16	チャート	
60	J-30-18	160	592	2845.0	44.69	砂岩	
64	J-30-18	198	575	2844.0	1.36	砂岩	
65	J-30-18	210	555	2852.0	6.67	チャート	
66	J-30-18	199	526	2858.0	20.68	砂岩	
67	J-30-18	203	534	2854.0	0.86	砂岩	
68	J-30-18	211	536	2853.0	0.49	砂岩	
69	J-30-18	210	561	2855.0	4.51	チャート	
70	J-30-18	225	570	2840.0	10.10	砂岩	
71	J-30-18	250	561	2842.0	3.40	砂岩	
76	J-30-18	27	518	2851.0	2.45	砂岩	
77	J-30-18	27	530	2845.0	3.62	砂岩	
79	J-30-18	64	547	2842.0	1.07	砂岩	
80	J-30-18	69	511	2836.0	0.98	砂岩	
81	J-30-18	75	500	2843.0	14.35	チャート	
82	J-30-18	63	497	2844.0	15.35	砂岩	
83	J-30-18	104	520	2848.0	33.49	チャート	
85	J-30-18	133	551	2845.0	1.16	砂岩	
86	J-30-18	137	544	2846.0	1.90	砂岩	
87	J-30-18	128	541	2845.0	4.52	砂岩	
88	J-30-18	124	532	2850.0	2.92	砂岩	
89	J-30-18	129	523	2848.0	4.04	チャート	
90	J-30-18	143	511	2847.0	2.15	砂岩	
91	J-30-18	191	561	2838.0	4.20	チャート	
92	J-30-18	187	576	2845.0	1.24	砂岩	
93	J-30-18	183	580	2845.0	4.18	砂岩	
94	J-30-18	178	581	2842.0	92.89	砂岩	
98	J-30-18	26	524	2841.0	4.41	チャート	
100	J-30-18	118	524	2847.0	0.79	砂岩	
101	J-30-18	114	528	2845.0	0.35	チャート	
102	J-30-18	129	545	2838.0	2.35	砂岩	
103	J-30-18	131	571	2835.0	2.00	砂岩	
104	J-30-18	155	586	2840.0	6.19	砂岩	
105	J-30-18	148	580	2834.0	1.72	砂岩	
106	J-30-18	187	576	2839.0	0.57	砂岩	
108	J-30-18	209	565	2829.0	3.70	チャート	
109	J-30-18	178	574	2830.0	1.10	チャート	
110	J-30-18	153	554	2828.0	6.31	砂岩	
111	J-30-18	76	600	2831.0	2.26	砂岩	
112	J-30-18	73	593	2832.0	2.26	砂岩	
113	J-30-18	30	562	2825.0	19.02	砂岩	

第10号線群

番号	グリッド	北-南(m)	西-東(m)	標高(m)	重量(g)	石 質	備 考
1	J-29-5	378	86	2777.0	17.64	砂岩	
2	J-29-5	450	142	2766.0	176.39	砂岩	
3	J-29-5	454	152	2765.0	157.24	チャート	
4	J-29-5	544	113	2764.0	521.27	砂岩	

3 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構として、住居跡3軒、柱穴列1棟、土壇32基、炉穴1基を検出した。

第1号炉穴は縄文時代早期に属するものである。単独で検出されたもので、縄文時代後期の土壇と重複しており一部が検出された。

住居跡3軒（S J 6・9・13）、柱穴列1棟は縄文時代後期前葉の堀之内1式期の所産である。住居跡のうち6号住居跡と13号住居跡は壁面が確認されたが、13号住居跡は柱穴と炉跡のみの検出である。32基の土壇からは出土遺物が少なく、遺物が検出されなかったものも含まれるが、覆土や形態などの共通性から縄文時代後期前葉の所産と考えられる。第1、3～6、8～10、12、13、16～18、23～40、43号が当期の土壇である。

調査区内は起伏に富んだ地形をしており、平坦な部分は少ない。縄文時代後期の遺構はK-29～31、L-28～31グリッドの標高27m～29.5mの部分に見られる。調査区南部には北東から南西方向へ馬背状の台地頂部があり、この頂部が北西方向へ傾斜する部分、及び幾分傾斜の緩やかな部分に遺構が集中している。L-29グリッドを中心とする傾斜の緩やかな部分は調査区北東部から延びる谷地形により、複雑な等高線となっている。方向等の異なる斜面において確認された3軒の住居跡はそれぞれの標高、主軸を異にしている。3軒は50mを超えない距離の中に認められ、その周辺に土壇が点在している。

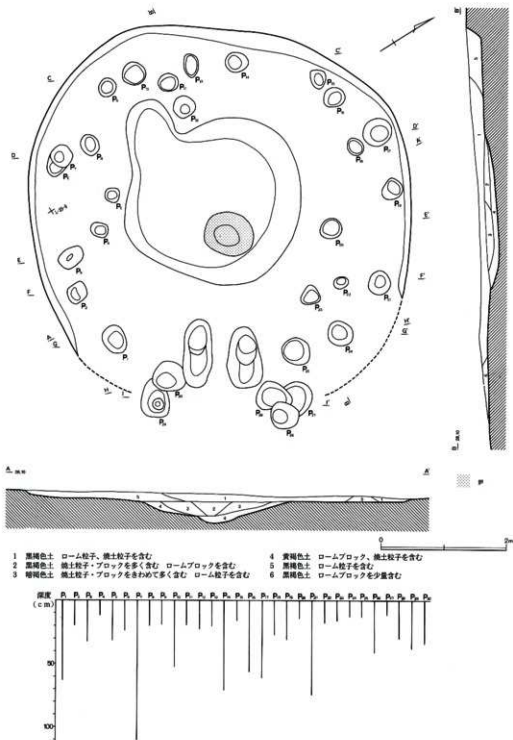
遺構外からの出土遺物には土器、石製品がある。土器は後期のものが主体を占めるが、前期の土器が散見された。今回の調査では前期の遺構は検出されていない。石製品は袈沓耳飾りであり、やはり前期の所産と考えられる。

第6号住居跡（第305～317図）

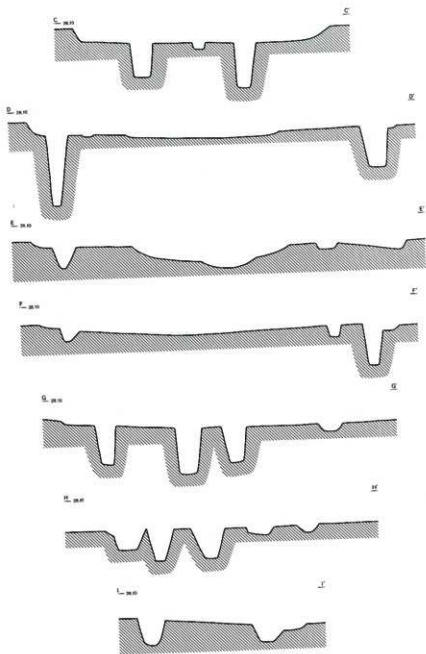
L-29-9・10・14グリッドから検出された。L-29グリッドは南側のL-30グリッドと比べると総じて標高は低くなっている。台地が北西方向へと傾斜をみせる途中の標高27.5mを中心とした部分である。この部分はK-28グリッドの谷が南西方向へと延びている部分でもあり、谷地形自体は浅いものの、確認面の傾斜の仕方は複雑な様子を示している（第175図）。第6号住居跡の確認面はこうした谷地形によって南東方向に緩く傾斜していた。なお第6号住居跡調査の当初はおおよそF-F'ライン以西が着手可能な部分であった（図版46）。F-F'以東については後日確認を行い完掘したものであり、土層断面図の位置は多少変則的である。

住居跡の平面形は径6mの円形である。出土土器は堀之内1式が主体を占めており、住居跡は堀之内1式期の所産と考えられる。入口部を構成する柱穴は標高の低くなる南東へ向かっており、入口部と炉跡とを結ぶ主軸はN-55°-Wを指している。他の遺構との重複関係はない。

南東方向に緩く傾斜する部分にあるため、床面までの覆土の厚みはP9～P12付近では0.2m程度確認しえたが、南東部の覆土はきわめて薄い。P24～P30付近では床面から柱穴のプランのみを確認するとどまり、入口部、およびその周辺の壁面は確認していない。覆土は全体的に黒褐色の色調をしたもので、部分的にローム粒子、焼土粒子の多寡があった。

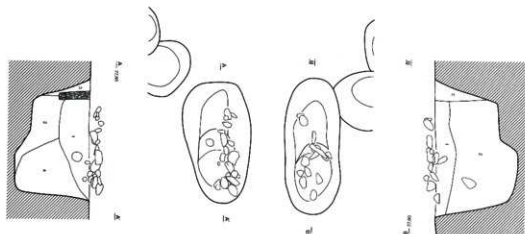


第305図 第6号住居跡(1)



第306図 第6号住居跡(2)

床面の標高は27.7mであり、ほぼ水平に確認されている(第306図)。焼土を含む黒褐色土(2～4層)を覆土とした2段目の掘り込みが住居跡の中央に認められた。平面形は不整形形である。掘り込みは径2.8m前後で、床面からの深度は10～20cmである。この2段目の掘り込みの底面から更に深さ10cmほどの深さの炉跡が検出された。長径0.8m、短径0.7mの楕円形である。深さ10cmの浅い



- 1 黒褐色土 ローム粒子、焼土粒子を含む
 2 暗褐色土 ローム粒子を含む
 3 黄褐色土 ロームブロックを多く含む
 4 暗褐色土 2よりロームブロックを多く含む



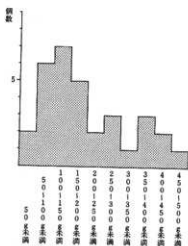
第307図 第6号住居跡(3)

炉跡に過ぎないがその底面はロームが焼けて硬化した状況であった。炉跡覆土と先の2～4層との区別はつかなかった。第305図A-A'に見るようにロームブロックを多く含む4層によって埋積していることが観察された。

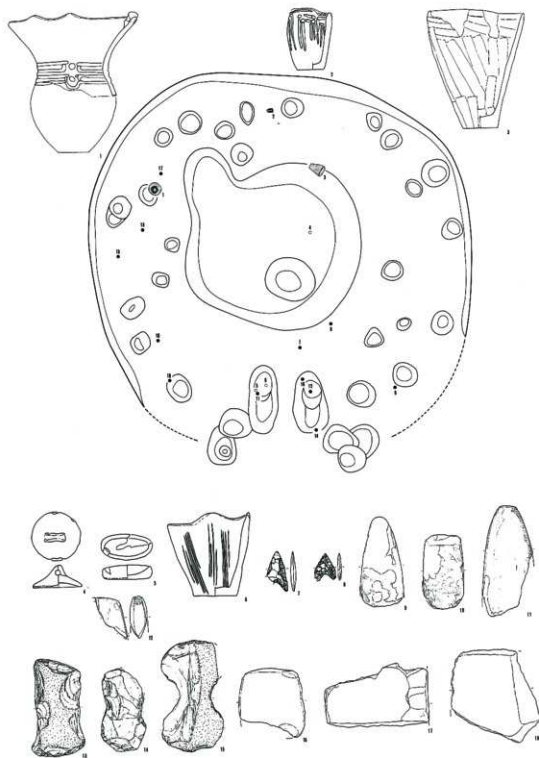
調査の所見によれば床面直上には第309図に示したように土器、石器類が出土しており(図版48)、これらの遺物を取り上げる調査段階で床面直上から床面にかけて、焼土を多く含む黒褐色土(2～3層)が径2.5mの範囲に平面的に捉えられた。特に3層は多くの焼土ブロックを含んでいる。その範囲は土層図中の2・3層の上面であり、2段目の掘り込みのプランとほぼ一致している。

柱穴の配置は壁面に沿って認められ、浅い掘り込みのある中央部には認められなかった。対ピットを含めて32の柱穴がある。このうち周囲と比較して掘り込みが深いものとして、P1、P7、P14、P17、P21などがあげられる。さらにP10、P16などもこれらに準じる深度の柱穴としてあげられる。これらはほぼ要所に認められ、主要な柱穴と考えられる。

入口部の柱穴を確認する際、確認面の覆土上面から拳大の礫が集中して出土した。その状況を第307図に示した。礫の総数は30数点である。火を受けた痕跡はない。5cm～20cm程度の大きさのもので、拳大前後の礫が主体を占めている。このうちの3割は破砕礫である。礫のグラフによって50g～



第308図 第6号住居跡礫重量



第309図 第6号住居跡遺物分布図

200 g 程度の礫が多いことが伺われる。入口部の付近の柱穴のうち礫が集中していた柱穴が最も深く、第307図A-A'に示した柱穴は70cm、第307図B-B'に示した柱穴は60cmの深さである。この2つの柱穴から「ハ」の字状に開くような配置でP27～P30の柱穴が確認されている。対象をなすP30とP28、P29とP26が同様な深さである。これらの柱穴は一部で重なりあうが前後関係は確認されていない。おそらくは同時に機能したものと考えられる。

遺物は破片数にして1000点余りが出土している。床面からの出土遺物はなく、いずれも覆土中からの出土である。第309図に示したのは床面直上から出土した完存度の高い土器、ミニチュア土器、石器類である。5、6のミニチュア土器（第314図）11、12の磨製石斧（第316図）14の打製石斧（第316図）16の磨石（第317図）は先述の礫と伴出したものである。

第309図1の深鉢形土器は口縁部を下にして出土している。第309図3の深鉢形土器は中央の浅い掘り込みの確認面直上からの出土である。

第6号住居跡出土土器（第310～314図）

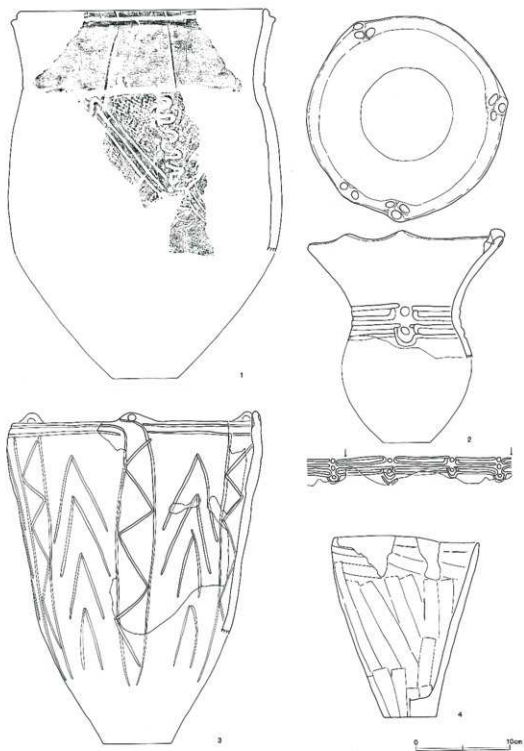
堀之内1式を主体とし、混入したと見られる少量の加曾利E式が認められる。

第310図には完形に近い個体をまとめた。1は口縁部が外傾し、胴部が弱く張る形態の深鉢形土器である。口縁部には1条の沈線を巡らせている。括れ部以下は地文縄文を施し、斜沈線文、蛇行沈線文を施している。1/6以下の残存度である。2は口縁部が強く外傾し、胴部が張る形態の深鉢形土器である。縄文は施されていない。口縁部は3単位に突起を施していて、このうちか所には大小2つの突起を施している。括れ部には横線文、点文等によってモチーフが施されている。胴部下半を欠損する。3は底部から口縁部へほぼ直線的に移行する形態の深鉢形土器である。口縁部に2条の沈線を施し、3単位に波状の突起を施している。この突起下に縦位の沈線文を垂下させ、沈線間に鋸歯状の沈線文を施している。このモチーフの間にやはり鋸歯状のモチーフが施されている。縄文は施されていない。1/6以下の残存度である。4は無文の深鉢形土器である。底部から口縁部へ直線的に移行している。器面にはケズリによる調整痕が認められ、口縁部付近では横位にそれ以下では斜位または縦位に調整されている。2/3が残存している。

第311図1・2・4・5は縄文時代中期後葉の加曾利EⅡ式である。いずれもキャリバー形の深鉢形土器である。1は口縁部の破片である。2・4・5は胴部破片であり、磨消縄文を垂下させている。1・5はRL、2はLR、4は無節のRを施している。第311図3は深鉢形土器の括れ部である。沈線文が施される。称名寺式であろう。

第310図、第311図6～36、第312図、第313図は後期前葉の堀之内1式である。

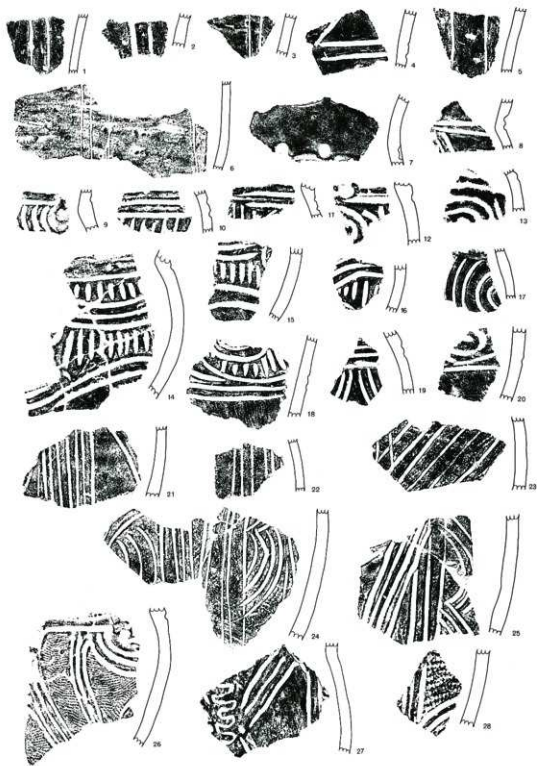
第311図6～19は地文に縄文を施す土器である。いずれも口縁部へ直線的に移行する形態の深鉢形土器である。6は、地文縄文上に多条の沈線文を施す。口縁部には突起が施されている。7は無節のL、8はLRを地文に施している。9は突起部の破片である。円孔が施されている。11は口縁部に一条の沈線を巡らせている。12、13は口縁部の沈線が施されていない。地文上に多条の沈線文が施される。14～19は胴部の破片である。地文縄文上に縦位の沈線文、蕨手文、蛇行沈線文など各種のモチーフが施されている。



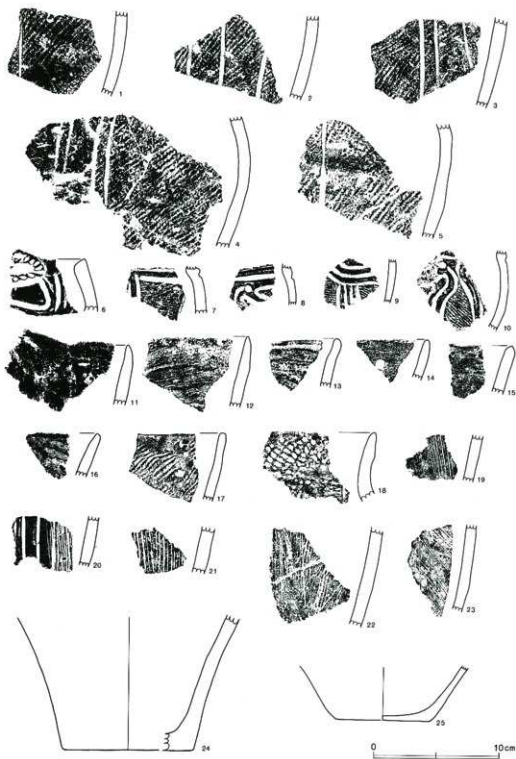
第310図 第6号住居跡出土土器(1)



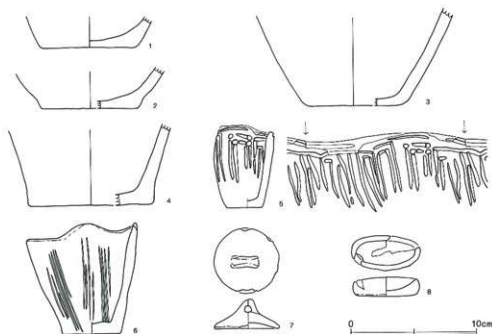
第311图 第6号住居跡出土土器(2)



第312図 第6号住居跡出土土器 (3)



第313图 第6号住居跡出土土器(4)



第314図 第6号住居跡出土土器(5)

第311図20～26は地文を施さない土器である。胴部が緩く張る形態のものが多い。21・23は直線的に口縁部に推移する形態であろう。第310図3は同類である。20は口縁部に沈線文と点文を施している。21は口縁部に1条沈線を施し、口辺部には多条の沈線文を施している。22は細い沈線を垂下させる土器である。23は胴部の破片である。隆帯を垂下させ、曲線的なモチーフを施している。24～26は口縁部に1条沈線を巡らせている。第312図1～6は同種の土器の胴部破片である。沈線文が施されている。

第311図27～33は胴部が張り、括れ部から口縁部にかけて外傾ないしは外反気味に移行する形態の深鉢形土器である。口縁部に1条沈線文を巡らせており、口辺部に縄文を施さない。第310図1・2は同類である。

第311図34～36は胴部が張り、括れ部から口縁部にかけて外傾ないしは外反気味に移行する形態の深鉢形土器で、口辺部に縄文を施す土器である。口縁部に1条沈線文を巡らせている。いずれもLRの縄文を施している。

第312図7～28、第313図1～5・7～10は前述の第311図27～36のように胴部が張り、括れ部から口縁部にかけて外傾ないしは外反気味になる形態の深鉢形土器の括れ部から胴部の部位である。地文の有無や文様により分類できる。

第312図7は括れ部の破片である。点文を施している。括れ部より上には地文が施されていない。第312図8～20は括れ部下の胴部に地文を施さない土器である。

第312図8・13・17・19は括れ部や括れ部直下の破片である。括れ部を2条の横線で区画し、その下部に弧線文を垂下させる文様を基本にして曲線的なモチーフを施している。14・16、18は横位の弧線文を連鎖状に施し、弧線文間を短い沈線で充填する文様の土器である。14・15は同一個体であろう。20は胴部下半の破片である。21・22は多条の沈線文が垂下している。

第312図24・28、第313図1・5・7・10は地文に縄文を施している。このうち第312図24・25・28は縦位に多条の沈線を描出した後、弧線文を施している。第312図26は弧線文を主体にしたモチーフを施している。第312図27は斜沈線、蛇行沈線を施している。第313図1・5は地文上に沈線文を垂下させている。縄文はLRである。

第313図7・10はやや小形の土器である。地文縄文上に曲線的な文様を施している。

第313図6は内傾する口縁部の破片である。隆帯、沈線文を施している。鉢形土器であろう。

第313図11・23に粗製土器をまとめた。

第313図11・16は無文の粗製土器である。削痕が認められる。単純な形態の深鉢形土器であろう。

第310図4は同類である。第313図14には補修痕が認められる。

第313図16・18は器面に縄文のみを施した深鉢形土器である。17は無節のL、18はLRを施している。底部から口縁部へ直線的に移行する単純な形態、および胴部が緩く張る形態の土器である。

第313図19・23は条線文が施されている。いずれも胴部の破片である。

第313図24・25・第314図1・4に底部をまとめた。いずれも深鉢形土器の底部であろう。

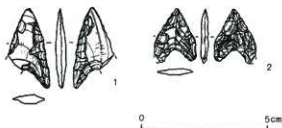
第314図5・8はミニチュア土器である。5は口縁部に途切れがちに横線と点文を施している。口縁部の一部を欠いている。器高6.5cm、口径4.5cmである。6は波状の突起を施している。櫛歯状の工具により縦位に細沈線を施している。器高8.4cm、口径8.2cmである。7は蓋である。橋状のつまみが施されている。直径5.0cmである。8は上面が楕円の形状をしている。あるいは土製品であろうか。器高1.3cm、長径5.0cm、短径2.2cmである。

第6号住居跡出土土器 (第315~317図)

石鏃 (第315図)

1は左脚部を欠損する。外形は二等辺三角形に近い。基部の抉りは深い。調整刻痕は右側縁の両面に集中する。

2は外形が正三角形に近い。基部の抉りは深い。調整加工は両面とも入念に施されている。



第315図 第6号住居跡出土土器 (1)

磨製石斧（第316図 3～7）

3は表面が風化によって剝落しており研磨の状況は観察できなかった。外形は側面を持ち最大幅は刃側縁にあり、基端部に窄まる形状をしている。いわゆる定角式磨製石斧である。刃部は風化によって表面の剝落がひどく刃縁の状況は不明瞭である。しかし、現況から円刃であったことが窺える。

4は3同様に表面の風化が進んでいる。外形は両側縁が平行し最大幅は基部中程にある。基端面と両側面を有するいわゆる定角式磨製石斧である。刃部は風化のため刃縁は崩れているが、円刃である。縦断面は楔形をしている。

5は基端部に敲打痕を残している。両側縁は剝離調整の後に研磨を施しており、横断面はレンズ状をしている。刃部は円刃に近く、刃縁は研磨によって潰されている。

6は刃部側下半部を欠損する。いわゆる定角式磨製石斧である。

7は磨製石斧の欠損品を利用したペンダントである。定角式磨製石斧の基端部に長軸方向の擦り切り状の凹線を入れ、正面及び欠損面を研磨し、先端を尖らせている。

打製石斧（第316図 8～10）

8は基端上半部を一部欠損する。正面に原石面、裏面に分割面を大きく残し、調整加工は基部中程の挟り部付近に施されている。刃部は円刃に近い。いわゆる分銅形打製石斧である。

9は外形は両側縁がほぼ平行し、短冊形をしている。正面に原石面、裏面に分割面を残している。調整加工は裏面が面的剝離、正面は周縁の剝離が施されている。

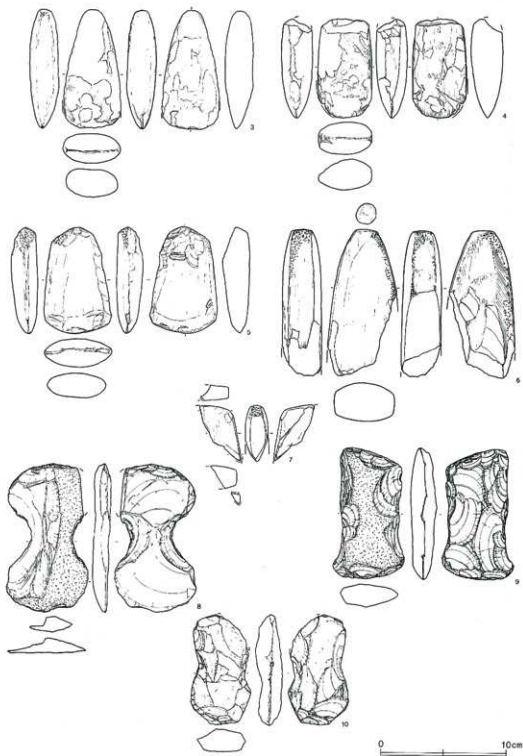
10は上半部を若干欠損する。外形は楕円形をしており基部中程に僅かに挟りが見られる。調整加工は正面とも剝離面で構成され作りは粗雑である。

石皿・磨石（第317図 11～13）

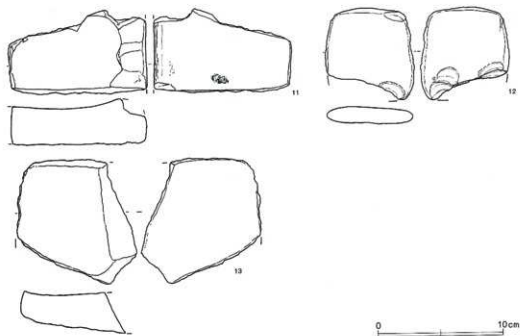
11は両端及び左側を欠損する石皿である。

12は外形は正方形に近く両面に摩耗痕が顕著な磨石である。

13は欠損は著しいが石皿の一部と思われる。



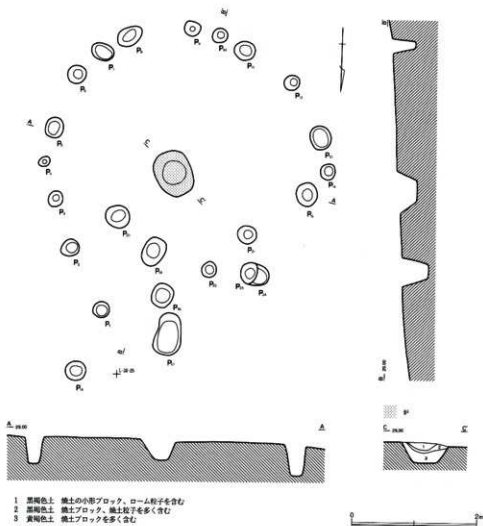
第316图 第6号住居跡出土石器(2)



第317図 第6号住居跡出土石器(3)

第82表 第6号住居跡出土石器一覧

番号	出土地点	器種	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(g)	石 質	備 考
1	S J 6	石鏃	3.40	1.60	0.45	1.65	粘板岩	
2	"	石鏃	2.20	1.55	0.30	0.84	黒耀石	
3	"	磨製石斧	9.50	4.65	2.35	159.52	緑色岩	
4	"	磨製石斧	7.85	4.35	2.55	165.54	緑色岩	
5	"	磨製石斧	8.45	5.45	2.30	156.16	蛇文岩	
6	"	磨製石斧	12.10	5.95	3.20	324.19	緑色岩	
7	"	磨製石斧	3.90	3.30	1.95	19.67	粘板岩	
8	"	打製石斧	11.71	6.59	1.29	114.38	ホルンフェルス	
9	"	打製石斧	10.30	5.62	2.04	118.87	ホルンフェルス	
10	"	打製石斧	8.77	4.72	1.93	97.75	ホルンフェルス	
11	"	石皿	6.70	10.90	3.70	270.88	安山岩	
12	"	石皿	7.40	7.10	1.40	89.81	砂岩	
13	"	石皿	9.90	9.40	3.50	327.00	安山岩	



第318図 第9号住居跡



第319図 第9号住居跡出土土器

第9号住居跡（第318図）

L-30-20・25グリッドに位置する。北側に向う傾斜面にあり、標高は28.8m前後である。第1号柱穴群に隣接する。住居跡の掘り込みは確認できなかった。ローム面において柱穴、炉跡を確認している。柱穴がおおよそ円形の配置をしており、住居跡と考えられる。柱穴は径5m程度の範囲に巡っている。炉跡の位置、斜面の方向などから北側に入口部の柱穴が想定されるが、その配置は判然としない。炉跡は長径66cm、短径60cmの楕円形である。深さは30cmである。出土遺物は柱穴の覆土中から土器の碎片がわずかに出土するのみであった。後期前葉の所産と考えられる。

第9号住居跡出土土器（第319図）

1・2は深鉢形土器の口縁部の破片である。堀之内1式である。1は波状の突起部で、口縁部内面に点文を施す。2は口縁部に一条の沈線を施す。1は柱穴から、2は炉跡から出土している。

第13号住居跡（第320・321図）

K-30-17・18・22・23グリッドに位置する。調査区南部の馬背状の台地頂部から北西方向へ傾斜する標高28m前後の部分に位置する。出土土器は堀之内1式が主体を占めている。住居跡も堀之内1式期の所産と考えられる。第44号土壇と重複している。この土壇は住居跡の張り出し部と炉跡の間に検出されており、当住居跡より新しい。耕作による攪乱が部分的に覆土中に及んでいる。

平面形はいわゆる柄杓形であり、長径6.4m、短径5.2mである。張り出し部は標高の低い北西へ向かっている。主軸の方向はN-125°-Eを指す。床面までの深さは12~24cm程度である。覆土は上層に黒色土（1層）、床面近くにはロームブロックを少量含む黒褐色土（2層）が認められた。

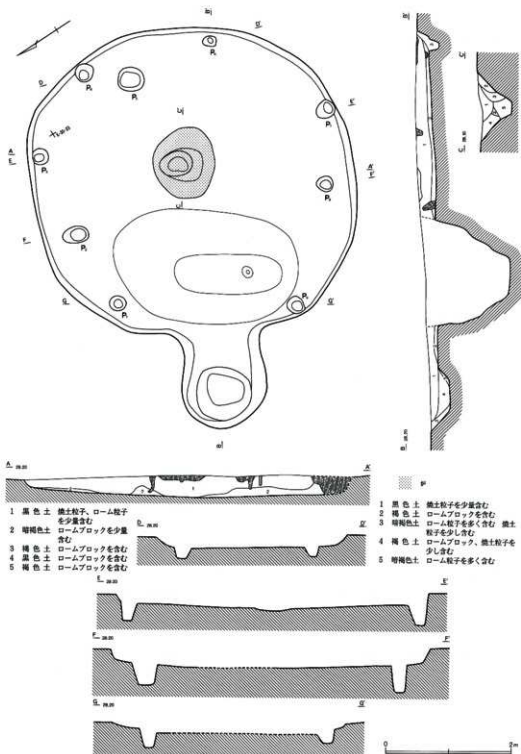
9つの柱穴が確認されている。深度はP1=25cm、P2=35cm、P3=26cm、P4=16cm、P5=37cm、P6=16cm、P7=33cm、P8=43cm、P9=12cmである。炉跡は楕円の平面形である。覆土は焼土粒子等を含む。張り出し部の長さは160cm、幅は70cmである。張り出し部の先端には径80cm前後の穴がある。覆土はロームブロックを多く含む層である。床面からの深度は20cmである。

第321図には遺物の出土状況を示した。完形に近い土器がそれぞれまとまって出土している。1・3・4は床面の10~15cm程度上から出土している。2は炉跡の覆土上面直上から出土している。

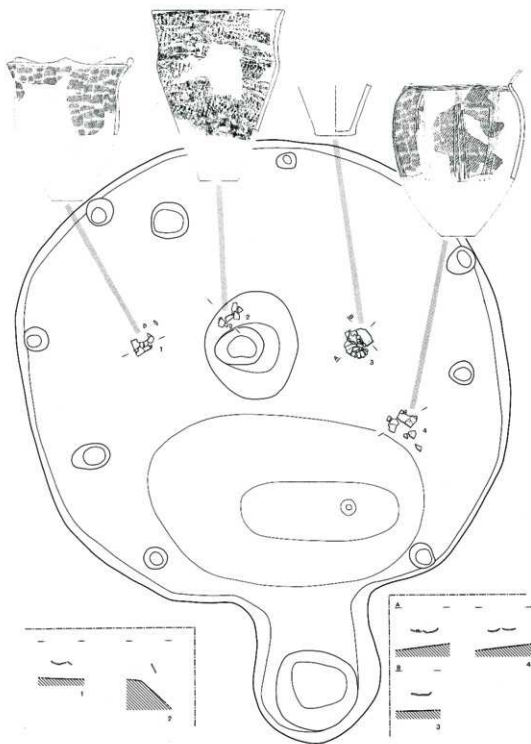
第13号住居跡出土土器（第322~324図）

堀之内1式を主体とし、混入したと見られる少量の加曾利E式が認められる。

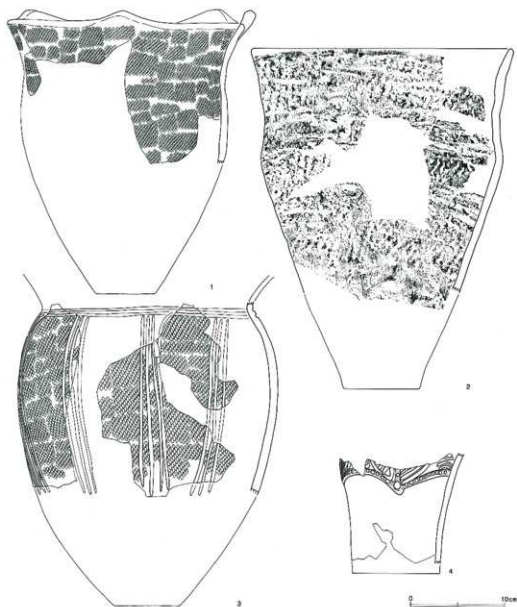
第322図には大形の破片をまとめた。第322図1は胴部が緩く張る形態の深鉢形土器である。全面にLRの縄文を施している。波状の突起を3単位に施している。口縁部の2/3が残存している。第322図2は胴部が張る形態である。平口縁の深鉢形土器である。全面にLRの縄文を施している。原体は堅く、弱い撚りのものと考えられる。残存度は1/6以下である。第322図3は胴部が張り、括れ部から口縁部にかけて外傾、ないしは外反気味に立ち上がる形態の深鉢形土器である。括れ部以下が残存している。括れ部に2条の沈線を巡らせ、多条の沈線文を垂下させている。縄文はLRである。4は胴下半部の破片である。隆帯で区画し、沈線文を施している。縄文は施されない。



第320図 第13号住居跡



第321図 第13号住居跡遺物分布図 (L=28.20m)

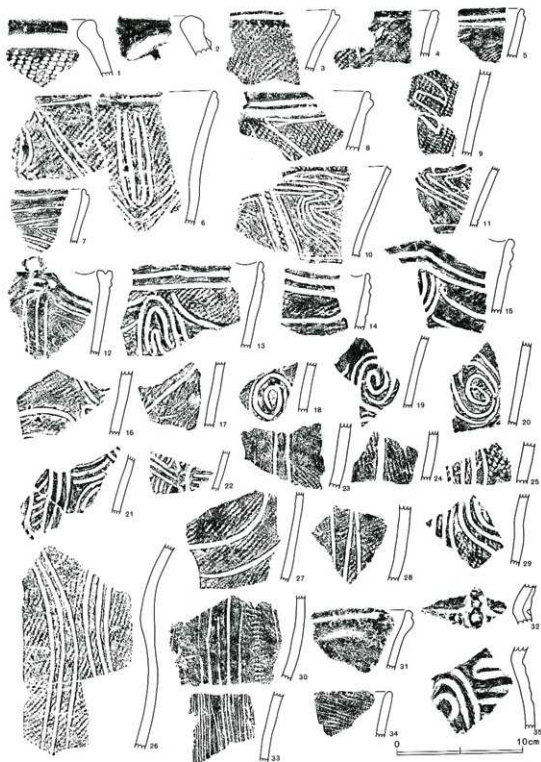


第322図 第13号住居跡出土土器 (1)

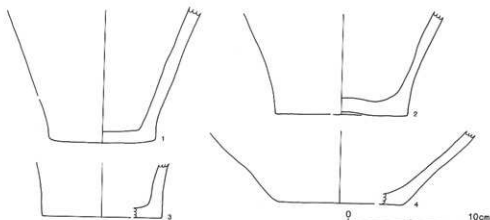
第323図1・2は加曾利E II式である。キャリパー形の深鉢形土器の口縁部の破片である。

先述の第322図と第323図3～35・第324図は掘之内1式である。

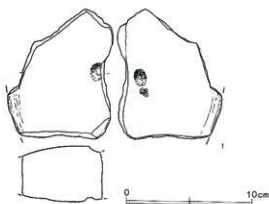
第323図3～20・23～30は地文に縄文を施す土器で、底部付近から口縁部へ直線的に移行する形態、もしくは胴部に緩い膨らみをもつ形態の深鉢形土器である。9～12、18～20は前者の形態、6、26～30は後者の形態に分類される。帰属が明確ではないものも含んでいる。当住居跡出土土器は本類が多数を占めている。先の第322図3のように括れ部の沈線により、口辺部と胴部の文様帯を画する土器も含まれる可能性もある。第323図3や30等がこれに当たる。文様を中心にして、個々の土器につい



第323図 第13号住居跡出土土器 (2)



第324図 第13号住居跡出土土器（3）



第325図 第13号住居跡出土土器

で触れておく。第323図3～5は1条沈線を巡らせた口縁部の破片である。6～8は口縁部に1条の沈線を巡らせ、口辺部から胴部にかけて地文縄文上に斜沈線等を施している。9は蛇行沈線を施している。10・11は隆帯で縦位に文様を区画し、蛇行する多条の沈線を施している。同一個体である。12～15は波状口縁の土器である。12は波頂部の破片である。突起を施している。波頂部から縦位に沈線を施す。13～15は口縁部に沿って2条の沈線文を施している。地文上に曲線的なモチーフを施している。同一個体である。16・17・27・29も曲線文を施す。18～20は渦巻状の沈線文

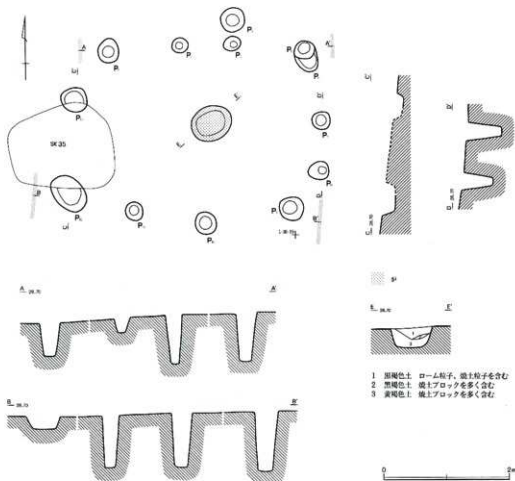
を施す。23～25・28・30は多条の沈線を垂下させている。

第323図21・22は口縁部付近から口縁部へ直線的に移行する形態の深鉢形土器であり、地文に縄文を施さないもの。縦位の隆帯で文様を区画し、弧線、短沈線等により文様を施している。同一個体である。第323図32・33・35は胴部が張り、口縁部が外反気味に立ち上がる形態の深鉢形土器である。31は口縁部の破片である。32は括れ部の破片である。口縁部から括れ部へ隆帯が垂下する。35は括れ部から胴部にかけての破片である。地文は施していない。

第323図33・34は粗製の深鉢形土器である。33は条線文を垂下させる深鉢形土器である。34は全面に縄文を施す土器である。第322図1・2と同類である。第324図1～4には底部をまとめた。

石器（第325図）

1は磨石である。周縁を殆ど欠くが僅かに残った部分から平面形は円形に近いと考えられる。両面とも摩耗しており中央部に凹がある。石質は閃緑岩。重量は603.8g。

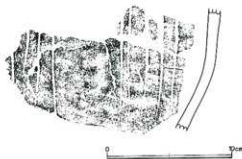


第326図 第1号柱穴列

第1号柱穴列・第1号柱穴列出土土器(第326・327図)

L-30-14・19グリッドに位置する。北側に向う傾斜面にあり、標高は28.5m前後である。第9号住居跡と隣接した位置にある。第35号土壇と重複している。

ローム斜面において柱穴、炉跡が確認された。柱穴は長径4.4m、短径3.6mの範囲に認められ、柱穴は方形に配置されていることが想定される。柱穴の深度はP1=52cm、P2=22cm、P3=77cm、P4=21cm、P5=70cm、



第327図 第1号柱穴列出土土器

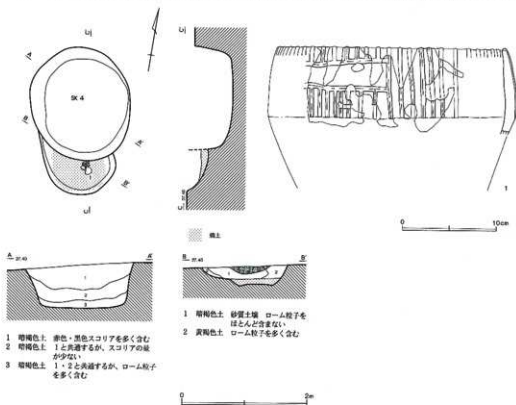
7=53cm、P8=49cm、P9=92cm、P10=84cm、P11=81cm、P12=9cm、P13=11cmである。当遺構

は長方形柱穴、掘立柱建物跡等と呼ばれる遺構に類するものであろう。P7・P8やP13などが短辺を構成するものと考えられるが、長方形とも亀甲形ともとれないような配置であり、深度にも規則性がない。炉跡は長径65cm、短径55cmの楕円形である。深さは30cmである。出土遺物は柱穴の覆土中から土器片がわずかに出土するのみであった。後期前葉の所産と考えられる。第327図に第1号柱穴列出土土器を示した。胴部に括れ部をもつ深鉢形土器の胴部破片である。胴部の下半である。括れ部以下に縦位の沈線文を垂下させる土器と思われる。多条の沈線文が認められる。縄文は施されていない。炉跡から出土している。

第1号炉穴・第1号炉穴出土土器（第328図）

K-29-12グリッドに位置している。標高27.4m、急斜面をなす北側の谷に面している。火床から縄文時代早期の土器片が出土している。早期の炉穴である。第4号土壇と重複している。第1号炉穴のほうが古い。第4号土壇にこわされているため全体の形状は不明であるが、径は1.2m以上と残存部から考えられる。覆土は暗褐色土、ローム粒子を多く含む黄褐色土からなる。火床部は焼土ブロックが顕著であり、径0.8mの範囲に認められた。深度は0.2mである。

出土土器は口縁部がやや内傾する深鉢形土器である。口唇部から幅4mm程度の細い隆起線文を幾条も並行して垂下させている。隆起線文中央は稜線をなす。断面は三角形である。部分的に隆起線文を横位に施し、縦位の隆起文と連結させている。この文様の下端には稜線が認められる。土器の



第328図 第1号炉穴・同出土土器

最大径の部位である。胎土には繊維を含む。器面の色調は褐色を呈する。口径は推定で24cm、残存する器高は8.8cmである。縄文時代早期後半の野島式である。

土壌 (第329～332図)

32基が検出されている(第1号、第3号～第6号、第8号～第10号、第12号、第13号、第16号～第18号、第23号～第40号、第43号土壌)。土壌はK-29～31・L-29～31グリッドに集中し、調査区東のJ-29グリッドにも分布している。規模等、詳細については第82表に示した。土壌からの出土遺物の総量は比較的少ない。縄文時代中期から後期前葉の土器が見られる。土壌の主体は形態、覆土等から縄文時代後期前葉の所産と考えている。

平面が円形で、断面形がいわゆるフラスコ状の土壌、平面が円形で深度のある土壌を第329図、第330図、第331図上段にまとめた。第331図中段から第332図には平面が円形ないしは不整円形の土壌で、比較的浅く断面の形態が鍋のような形になるものをまとめた。

土壌の形態的な特徴とその分布についておおまかな傾向を指摘しておきたい。

第329図は縄文時代の遺構分布域の周縁に分布する土壌である。同様に第330図は主として遺構分布域の東半部の土壌である。こうした地区は第6・9・13号住居跡の分布域を居住域と見た場合、居住域の外周部と見ることができる。フラスコ状土壌、深度のある土壌は主としてその外周に分布する傾向がある。標高、地形等の影響は比較的少ない。

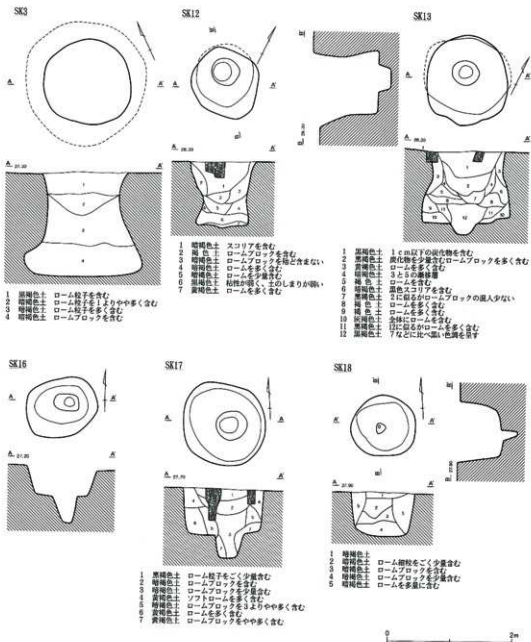
第331・332図上段には遺構分布域南西部、L-30グリッドを中心とする地区の土壌をまとめた。この地区は第6・9・13号住居跡の分布域内部及びその近辺である。第331図上段の3基は深度のある土壌であるが、これ以外は深度の浅いものが多く、住居跡の分布域では深度の浅い円形の土壌が優位である。

第332図中段、下段は調査区東のJ-29グリッドの土壌である。いずれも深度の浅い土壌である。これらの土壌はその他の縄文時代の遺構とは全く離れた位置に集中していた。

縄文時代とした土壌のうち第1・8・10・13・16・23～27・38～40・43号土壌からは出土遺物はなかった。第3・5・6・18・29・30・33～35号土壌からは縄文時代後期と思われる無文の小片を検出した。第333図には第4・9・12・17・28・31・32・36・37号土壌の出土土器を示した。このうち第12号、第32号については図化した以外の出土遺物はない。第4・9・17・28・31・36・37については後期と思われる無文の小片等が少量伴出している。

土壌出土土器 (第333図)

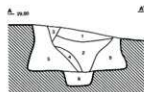
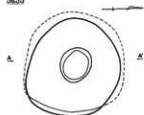
1は深鉢形土器の口縁部である。沈線文間に点列を施している。2は深鉢形土器の胴部破片である。沈線文が施されている。1・2は後期前葉の土器である。3は深鉢形土器の胴部破片である。磨消縄文を垂下させている。縄文はRLである。中期後葉の土器である。4・5は深鉢形土器の胴部破片である。4は沈線文、5は点文が施されている。後期前葉の土器である。6は深鉢形土器の口縁部破片である。中期後葉の土器であろう。7は微隆起線文が垂下する深鉢形土器の胴部破片である。8・9は深鉢形土器の胴部破片で沈線文が施されている。10は深鉢形土器の口縁部の破片で、



第329図 縄文時代の土壌 (1)

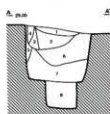
沈線文を巡らせている。11は深鉢形土器の胴部破片で沈線文が施されている。7～11は後期前葉の土器である。12は深鉢形土器の胴部破片であり、隆帯上に爪形文を施している。結節沈線文を施す。胎土には雲母を含む。中期中葉の土器である。13は深鉢形土器の口縁部の破片で、沈線文を巡らせている。後期前葉の土器である。

SK33



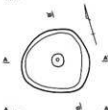
- 1 黒褐色土 3~5mm程度のローム粒子を含む
- 2 黒褐色土 ローム細粒を少量含む
- 3 暗褐色土 ロームを殆ど含まない
- 4 暗褐色土 3とはほぼ同様だが少量ローム粒を含む
- 5 暗褐色土 ロームを多量を含む
- 6 暗褐色土 ロームを非常に多く含む粘性あり

SK34



- 1 暗褐色土 ローム細粒を含む
- 2 黒褐色土 ローム細粒を含む
- 3 暗褐色土 ローム細粒を含む
- 4 暗褐色土 ロームブロックを少量含む
- 5 黄褐色土 ローム粒子を殆ど含まない
- 6 暗褐色土 ロームを含む
- 7 暗褐色土 ロームを含む
- 8 暗褐色土 ロームブロックを多量を含む

SK1



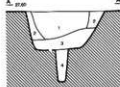
- 1 暗褐色土 赤色スコリア、白色のバリスを含む
- 2 暗褐色土 1より色調は明るくロームブロックを含む
- 3 暗褐色土 2に比し粘性が強い
- 4 黄褐色土 ロームブロックを多く含む
- 5 黄褐色土 ロームブロックを含む

SK5



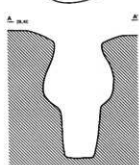
- 1 暗褐色土 赤色・黒色スコリアを多量に含む
- 2 黄褐色土 ロームブロックを多く含む
- 3 黄褐色土 ロームブロックを含む
- 4 暗褐色土 粘性あり
- 5 暗褐色土 ローム粒子を含む

SK24

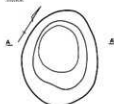


- 1 暗褐色土 ロームを殆ど含まない
- 2 暗褐色土 ロームを多く含む
- 3 暗褐色土 ロームブロックを少量含む
- 4 暗褐色土 ロームブロックを多く含む粘性強い

SK39



SK10



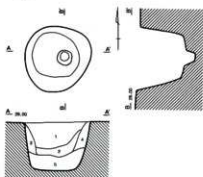
- 1 黒褐色土 粘性がある
- 2 黒褐色土 色調は1より黒く、粘性がある
- 3 暗褐色土 ロームブロックを多く含む

SK5



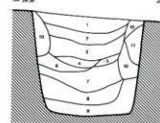
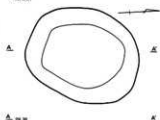
第330図 縄文時代の土壌 (2)

SK40



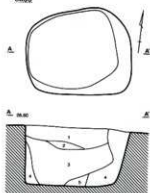
- 1 黒色土 粘土粒子を少量含む、粘性あり
- 2 黒色土 ローム粒子を若干含む
- 3 暗褐色土 ロームブロックを含む
- 4 褐色土 ロームブロックを含む
- 5 褐色土 粘性が強い、ロームブロックを含む

SK32



- 1 暗褐色土 ローム微細粒を少量含む
- 2 暗褐色土 ローム微細粒を少量含む
- 3 暗褐色土 ローム微細粒を多く含む
- 4 暗褐色土 2と同様、ローム微細粒を含む
- 5 暗褐色土 ローム微細粒、ロームブロックを含む
- 6 暗褐色土 ローム微細粒、ロームブロックをやや多く含む
- 7 黒色土 ロームブロックを極めて多く含む
- 8 黒色土 ロームブロックを含む
- 9 暗褐色土 ロームを多量に含む
- 10 暗褐色土 ローム微細粒を多く含む
- 11 暗褐色土 ローム微細粒、ロームブロックを多く含む

SK35



- 1 暗褐色土 ローム微細粒を微量含む
- 2 暗褐色土 ローム微細粒を含む
- 3 暗褐色土 ローム微細粒を微量含む
- 4 暗褐色土 ロームブロックを含む
- 5 暗褐色土 ローム微細粒を含む

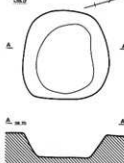
SK43



SK8



SK9

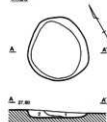


SK23



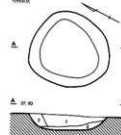
- 1 暗褐色土 ローム微細粒をごく少量含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子、粘土粒子を含む
- 3 黄褐色土 ロームブロックを多く含む

SK25



- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 ロームブロックを多く含む

SK26



- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子を含む
- 3 黄褐色土 ロームブロックを含む

SK36

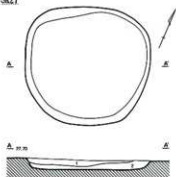


- 1 暗褐色土 ローム微細粒をやや多く含む
- 2 暗褐色土 ローム微細粒を少量含む
- 3 暗褐色土 ローム微細粒を多量に含む
- 4 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む

0 2m

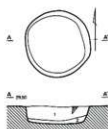
第331図 縄文時代の土壌 (3)

SK27



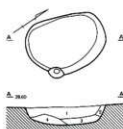
- 1 暗褐色土 ローム粒子を少量含む
2 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む

SK37



- 1 暗褐色土 ローム細粒を殆ど含まない
2 黒褐色土 ローム細粒を含む

SK38



- 1 暗褐色土 ローム粒子を殆ど含まない
2 暗褐色土 ローム粒子を殆ど含まない
3 暗褐色土 ロームブロックを少量含む
4 黄褐色土 ロームブロックを多く含む

SK28



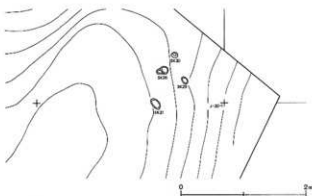
SK29



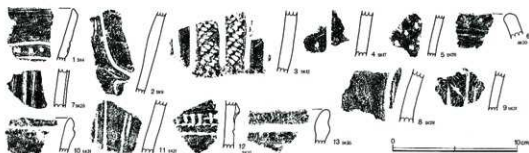
SK30



SK31



第332図 縄文時代の土坑（4）



第333図 土坑出土土器

第83表 土壌一覧

番号	図番号	長さ(m)	短径(m)	深さ(m)	グリッド
SK 1	330	1.1	1	0.9	L-28-5
SK 3	329	1.4	—	1.7	K-29-12
SK 4	328	1.8	1.6	0.6	K-29-12
SK 5	330	1.2	—	0.8	K-29-17
SK 6	330	1	0.9	0.7	K-31-22
SK 8	331	1	0.9	0.2	K-31-21
SK 9	331	1.4	—	0.4	K-31-21
SK 10	330	1.5	1.2	0.8	K-31-20
SK 12	329	1.1	—	1.2	K-30-6
SK 13	329	1.3	—	1.3	K-30-12
SK 16	329	1.1	0.9	0.9	L-28-6
SK 17	329	1.3	—	1.1	L-28-20
SK 18	329	1	—	1	L-29-8
SK 23	331	2.2	—	0.3	L-29-25
SK 24	330	1.3	0.8	1.1	L-29-10
SK 25	331	1	—	0.1	L-30-6

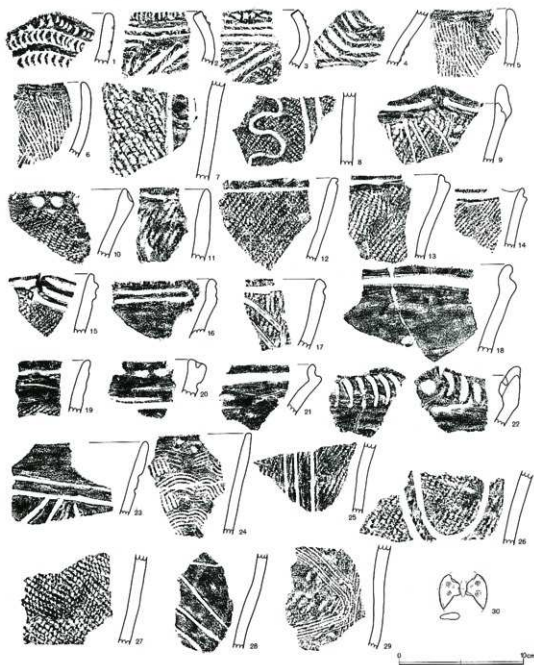
番号	図番号	長さ(m)	短径(m)	深さ(m)	グリッド
SK 26	331	1.3	1.2	0.2	L-30-11
SK 27	332	2	1.9	0.2	L-29-5
SK 28	332	1.9	1.1	0.2	J-29-10
SK 29	332	1.2	0.9	0.1	J-29-10
SK 30	332	0.9	—	0.2	J-29-9
SK 31	332	1.8	1.2	0.2	J-29-10
SK 32	331	1.8	1.5	1.6	L-31-6
SK 33	330	1.6	1.4	1	L-30-10
SK 34	330	1.2	1.1	1.3	L-30-10
SK 35	331	1.7	1.3	0.9	L-30-19
SK 36	331	1	—	0.3	M-30-5
SK 37	332	1.1	—	0.3	L-31-17
SK 38	332	1.3	0.9	0.3	L-30-14
SK 39	330	1.5	1.3	2	L-30-4
SK 40	331	1	—	0.9	L-30-3
SK 43	331	0.7	—	0.4	L-30-25

グリッド出土土器 (第334図)

1～4、24は前期後葉の諸磯式である。1は波状口縁深鉢形土器の口縁部である。爪形文が施される。24は櫛歯状の工具により文様が施されている。1、24は諸磯a式である。2・3は口縁部が内湾する形態の深鉢形土器である。横位、斜位に浮線文が施される。2は口唇部に刻み、3は口唇部に浮線文を施す。4は浮線文を施した深鉢形土器胴部の破片である。2～4は諸磯b式である。5～8は中期後葉の加曽利E式である。5・6は深鉢形土器の口縁部の破片である。櫛歯状の工具により、文様が施されている。7・8はキャリパー形の深鉢形土器である。磨消縄文を垂下させている胴部の破片である。9～23、25～29は後期前葉の堀之内1式である。9～23は深鉢形土器の口縁部の破片である。9は波状の突起が施されている。地文縄文上に沈線文を施す。10は口縁部に円文を施す。11・19は縄文のみを施す。12～15・17は口縁部に沈線文を施し、沈線下に縄文を施す。16は口縁部に2条の沈線文を施す。16・18・20～23は沈線文を施す。25～29は深鉢形土器の胴部破片である。25・26は地文縄文上に沈線文を施す。27は縄文のみを施している。28・29は沈線文を施す。

遺構外出土土器品 (第334図30)

球状耳飾の破片である。1/2以上を欠損している。残存する長さは2.7cm、厚み0.5cmである。円孔が2か所に、凹みが数か所に施されている。灰白色。滑石製。



第334図 グリッド出土土器・石製品

4 弥生時代の遺構と遺物

弥生時代の遺構として住居跡9軒が検出されている(第1～5・7・8・11・12号住居跡)。柿ノ木板遺跡は調査区南半に北東から南西に延びる馬背状の台地頂部が見られるとともに、調査区北側から中央にかけて小規模な谷地形が存在し、起伏に富んだローム面が認められる。

弥生時代の住居跡は標高25m～28.5mという比高差のある地形の中に点在している(第175図)。台地頂部の小高い部分に立地する住居跡として、第3・4・11号住居跡がある。台地頂部から北もしくは北西方向に傾斜する斜面、または比較的平坦な部分に立地する住居跡として第2・7・8・12号住居跡がある。第7・8・12号住居跡は縄文時代後期の住居跡と近い位置で検出されている。また遺構の分布が希薄な調査区北半には第1・5号住居跡が分布している。

遺構の遺存状況は総じて良好とは言えない。覆土が比較的良好に認められるとともに、全形が捉えられたのは第3・12号住居跡であり、その他は耕作による攪乱等の影響を受けていた。したがって住居数の割には出土した遺物の量は比較的少ない。その中で第1・12号住居跡からは完形に近い個体の検出を見ている。

第1号住居跡(第335図)

K-28-6・7グリッドに位置している。弥生時代の住居跡のなかでは最も標高の低い26m前後の位置にある。調査区北東の深い谷に面しており、住居跡自体が急勾配をなす斜面地に立地している。住居跡の北西部は検出されなかった。したがって住居跡の平面形は判然としないが隅丸方形、ないしは隅丸長方形の住居跡である。残存する側の径は3.7mである。南東部の壁面は比較的良好に残存しており、ローム面を40cm掘り込んでいる。柱穴はふたつ確認されている。深度はP1=15cm、P2=25cmである。

出土遺物として覆土中から第337図1・2が、床面から第336図1・2が出土している。第336図1・2はいずれも住居跡の壁際からの出土である。2はP1の覆土上面から出土している。ともに正位状態で検出された(第335図、図版49)。

第1号住居跡出土土器(第336・337図)

第336図1は大形の壺形土器である。胴部最大径から強く内傾する形態である。上半分を欠損している。外面は篋ナデ後、胴部最大径付近から底部にかけて横位に篋ミガキがなされている。その後、最大径付近より上部を縦位に篋ミガキしている。内面は横位に篋ナデの調整がなされている。胴部の最大径は24.2cm、残存高は12.4cmである。色調は赤色を呈している。2は小形の壺形土器である。外面は篋ナデの後、主として縦位に篋ミガキがなされている。胴部の最大径は15.4cm、残存高は9.0cmである。

第337図1は壺形土器の口縁部の破片である。口縁部に網目状捺糸文が施されている。第337図2は高環形土器の坏部から脚部にかけての破片である。外面は縦位に篋ミガキの調整がなされている。